

## ニーズ調査の結果報告書について

平成26年8月1日  
八街市市民部児童家庭課

## ニーズ調査の結果報告書について

平成26年8月1日  
八街市市民部児童家庭課

八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
報 告 書

平成 26 年 3 月

八 街 市



# 目 次

## 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査の設計.....	3
3. 報告書の見方.....	3

## 調査結果の分析

### I 就学前児童調査

1. 回答者のプロフィール.....	7
2. 子どもの育ちをめぐる環境.....	11
3. 保護者の就労状況.....	17
4. 定期的な教育・保育事業の利用状況.....	22
5. 地域の子育て支援事業の利用状況.....	33
6. 休日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望.....	38
7. 病気の際の対応.....	41
8. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について.....	47
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方.....	53
10. 職場の両立支援制度.....	57
11. 市の子育て環境や子育て支援サービス.....	67

### II 就学児童調査

1. 回答者のプロフィール.....	73
2. 子どもの育ちをめぐる環境.....	76
3. 保護者の就労状況.....	81
4. 放課後の過ごし方.....	86
5. 病気の際の対応.....	93
6. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について.....	98
7. 市の子育て環境や子育て支援サービス.....	101

## 資料編

1. 自由回答まとめ.....	105
2. 調査票.....	109



## 調査の概要

---



## 1. 調査の目的

「子ども・子育て支援事業計画」策定に向けて、確保を図るべき子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の、保育所や幼稚園などの教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望を把握し、同計画を策定するための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の設計

### (1) 八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童）

- ①調査対象：八街市内に居住する就学前児童の保護者
- ②標本数：1,000人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：496人（49.6%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成26年1月14日～31日

### (2) 八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学児童）

- ①調査対象：八街市内に居住する小学生児童の保護者
- ②標本数：1,000人
- ③抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出法
- ④回収数（率）：455人（45.5%）
- ⑤調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間：平成26年1月14日～31日

## 3. 報告書の見方

### \* 報告書を読むにあたっての注意

- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ・図表中の「n」（net）とは、その設問への回答者数を表す。小数点以下1位まで示した数値は回答比率（%）である。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。



# 調査結果の分析

---

## I 就学前児童調査

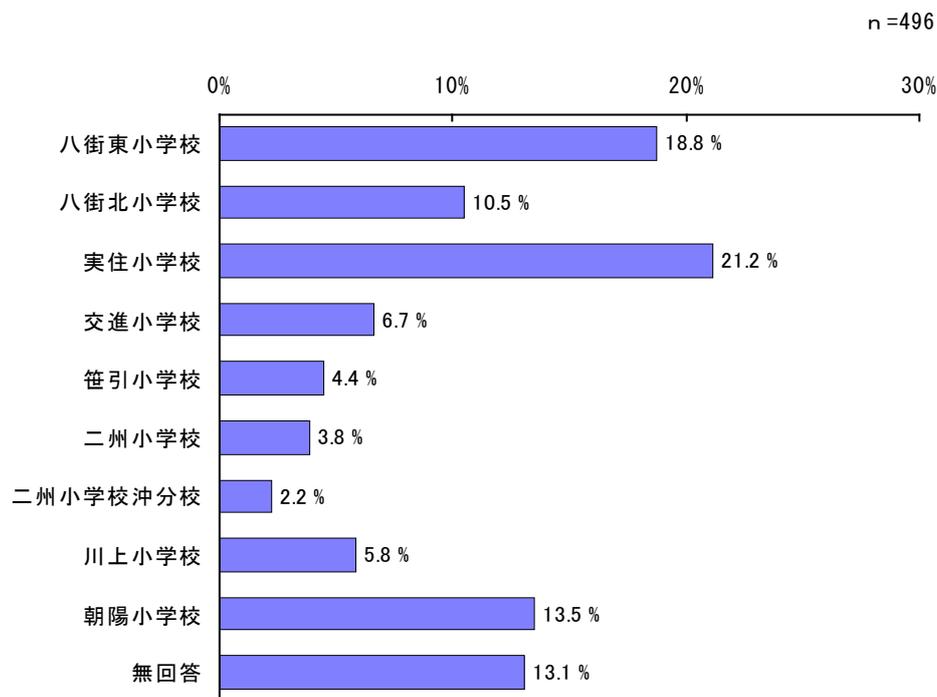


# 1. 回答者のプロフィール

## (1) 小学校区

問1 お住まいの地区の小学校区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

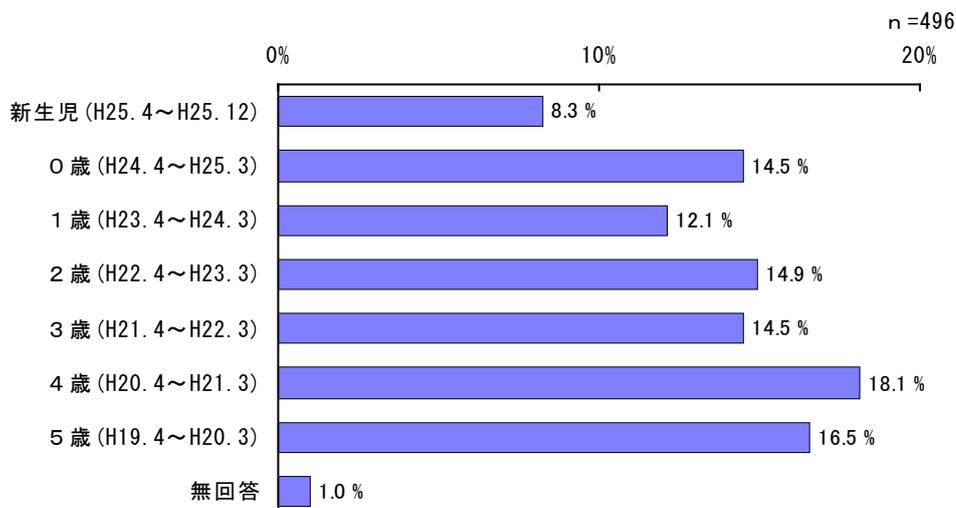
小学校	地区
1. 八街東小学校	一区、七区、朝日区、富山区、大関区
2. 八街北小学校	榎戸区、泉台区、みどり台区、真井原区(市道15008号線以北、氷川神社南側私道以北、市道15006号線以東の区域)
3. 実住小学校	二区、三区、四区、五区、六区(ほ番地、木原)、大東区、東吉田区(総武ニュータウン、691番地2及び県道53号線以南で、かつ、市道2級10号線以西の区域を除く。)、ライオンズガーデン区
4. 交進小学校	西林区、夕日丘区、真井原区(市道15008号線以北、氷川神社南側私道以北、市道15006号線以東の区域を除く。)
5. 笹引小学校	六区(へ番地)、四木区(515番地～1205番地)、東吉田区(総武ニュータウン、691番地2及び県道53号線以南で、かつ、市道2級10号線以西の区域)
6. 二州小学校	四木区(515番地～1205番地を除く。)、滝台区、山田台区、沖区、上砂区(290～478、481の2、482の1、482の2、811～857番地)
7. 二州小学校沖分校	沖区
8. 川上小学校	大谷流区、小谷流区、根古谷区、岡田区、用草区、勢田区、吉倉区、砂区、上砂区、(290～478、481の2、482の1、482の2、811～857番地を除く。)、希望ヶ丘区、ガーデンタウン区
9. 朝陽小学校	文違区、住野区、藤の台区、喜望の社区、八街・榎戸学園台区



○回答者の小学校区は、「実住小学校」21.2%が最も多く、次いで「八街東小学校」18.8%、「朝陽小学校」13.5%、「八街北小学校」10.5%などである。

## (2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)



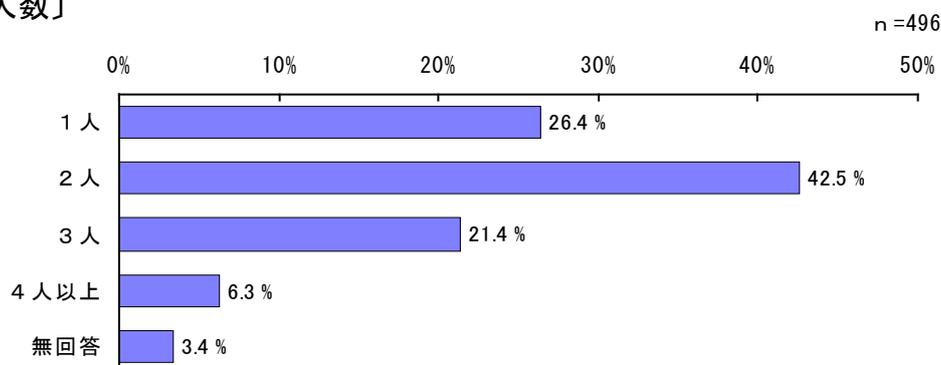
※4月1日時点で計算

○調査対象の子どもの年齢について回答があった生年月を4月1日時点で算出すると、「4歳」18.1%が最も多く、次いで「5歳」16.5%、「2歳」14.9%、「0歳」及び「3歳」がいずれも14.5%、「1歳」12.1%と続き、「0歳」がやや少なく8.3%である。

## (3) 子どもの人数と末子の年齢

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

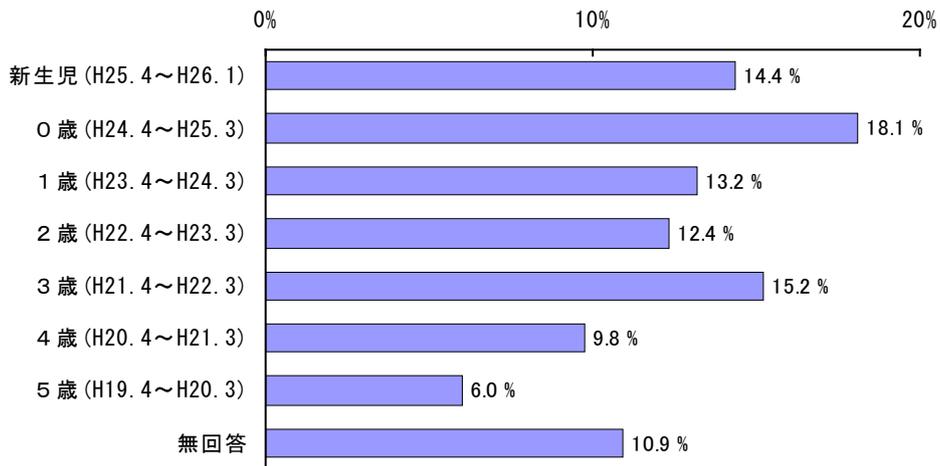
〔子どもの人数〕



○子どもの人数は「2人」が最も多く42.5%、次いで「1人」26.4%、「3人」21.4%、「4人以上」6.3%である。

〔2人以上の場合の末子の年齢〕

n=348

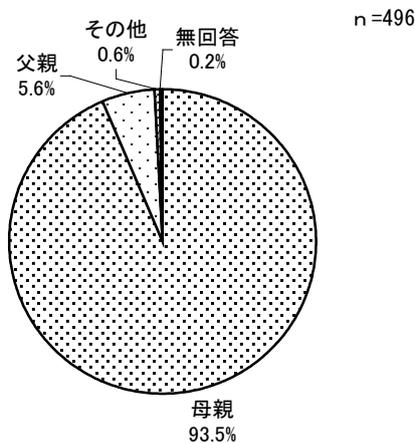


※4月1日時点で計算

○子どもが2人以上いる回答者のうち、末子の年齢は、「0歳」が18.1%、「3歳」が15.2%、平成25年4月以降に生まれた「新生児」が14.4%などである。

(4) 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

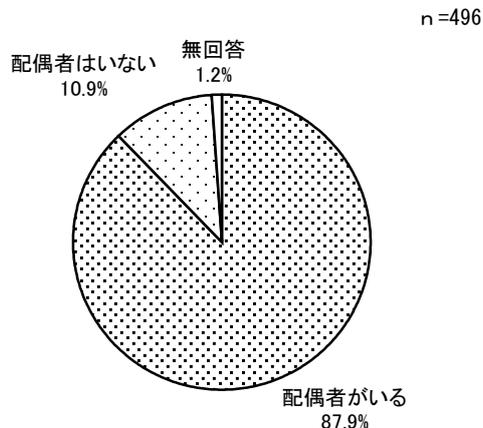


○調査票の回答者は、「母親」93.5%が9割以上で大半を占め、「父親」5.6%、「その他」0.6%である。

○「その他」の回答は、「祖母」「叔母」「姉」であった。

## (5) 配偶関係

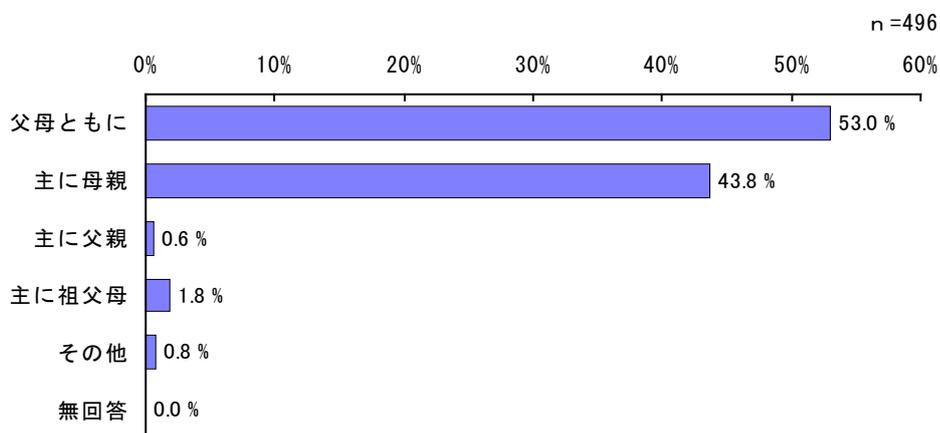
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○「配偶者がいる」87.9%、「配偶者がいない」10.9%である。

## (6) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

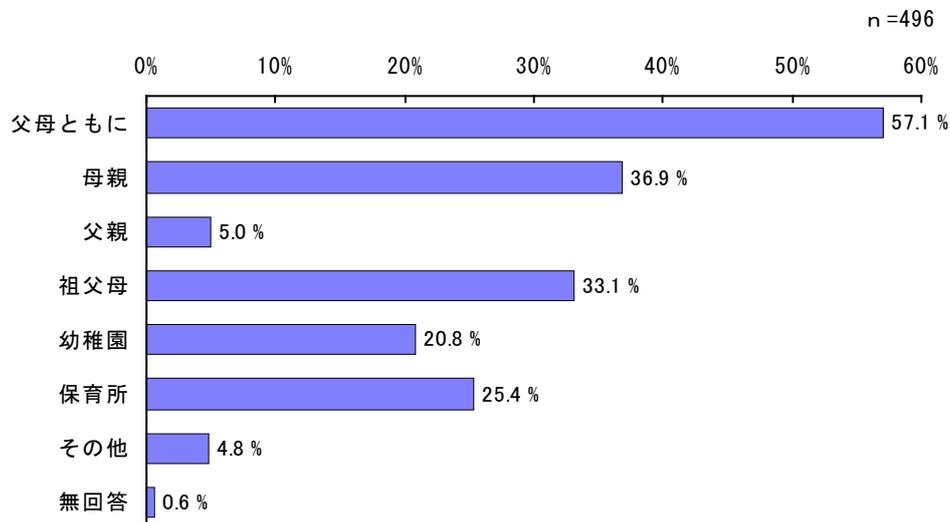


○子どもの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が53.0%と半数を超えて多く、次いで「主に母親」43.8%などとなっている。

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境

### (1) 子育てに日常的に関わっている方

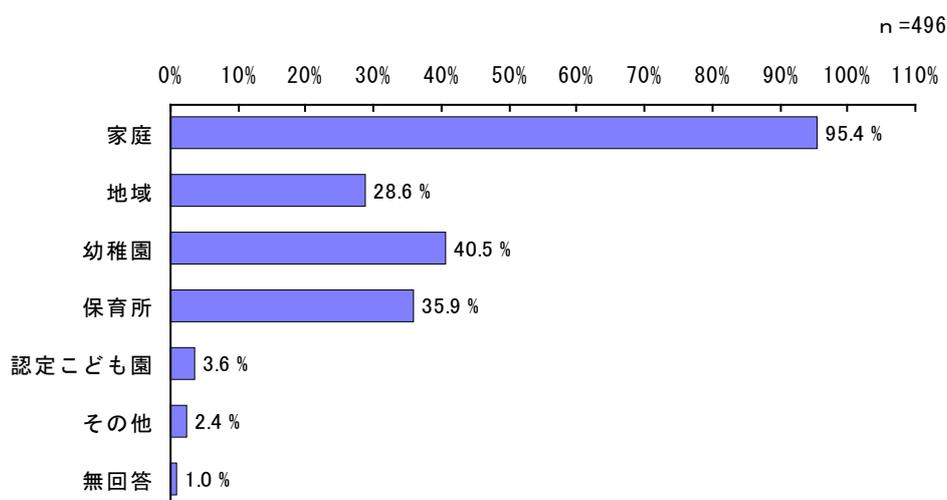
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○子育てに日常的に関わっている人は、「父母ともに」57.1%が5割を超えて最も多く、次いで「母親」36.9%、「祖父母」33.1%がいずれも3割台、「保育所」25.4%、「幼稚園」20.8%と続き、「父親」は5.0%である。

### (2) 子育てに影響する環境

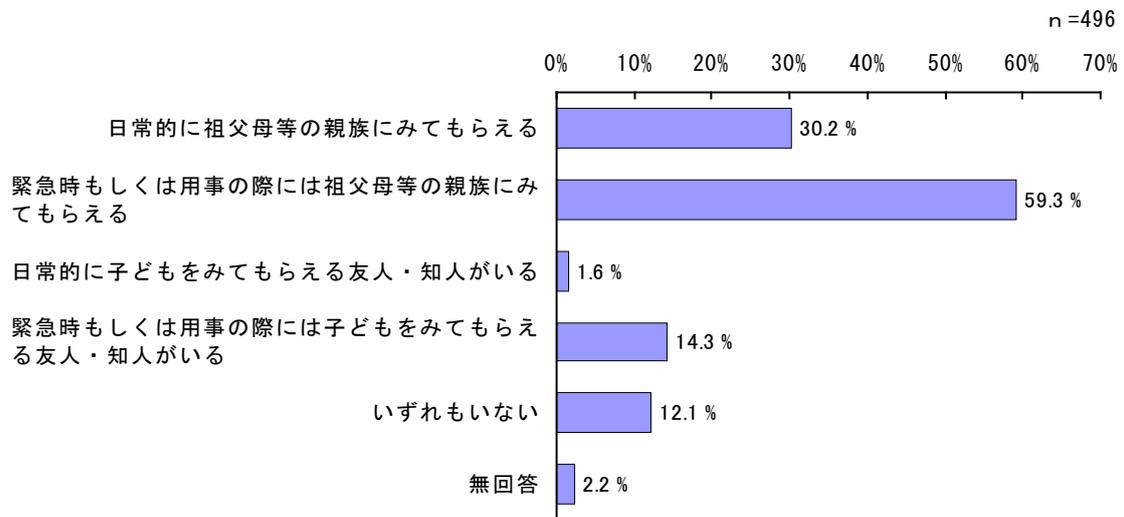
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



○子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」95.4%が9割半ばで最も多く、次いで「幼稚園」40.5%、「保育所」35.9%、「地域」28.6%などである。

### (3) 日頃のサポートの状況

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

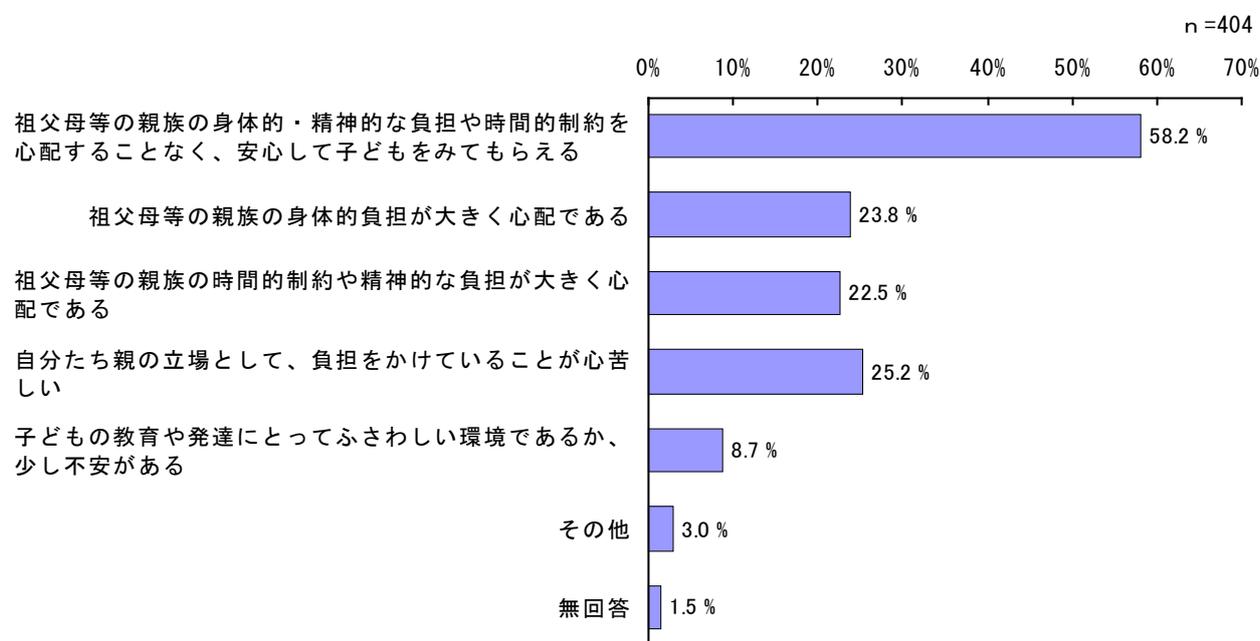


○日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみもらえる」が59.3%と約6割にのぼって多く、「日常的に祖父母等の親族にみもらえる」は30.2%と合わせると、『祖父母等の親族にみもらえる』は約9割を占める。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみもらえる友人・知人がいる」は14.3%、「いずれもない」は12.1%である。

#### (4) 祖父母からのサポートの状況

問 9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

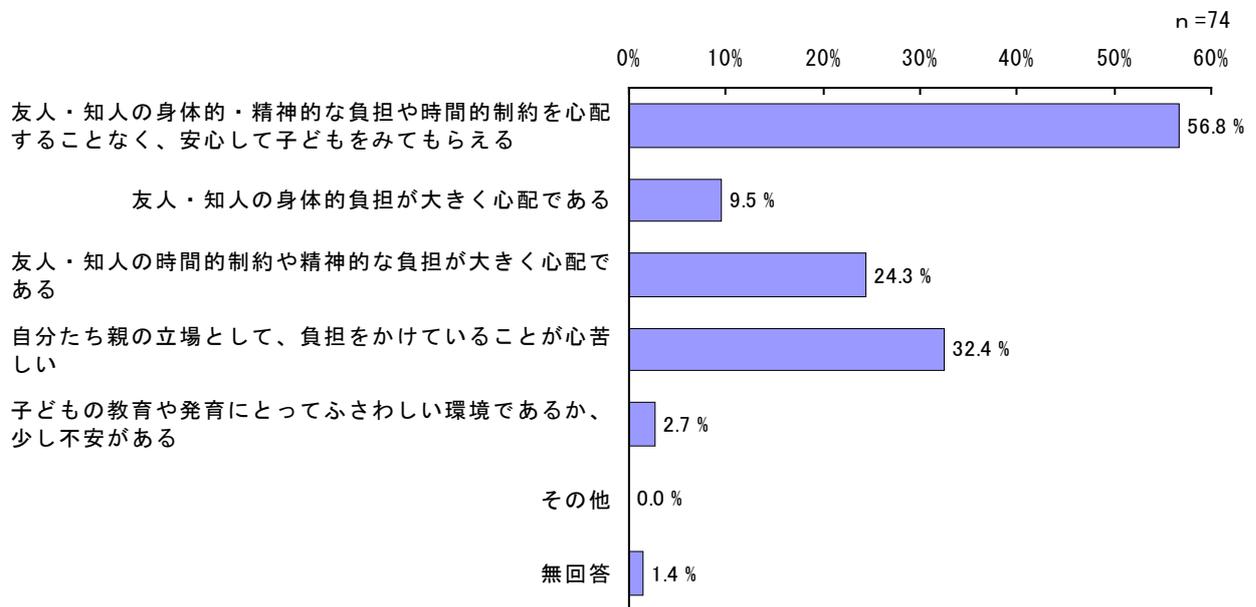


○日常的にもしくは緊急時に祖父母等の親族に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」58.2%が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」25.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」23.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」22.5%などである。

## (5) 友人・知人からのサポートの状況

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

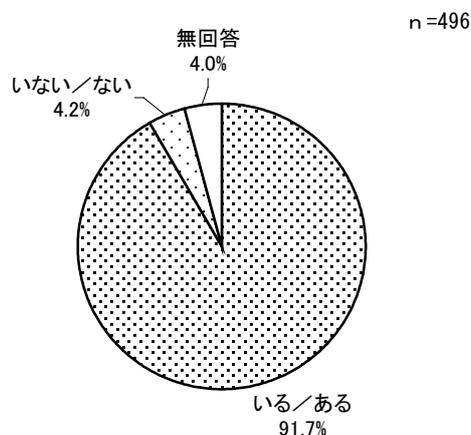
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○日常的もしくは緊急時に友人・知人に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.8%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」32.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」24.3%などである。

## (6) 子育てに関する相談先の有無

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

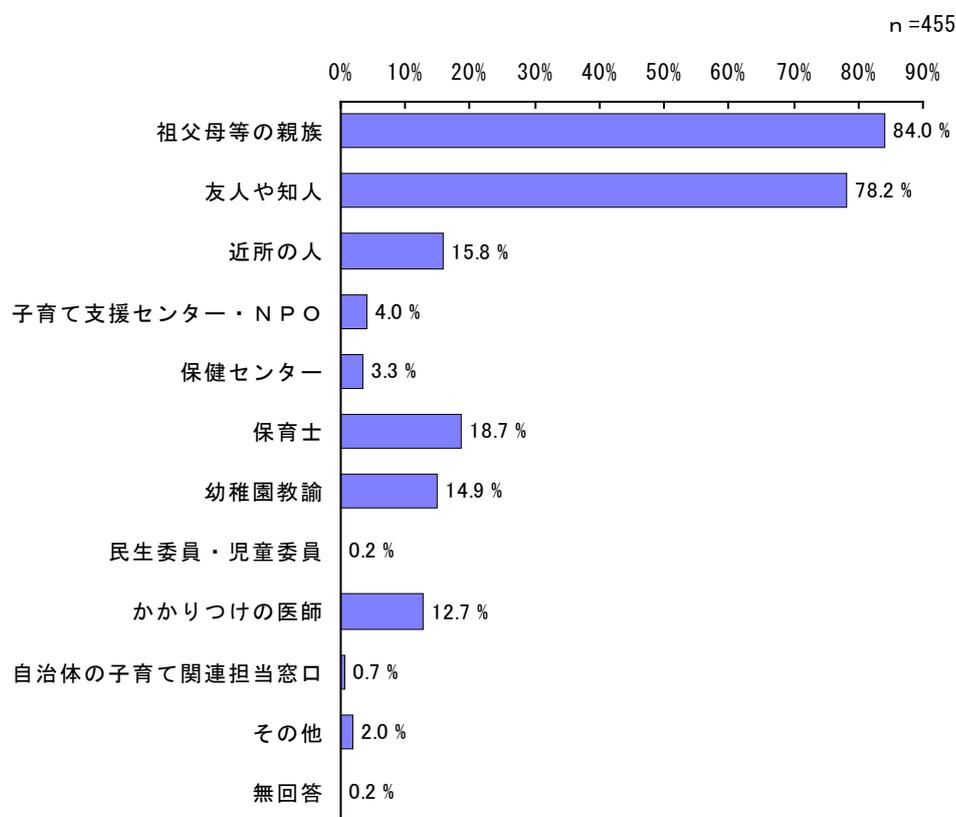


○子どもの子育てをする上で気軽に相談できる人が「いる/ある」が91.7%と9割を占め、「いない/ない」は4.2%である。

## (7) 子育てに関する具体的な相談先

問 10-1 問 10 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○相談先があると回答した人に、具体的な相談先をたずねたところ、「祖父母等の親族」84.0%、「友人や知人」78.2%がいずれも8割前後で高く、次いで「保育士」18.7%、「近所の人」15.8%、「幼稚園教諭」14.9%などである。

## (8) あればよいと思う周囲からのサポート

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

### <サークル・相談>

- 気軽に相談できるところ。
- 子育ての悩みを話せる若いママ達サークルなど
- 親身になって話を聞いてくれること。
- 専門的知識がある人に気軽に聞ける場所（保健センターに助産師や栄養士がいると良い）
- 電話で不安なことや病気の事を相談できるといい。
- 小学生になる上の子などゲーム機依存症ではないかと思う時があるが、そういった話をできる専門家がいるといい。

### <一時預かりのサポート>

- 風邪などをひいた時、預かってもらえるところがあるとよい。病児保育
- ファミリー・サポート・センター
- リフレッシュしたい時に、気兼ねなく預かってもらえるところ。
- 親の健診・検診時に子どもをみてもらいたい。
- きょうだいの対応で動きが取れない時に子どもをみてほしい。

### <情報提供>

- 子育てに参考になる施設などの紹介
- 年齢に応じた具体的な遊びやしつけの目安
- 外遊びできる場所の情報がほしい。
- 子育て支援についての予定表を、取りに行かなくても、新聞などに入れてもらえるとう助かる。
- 小児科などの評判・情報

### <環境面の整備>

- 楽しく安全に遊べる公園など環境整備
- 雨の日でも遊べる施設
- シルバーさんのパトロール等で安心して遊ばせられる環境
- 不審者などの見回り強化
- 子供が悪いことをしたら叱ってくれる人や環境
- ベビーカーをひいたり、幼児と歩きながら出かけられる散歩道
- 何か具体的に手助けなくても、あいさつが活発だとう思う。
- 近所づきあい

### <その他>

- 家事代行
- 金銭的な援助があるとういい。
- 児童扶養手当など
- 土曜日・祝日（夕方16：30以降）の保育所の利用
- 発達遅延のある子についてのアドバイス
- 子育て世帯を対象にした店などの割引や、特典
- 幼稚園の延長保育
- チャイルドシート、ベビーカーなど、その時にしか使わないベビー用品の貸出

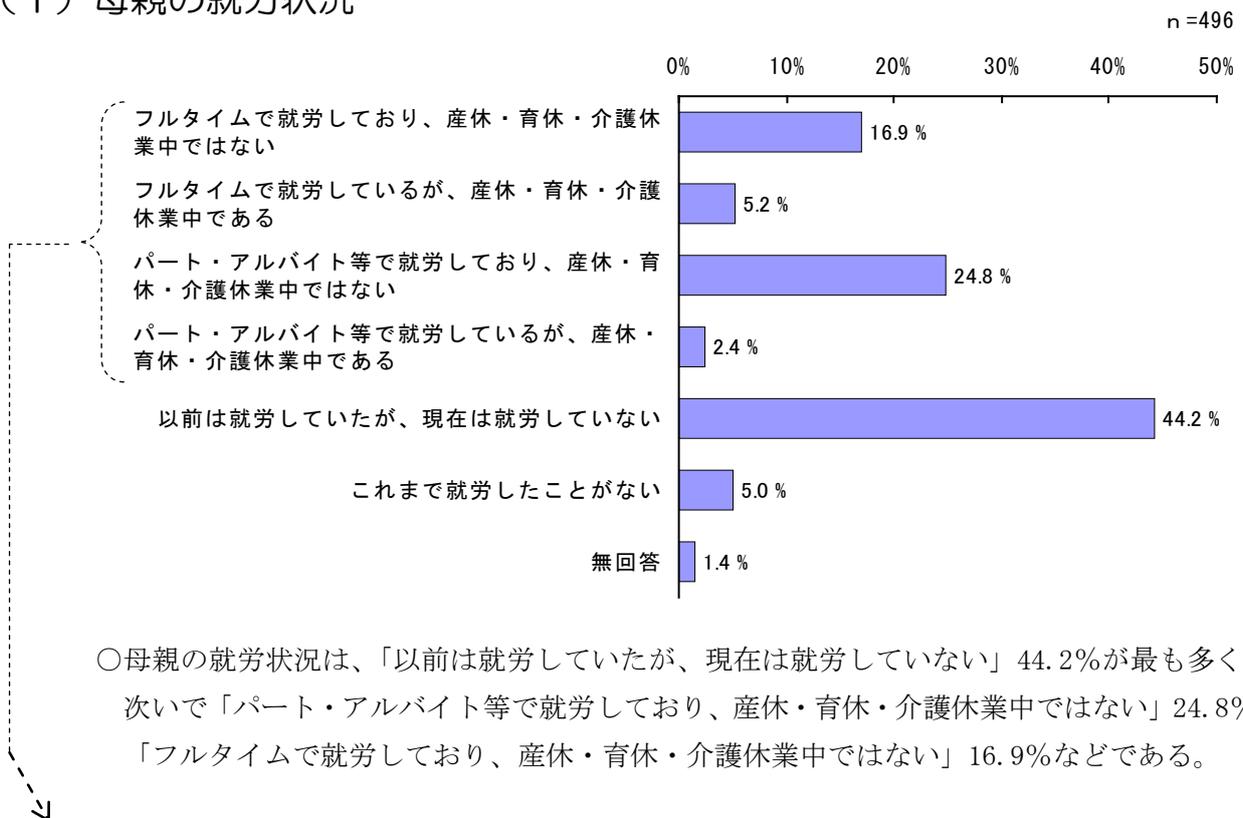
### 3. 保護者の就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況 \*（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

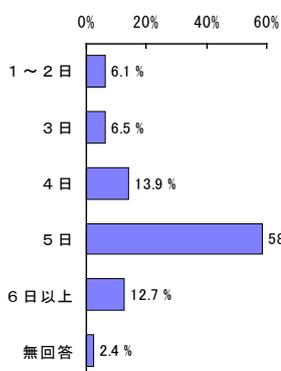
問 12-1 **問 12で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

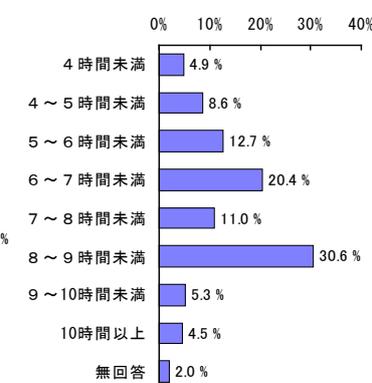
#### (1) 母親の就労状況



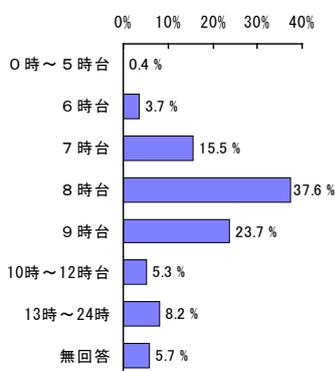
#### 〔週当たり日数〕



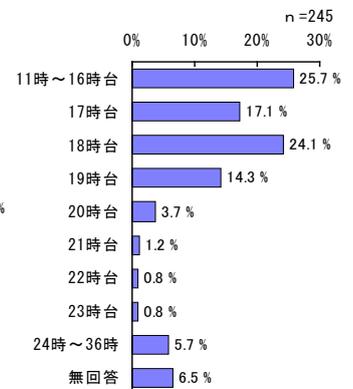
#### 〔1日当たり時間〕



#### 〔家を出る時刻〕



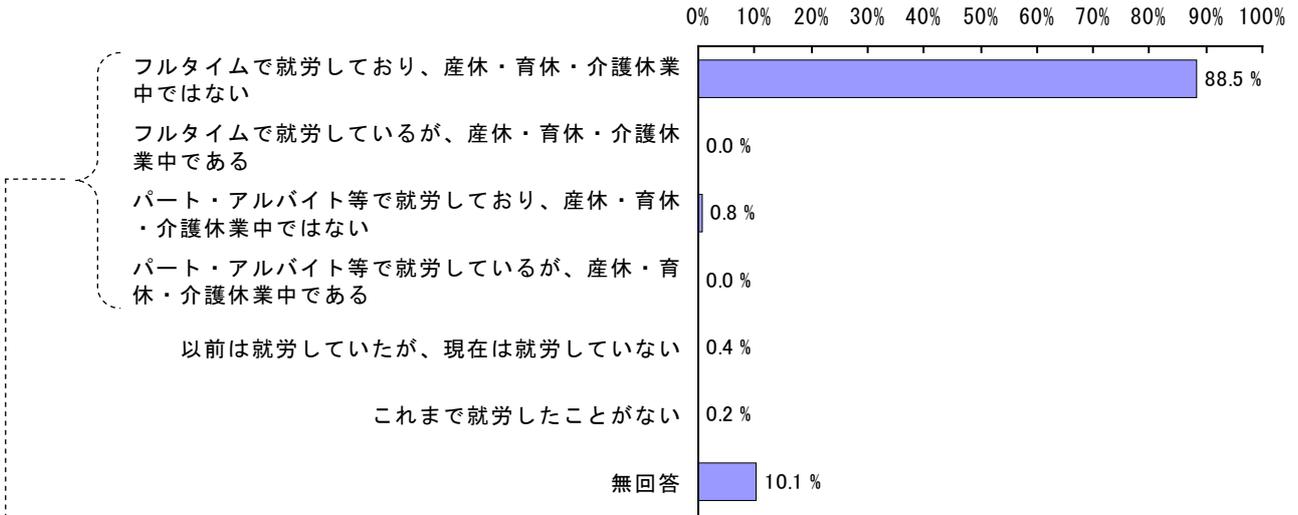
#### 〔帰宅時刻〕



\* ここでいう「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労のことです。「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のことです。

## (2) 父親の就労状況

n=496



○父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」88.5%が約9割と多く、他の項目は1%に満たない。

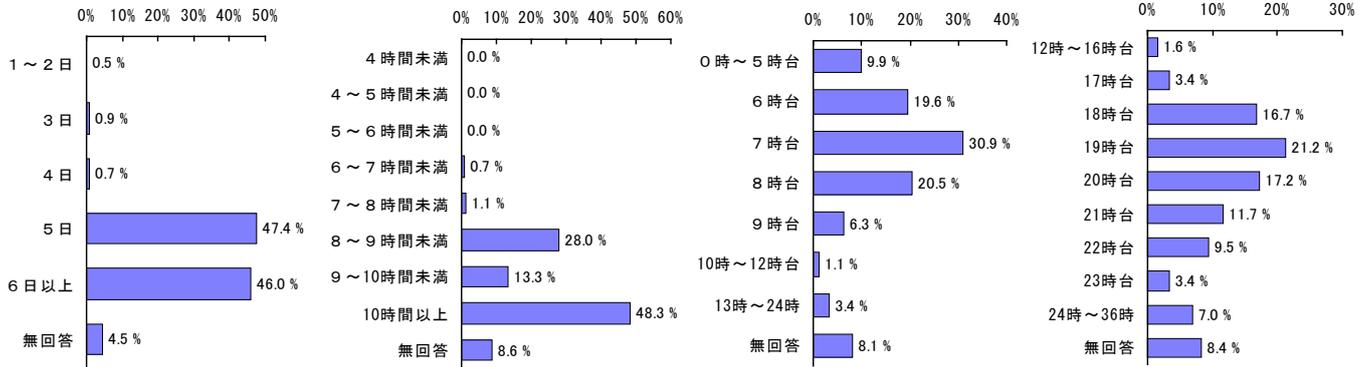
〔週当たり日数〕

〔1日当たり時間〕

〔家を出る時刻〕

〔帰宅時刻〕

n=443

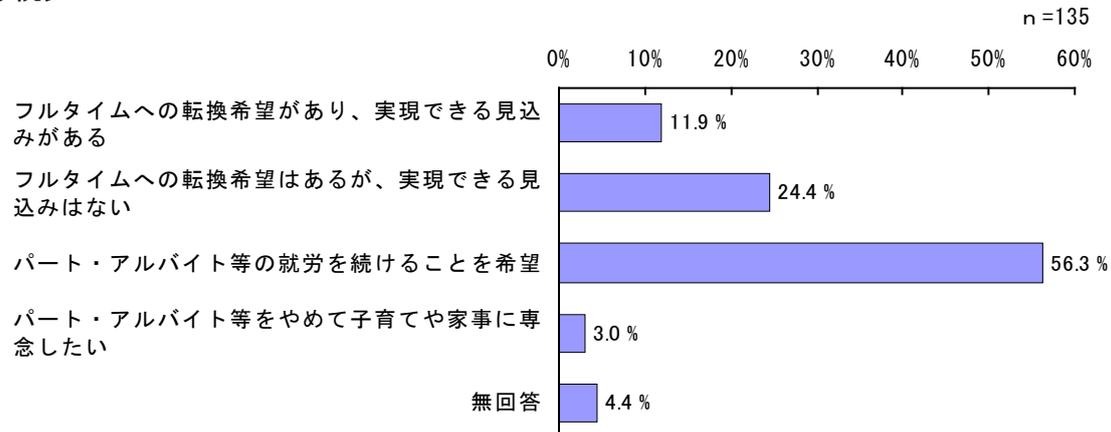


### (3) パートタイムで働いている親のフルタイムへの転換希望

問 13 問 12で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
**該当しない方は、問 14へお進みください。**

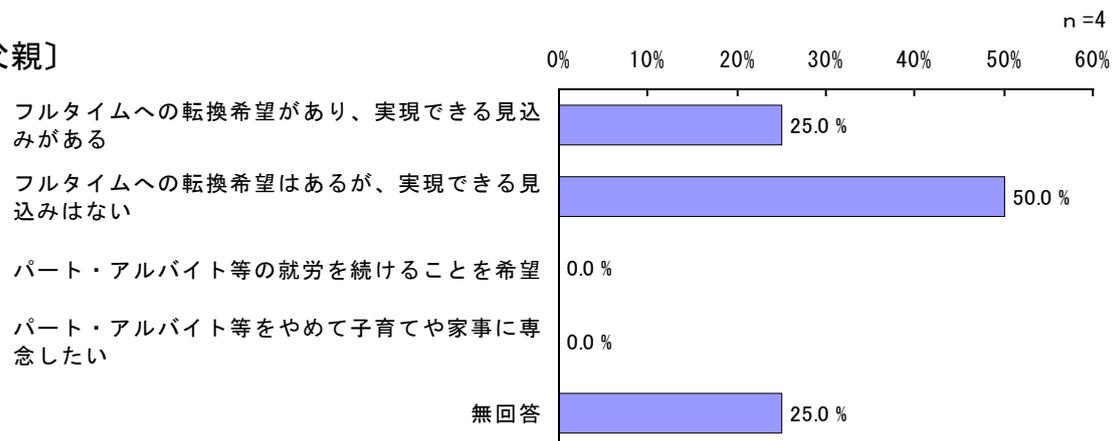
フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

#### 〔母親〕



○パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が56.3%と半数を超えて多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」24.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」11.9%などである。

#### 〔父親〕



○パート・アルバイト等で就労している父親4人に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2人、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」1人である。

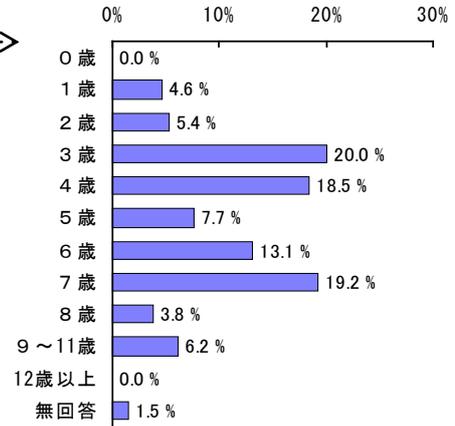
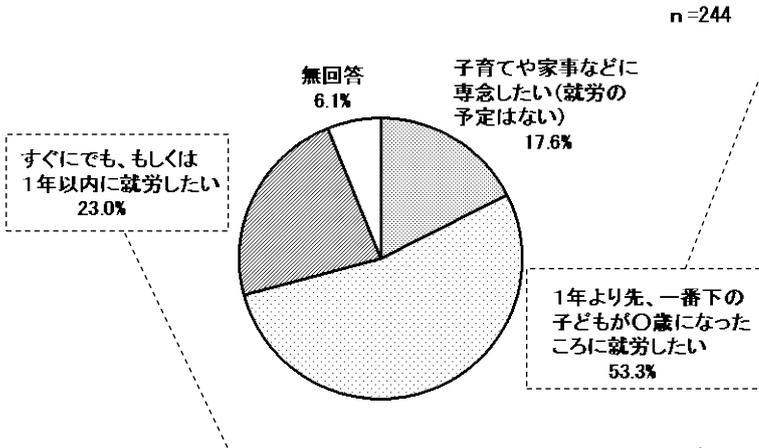
## (4) 無職の人の就労希望

問 14 問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

〔母親〕

〔就労したい時の子の年齢〕 n=130

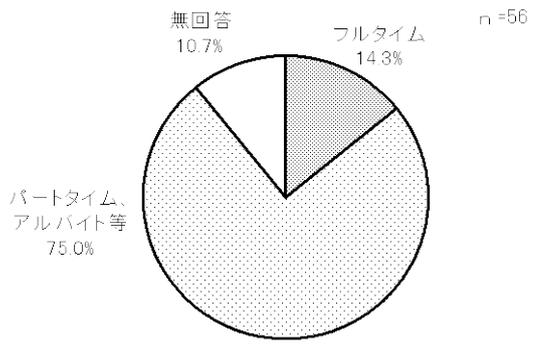


○無職の母親 244 人に今後の就労希望をたずねたところ、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が 53.3%と半数を超えて多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」23.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」17.6%である。

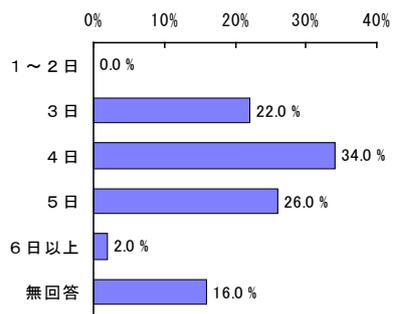
○「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」と回答した人の子どもの年齢は、「3歳」20.0%が最も多く、次いで「7歳」19.2%、「4歳」18.5%、「6歳」13.1%などである。

○「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」75.0%、「フルタイム」14.3%である。また、1週当たり「4日」34.0%が最も多く、次いで「5日」26.0%、「3日」22.0%などである。1日当たりの時間数は「4～5時間未満」28.0%が最も多く、次いで「5～6時間未満」22.0%、「6～7時間未満」16.0%などである。

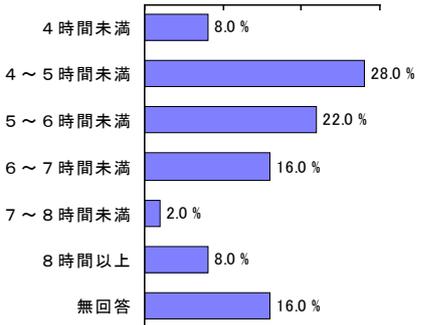
〔希望する就労形態〕



〔週当たり日数〕

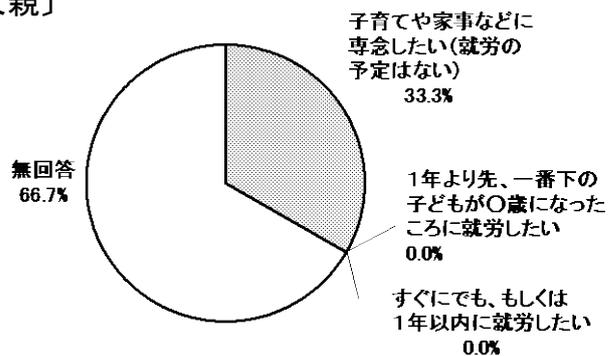


〔1日当たり時間〕



〔父親〕

n=3



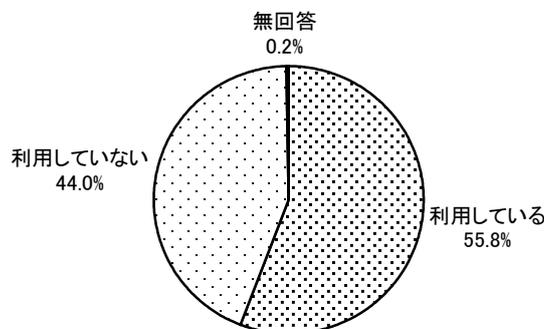
○無職の父親3人に今後の就労希望をたずねたところ、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人、2人は無回答である。

## 4. 定期的な教育・保育事業\*の利用状況

### (1) 利用状況

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

n=496



○定期的な教育・保育の事業を「利用している」55.8%、「利用していない」44.0%である。

#### 〔年齢別クロス集計〕

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

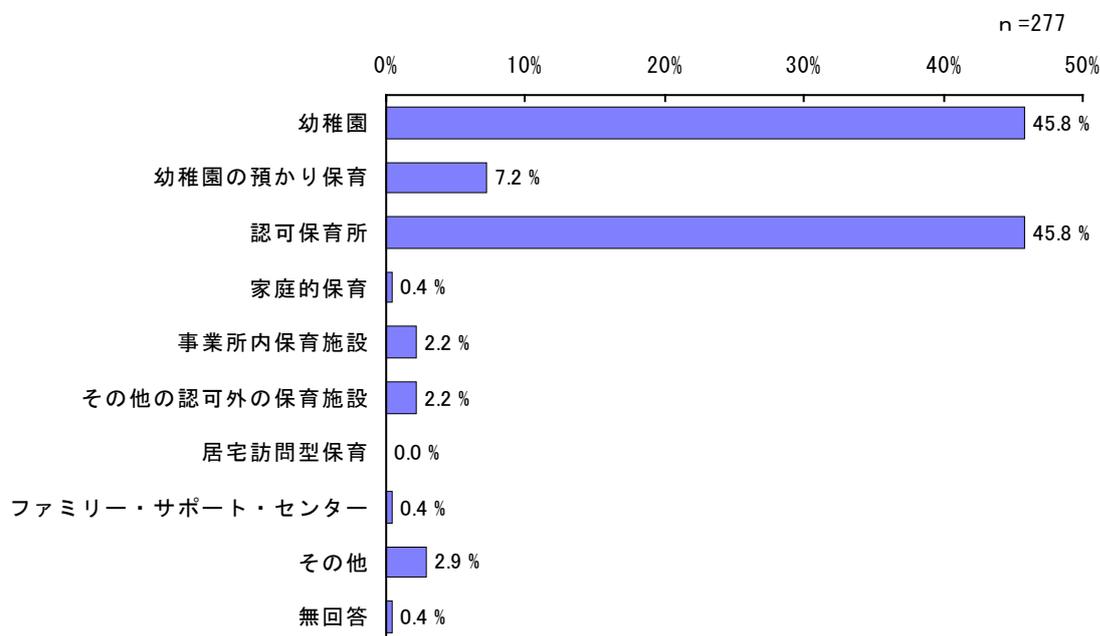
	全体	利用している	利用していない	無回答
合計	496 100.0	277 55.8	218 44.0	1 0.2
新生児	41 100.0	2 4.9	39 95.1	0 0.0
0歳	72 100.0	6 8.3	66 91.7	0 0.0
1歳	60 100.0	20 33.3	40 66.7	0 0.0
2歳	74 100.0	28 37.8	46 62.2	0 0.0
3歳	72 100.0	50 69.4	22 30.6	0 0.0
4歳	90 100.0	87 96.7	3 3.3	0 0.0
5歳	82 100.0	79 96.3	2 2.4	1 1.2

○年齢別にみると、「利用している」は、「5歳」96.3%及び「4歳」96.7%がいずれも9割半ばで多く、次いで「3歳」69.4%、「2歳」37.8%、「1歳」33.3%、「0歳」8.3%、「新生児」4.9%である。

\* ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○定期的な教育・保育の事業を利用している人にその事業をたずねたところ、「幼稚園」と「認可保育所」がいずれも 45.8%で多く、両者の合計は9割を超える。次いで「幼稚園の預かり保育」7.2%、「事業所内保育施設」及び「その他の認可外の保育施設」がいずれも 2.2%などである。

〔年齢別クロス集計〕

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
合計	277 100.0	127 45.8	20 7.2	127 45.8	1 0.4	6 2.2	6 2.2	0 0.0	1 0.4	8 2.9	1 0.4
新生児	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
0歳	6 100.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳	20 100.0	1 5.0	2 10.0	13 65.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0
2歳	28 100.0	1 3.6	1 3.6	19 67.9	1 3.6	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	3 10.7	0 0.0
3歳	50 100.0	11 22.0	4 8.0	35 70.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0
4歳	87 100.0	60 69.0	4 4.6	25 28.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.4	0 0.0
5歳	79 100.0	49 62.0	8 10.1	30 38.0	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0

○利用している事業について年齢別で見ると、「幼稚園」は4歳から5歳でいずれも6割台、3歳で2割台である。「認可保育所」は0歳から2歳でいずれも6割台、3歳で7割、4歳では3割弱、5歳で4割弱である。

## (2) 利用時間

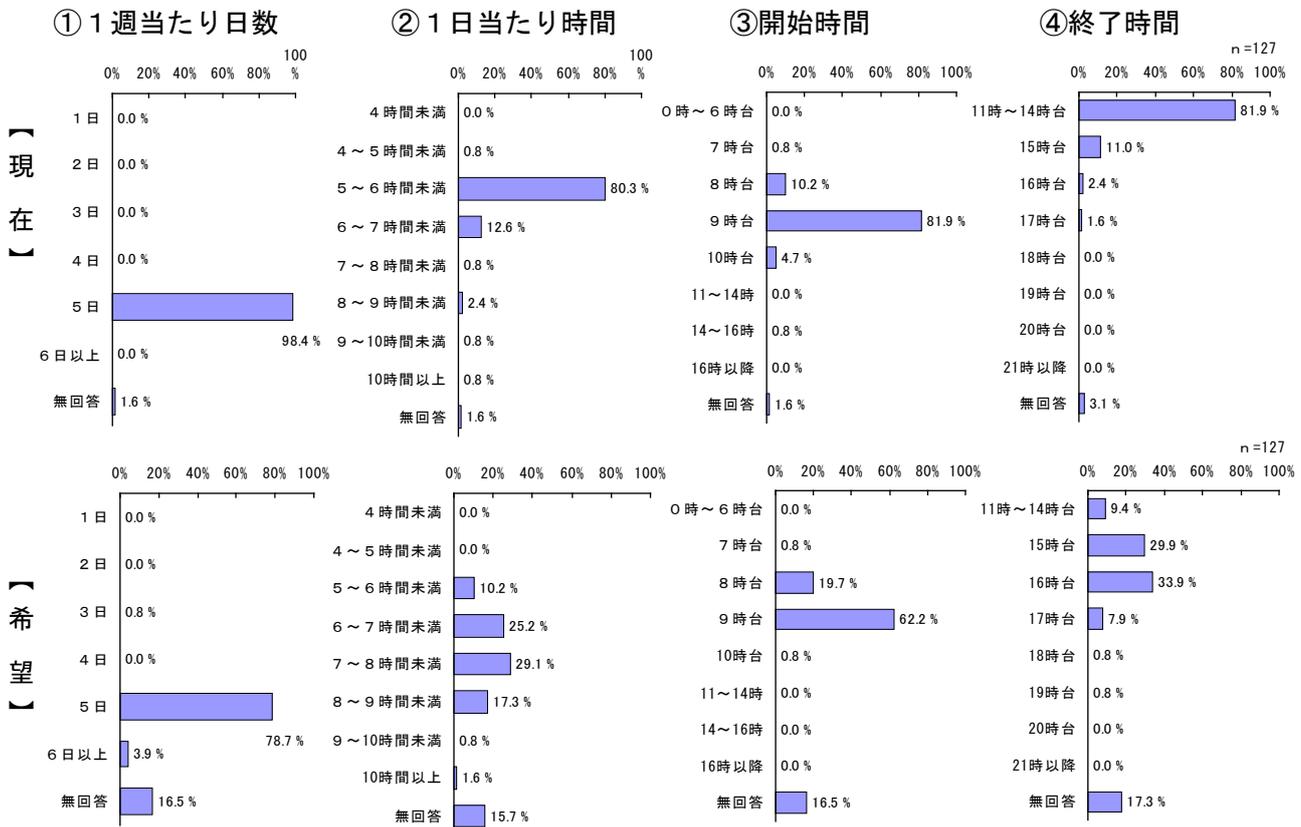
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

○平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在の利用状況と希望をたずねた。

「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」は、「1日当たり時間」及び「終了時間」が現在より長時間、遅い時間までを希望する人が多くみられる。

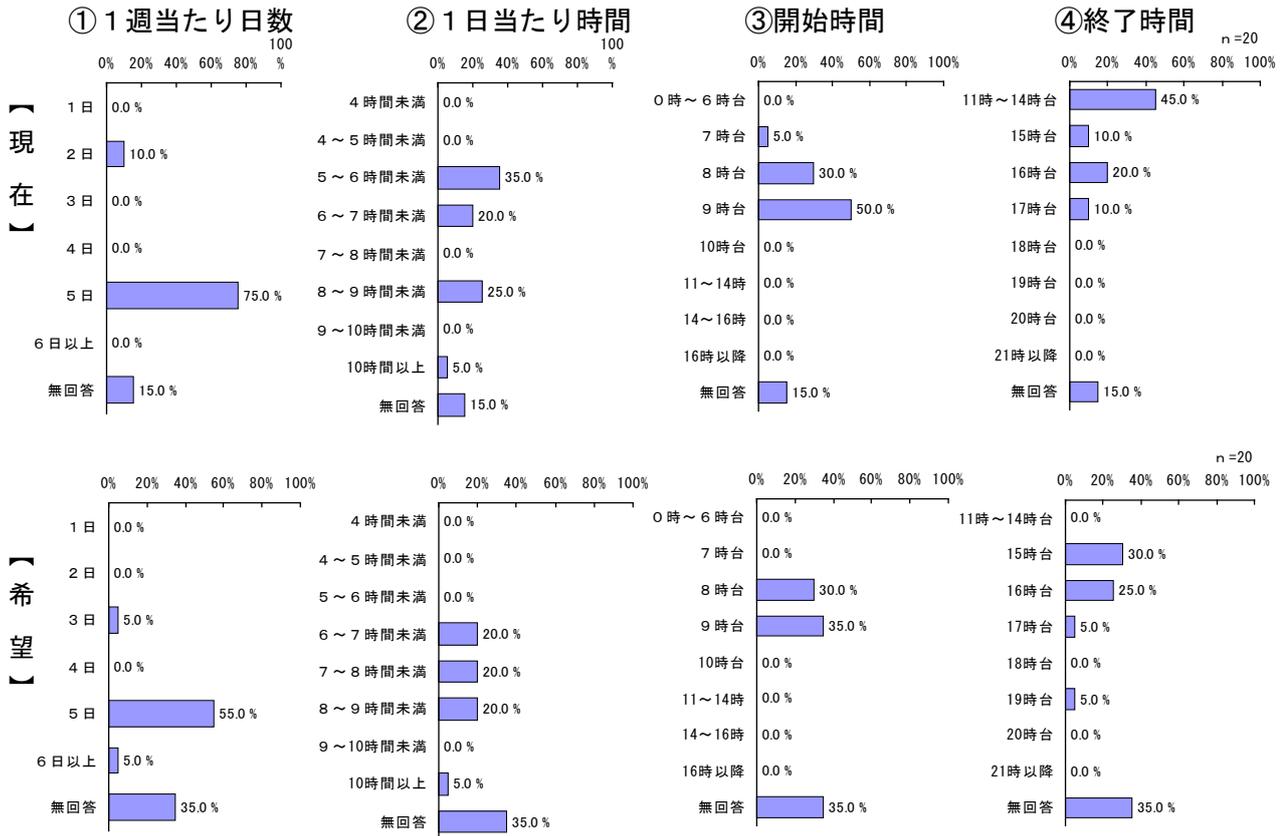
「認可保育所」は、1週当たり日数が、「6日以上」が現在12.6%より希望が約8ポイント増加し20.5%である。

### 【幼稚園】(n=127)

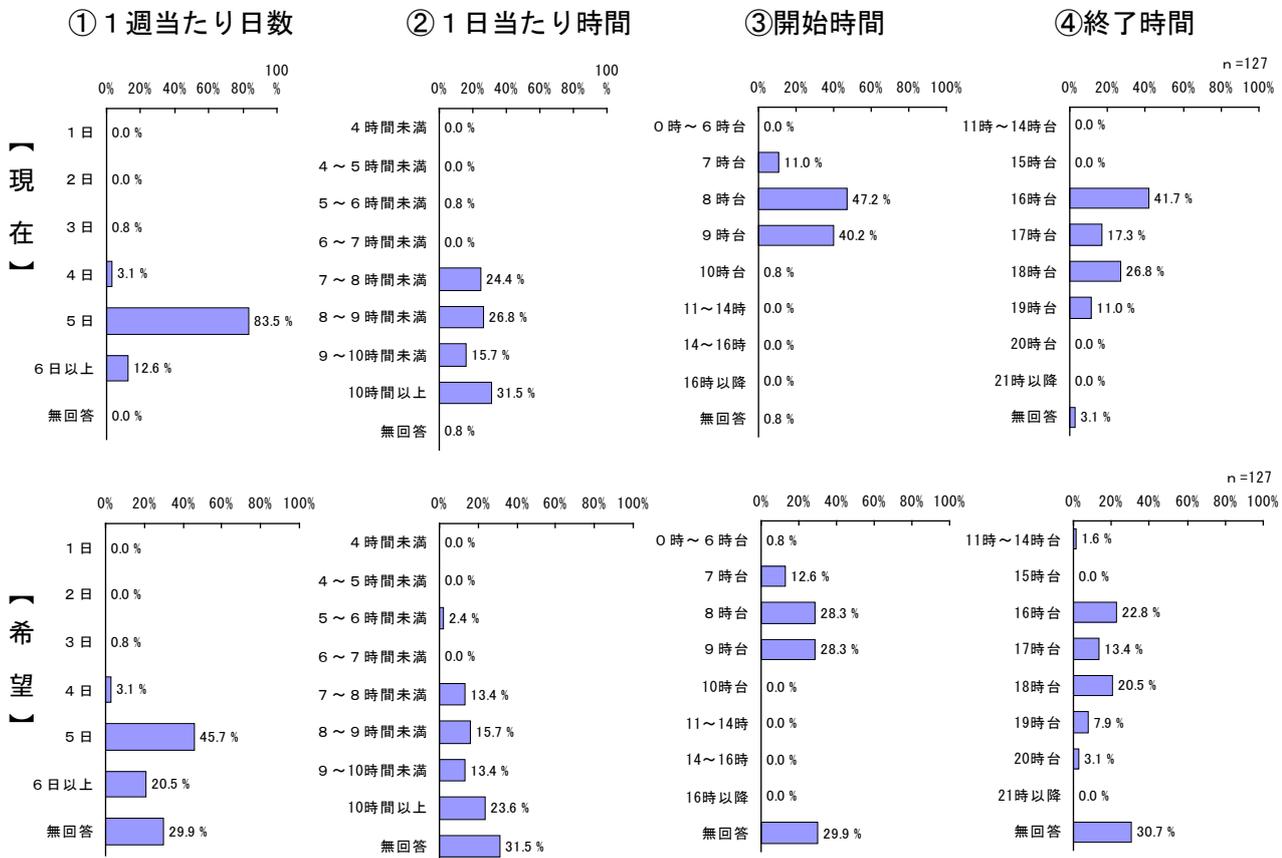


※「家庭的保育」「ファミリー・サポート・センター」は該当者が1人のみのため、グラフは割愛させていただきました。

〔幼稚園の預かり保育〕 (n=20)



〔認可保育所〕 (n=127)



〔事業所内保育施設〕 (n=6)

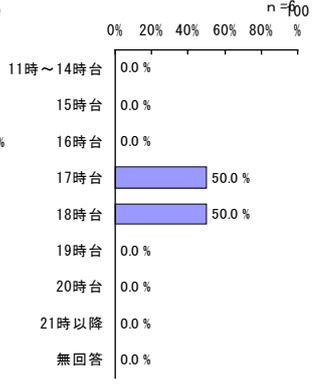
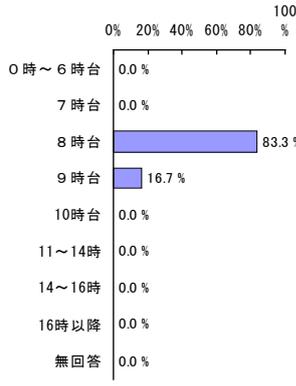
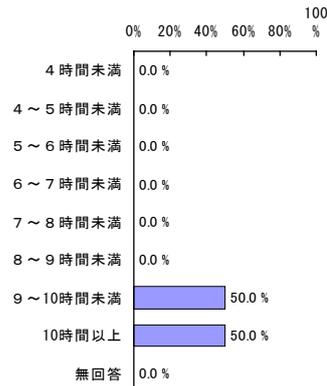
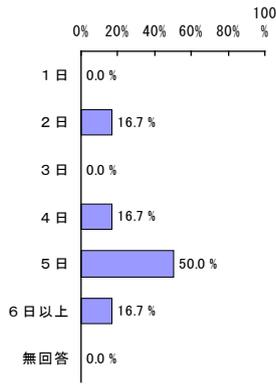
① 1週あたり日数

② 1日あたり時間

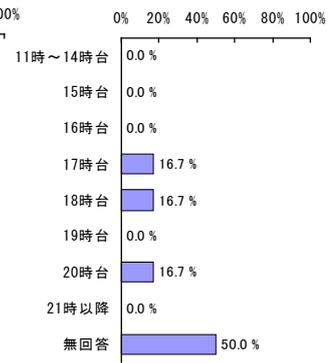
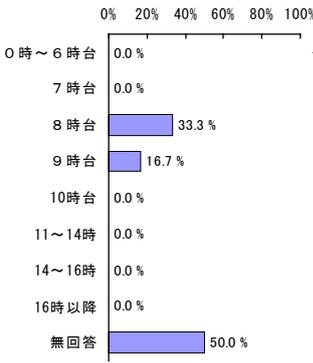
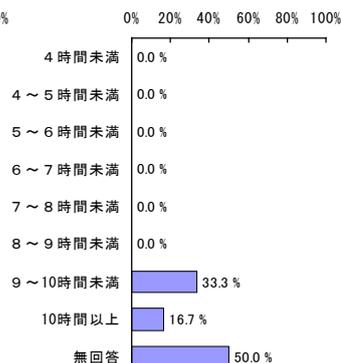
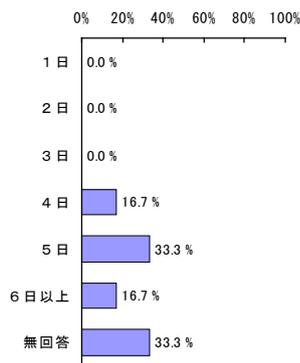
③ 開始時間

④ 終了時間

【現在】



【希望】



〔その他の認可外の保育施設〕 (n=6)

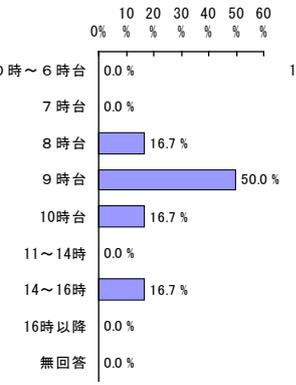
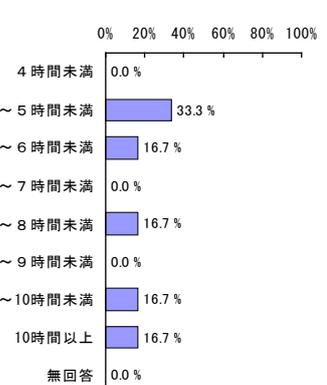
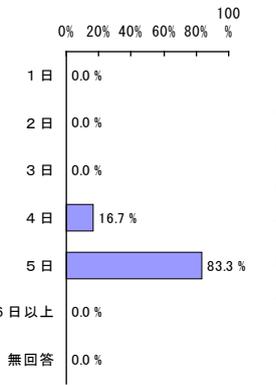
① 1週あたり日数

② 1日あたり時間

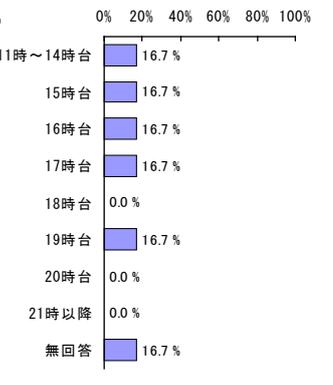
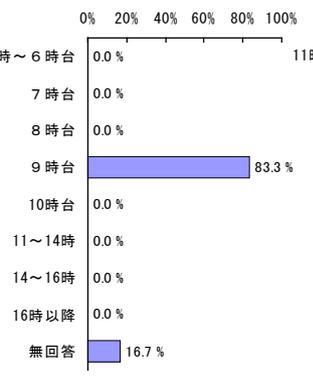
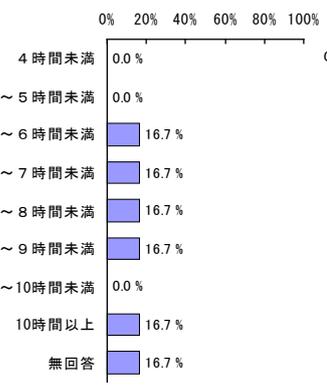
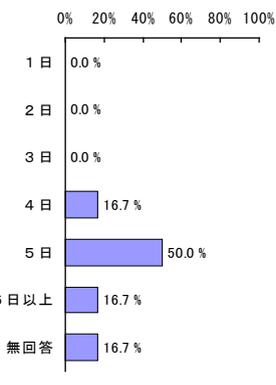
③ 開始時間

④ 終了時間

【現在】

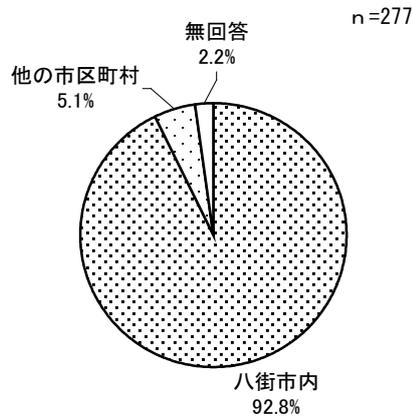


【希望】



### (3) 実施場所

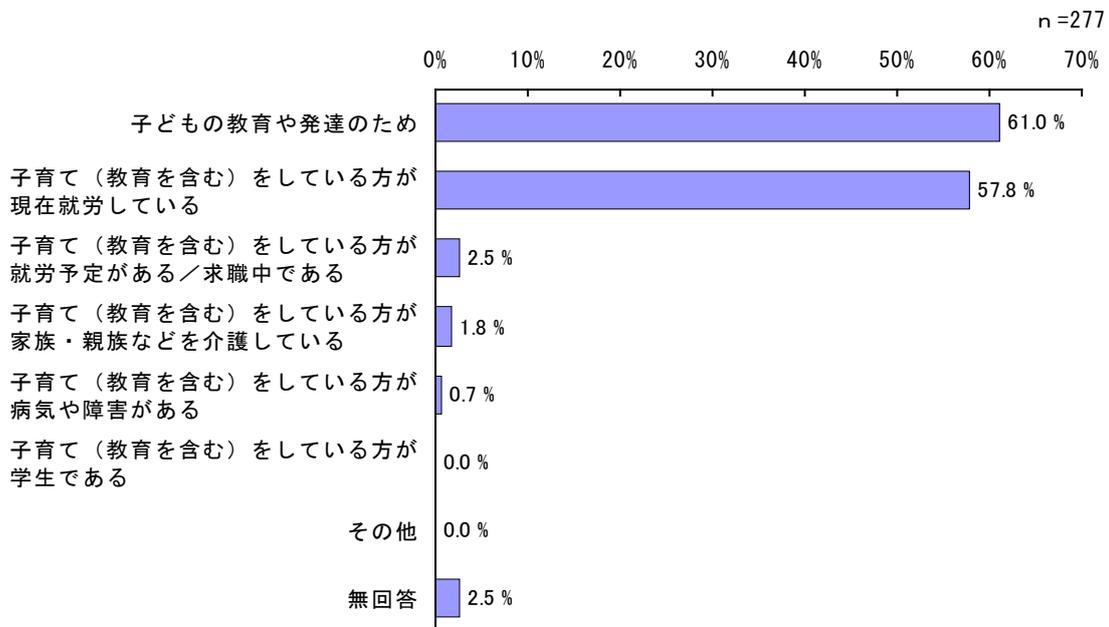
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「八街市内」92.8%が9割を超えて多く、「他の市区町村」は5.1%である。

### (4) 利用している理由

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している理由は「子どもの教育や発達のため」61.0%、「子育てをしている方が現在就労している」57.8%がいずれも6割前後で多くなっている。

〔年齢別クロス集計〕

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	子どもの教育 や発達のため	子育て(教育 を含む)をして いる方が現在 就労している	子育て(教育 を含む)をして いる方が就 労予定がある ／求職中である	子育て(教育 を含む)をして いる方が家 族・親族など を介護している	子育て(教育 を含む)をして いる方が病 気や障害があ る	子育て(教育 を含む)をして いる方が学 生である	その他	無回答
合計	277 100.0	169 61.0	160 57.8	7 2.5	5 1.8	2 0.7	0 0.0	0 0.0	7 2.5
新生児	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
0歳	6 100.0	1 16.7	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳	20 100.0	5 25.0	17 85.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0
2歳	28 100.0	9 32.1	22 78.6	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 7.1
3歳	50 100.0	21 42.0	39 78.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
4歳	87 100.0	67 77.0	36 41.4	1 1.1	1 1.1	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1
5歳	79 100.0	60 75.9	38 48.1	3 3.8	2 2.5	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している理由を年齢別でみると、「子どもの教育や発達のため」は、4歳と5歳でいずれも7割台と高い。「子育てをしている方が現在就労している」は、0歳から3歳のいずれも7割以上と高い。

〔問 15-1 現在利用している事業とのクロス集計〕

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

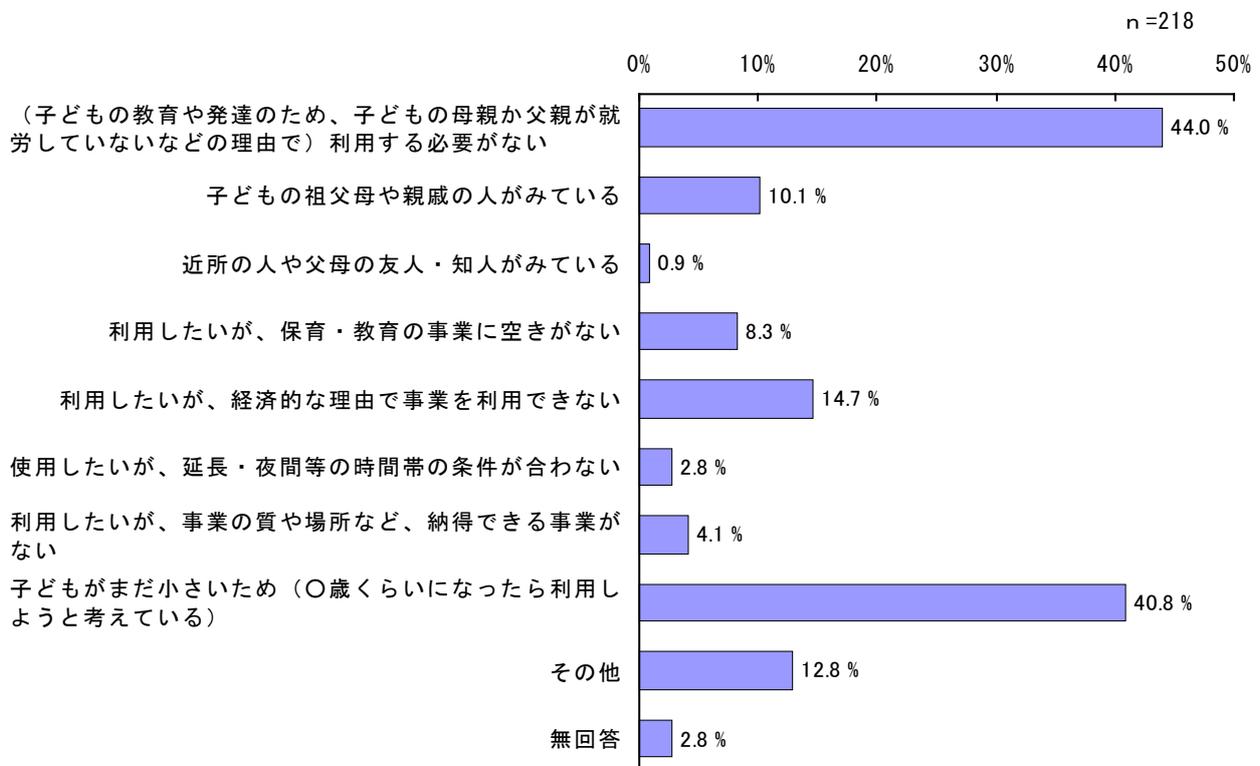
	全体	子どもの教育 や発達のため	子育て(教育 を含む)をして いる方が現在 就労している	子育て(教育 を含む)をして いる方が就 労予定がある ／求職中である	子育て(教育 を含む)をして いる方が家 族・親族など を介護している	子育て(教育 を含む)をして いる方が病 気や障害があ る	子育て(教育 を含む)をして いる方が学 生である	その他	無回答
合計	277 100.0	169 61.0	160 57.8	7 2.5	5 1.8	2 0.7	0 0.0	0 0.0	7 2.5
幼稚園	127 100.0	124 97.6	30 23.6	0 0.0	3 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
幼稚園の預かり 保育	20 100.0	16 80.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0
認可保育所	127 100.0	36 28.3	118 92.9	6 4.7	2 1.6	2 1.6	0 0.0	0 0.0	2 1.6
家庭的保育	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
事業所内保育 施設	6 100.0	1 16.7	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他の認可 外の保育施設	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
居宅訪問型 保育	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ファミリー・サポ ート センター	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	8 100.0	7 87.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している理由を、現在利用している事業別にみると、「幼稚園」では、「子どもの教育や発達のため」が97.6%で最も多い。「認可保育所」では、「子育てをしている方が現在就労している」が92.9%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」28.3%である。

## (5) 利用していない理由

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○平日、定期的に教育・保育事業を利用していない人にその理由をたずねたところ、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」44.0%、「子どもがまだ小さいため」40.8%がいずれも4割台で多く、次いで「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」14.7%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」10.1%などである。

### 〔年齢別クロス集計〕

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

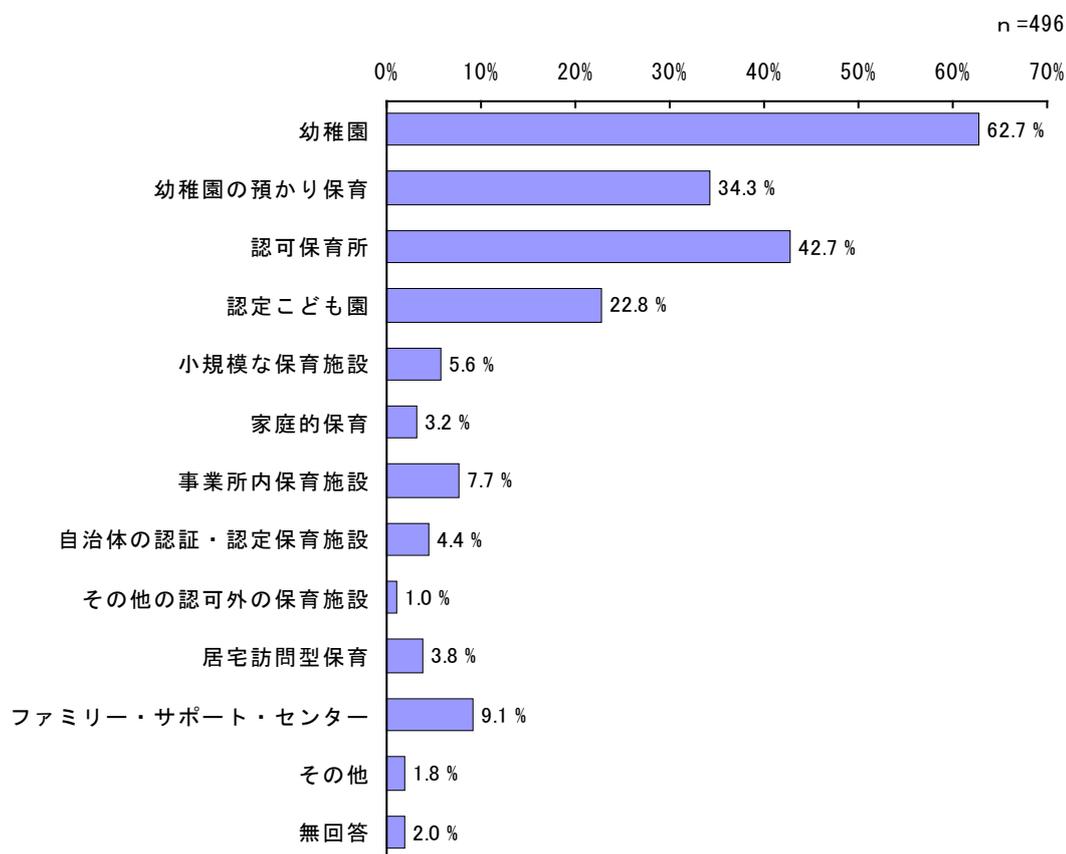
	全体	(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため (○歳くらいになったら利用しようと考えている)	その他	無回答
合計	218	96	22	2	18	32	6	9	89	28	6
	100.0	44.0	10.1	0.9	8.3	14.7	2.8	4.1	40.8	12.8	2.8
新生児	39	16	5	0	2	3	0	0	27	0	1
	100.0	41.0	12.8	0.0	5.1	7.7	0.0	0.0	69.2	0.0	2.6
0歳	66	30	3	0	9	12	3	4	35	7	2
	100.0	45.5	4.5	0.0	13.6	18.2	4.5	6.1	53.0	10.6	3.0
1歳	40	21	8	1	2	4	1	0	14	2	0
	100.0	52.5	20.0	2.5	5.0	10.0	2.5	0.0	35.0	5.0	0.0
2歳	46	22	5	1	5	9	1	3	10	7	2
	100.0	47.8	10.9	2.2	10.9	19.6	2.2	6.5	21.7	15.2	4.3
3歳	22	6	1	0	0	2	1	0	2	11	1
	100.0	27.3	4.5	0.0	0.0	9.1	4.5	0.0	9.1	50.0	4.5
4歳	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0
	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
5歳	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

○事業を利用していない理由を年齢別にみると、「子どもがまだ小さいため」は「新生児」69.2%、「0歳」53.0%に多く、「利用する必要がない」は新生児から2歳にかけていずれも4割から5割にのぼる。

## (6) 希望の教育・保育事業

### 問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。



○今後、定期的に利用したい事業は、「幼稚園」62.7%が6割を超えて最も多く、次いで「認可保育所」42.7%、「幼稚園の預かり保育」34.3%、「認定こども園」22.8%、「ファミリー・サポート・センター」9.1%、「事業所内保育施設」7.7%などである。

〔年齢別クロス集計〕

\*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他の認可外の保育施設	無回答
合計	496 100.0	311 62.7	170 34.3	212 42.7	113 22.8	28 5.6	16 3.2	38 7.7	22 4.4	5 1.0	19 3.8	45 9.1	9 1.8	10 2.0
新生児	41 100.0	27 65.9	15 36.6	22 53.7	9 22.0	2 4.9	0 0.0	4 9.8	2 4.9	1 2.4	3 7.3	7 17.1	1 2.4	1 2.4
0歳	72 100.0	50 69.4	26 36.1	35 48.6	18 25.0	7 9.7	6 8.3	7 9.7	5 6.9	1 1.4	2 2.8	5 6.9	0 0.0	1 1.4
1歳	60 100.0	35 58.3	20 33.3	24 40.0	14 23.3	4 6.7	2 3.3	4 6.7	3 5.0	1 1.7	0 0.0	6 10.0	0 0.0	3 5.0
2歳	74 100.0	48 64.9	26 35.1	33 44.6	22 29.7	6 8.1	1 1.4	8 10.8	6 8.1	0 0.0	1 1.4	8 10.8	2 2.7	2 2.7
3歳	72 100.0	33 45.8	10 13.9	32 44.4	15 20.8	4 5.6	3 4.2	3 4.2	1 1.4	1 1.4	4 5.6	6 8.3	1 1.4	1 1.4
4歳	90 100.0	65 72.2	38 42.2	28 31.1	12 13.3	1 1.1	1 1.1	5 5.6	4 4.4	0 0.0	2 2.2	4 4.4	3 3.3	1 1.1
5歳	82 100.0	48 58.5	32 39.0	38 46.3	23 28.0	4 4.9	3 3.7	7 8.5	1 1.2	1 1.2	6 7.3	9 11.0	2 2.4	1 1.2

○今後、定期的にご利用したい事業を年齢別にみると、「新生児」は「幼稚園」65.9%が最も多く、次いで「認可保育所」53.7%、「幼稚園の預かり保育」36.6%である。

「0歳」は、「幼稚園」69.4%が最も多く、次いで「認可保育所」48.6%、「幼稚園の預かり保育」36.1%などである。

「1歳」は、「幼稚園」58.3%が最も多く、次いで「認可保育所」40.0%、「幼稚園の預かり保育」33.3%などである。

「2歳」は、「幼稚園」64.9%が最も多く、次いで「認可保育所」44.6%、「幼稚園の預かり保育」35.1%などである。

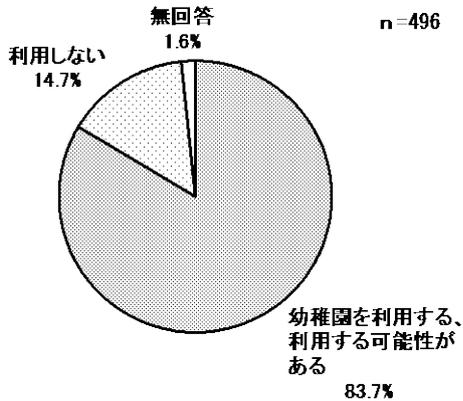
「3歳」は、「幼稚園」45.8%、「認可保育所」44.4%がいずれも同程度で多く、次いで「認定こども園」20.8%などである。

「4歳」は、「幼稚園」72.2%が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」42.2%、「認可保育所」31.1%などである。

「5歳」は、「幼稚園」58.5%が最も多く、次いで「認可保育所」46.3%、「幼稚園の預かり保育」39.0%などである。

## (7) 幼稚園の時間外保育の希望

問 16-1 今後、幼稚園の時間外保育がより充実すれば、フルタイムまたはパートタイマー（月に数日程度の勤務も含む）などの就労状況に関わらず幼稚園を利用しようと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○今後、幼稚園の時間外保育がより充実すれば、フルタイムまたはパートタイマーなどの就労状況に関わらず「幼稚園を利用する、利用する可能性がある」が83.7%と8割を超えて多く、「利用しない」は14.7%である。

### 〔年齢別クロス集計〕

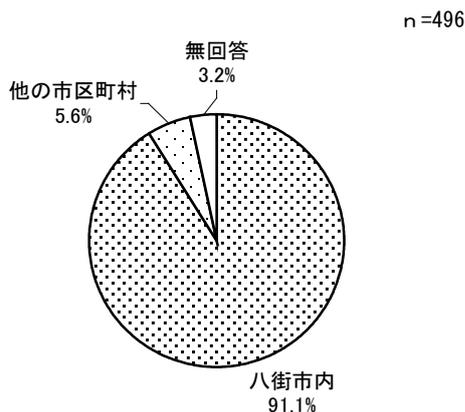
\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	幼稚園を利用する、 利用する可能性がある	利用しない	無回答
合計	496 100.0	415 83.7	73 14.7	8 1.6
新生児	41 100.0	37 90.2	4 9.8	0 0.0
0歳	72 100.0	63 87.5	9 12.5	0 0.0
1歳	60 100.0	50 83.3	9 15.0	1 1.7
2歳	74 100.0	65 87.8	8 10.8	1 1.4
3歳	72 100.0	55 76.4	14 19.4	3 4.2
4歳	90 100.0	75 83.3	13 14.4	2 2.2
5歳	82 100.0	66 80.5	15 18.3	1 1.2

○年齢別でみると、「幼稚園を利用する、利用する可能性がある」は、新生児から2歳のいずれにおいても9割前後、3歳で7割半ば、4歳及び5歳は8割強である。

## (8) 希望の実施場所

問 16-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

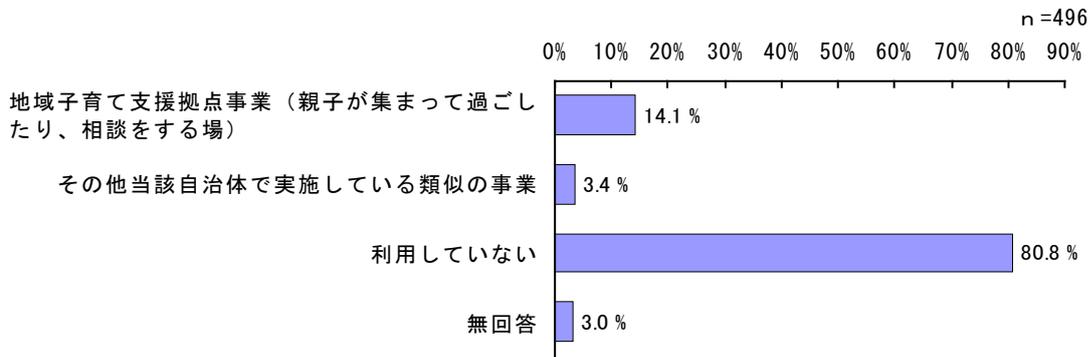


○教育・保育事業を利用したい場所は、「八街市内」91.1%が9割を超えて多く、「他の市区町村」は5.6%である。

## 5. 地域の子育て支援事業の利用状況

### (1) 現在の利用状況

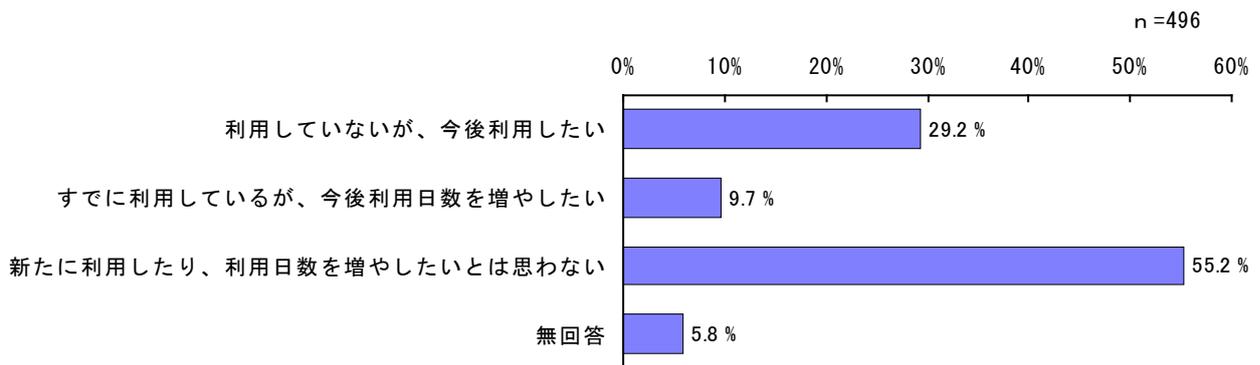
問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○現在、地域子育て支援拠点事業を「利用していない」80.8%が8割と多く、利用している人では、「地域子育て支援拠点事業」が14.1%、「その他自治体で実施している類似の事業」3.4%である。

### (2) 今後の利用希望

問 17-1 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望をたずねたところ、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」55.2%が半数を超えて多く、「利用していないが、今後利用したい」29.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」9.7%である。

〔年齢別クロス集計〕

\*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
合計	496 100.0	145 29.2	48 9.7	274 55.2	29 5.8
新生児	41 100.0	23 56.1	7 17.1	10 24.4	1 2.4
0歳	72 100.0	35 48.6	11 15.3	23 31.9	3 4.2
1歳	60 100.0	17 28.3	7 11.7	33 55.0	3 5.0
2歳	74 100.0	19 25.7	14 18.9	37 50.0	4 5.4
3歳	72 100.0	14 19.4	4 5.6	48 66.7	6 8.3
4歳	90 100.0	21 23.3	3 3.3	59 65.6	7 7.8
5歳	82 100.0	14 17.1	2 2.4	61 74.4	5 6.1

○地域子育て支援拠点事業について、今後の利用希望を年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は「新生児」が56.1%で半数を超えて多く、「0歳」48.6%、「1歳」28.3%などである。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は、新生児から2歳にかけていずれも1割台である。

〔小学校区別クロス集計〕

\*上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

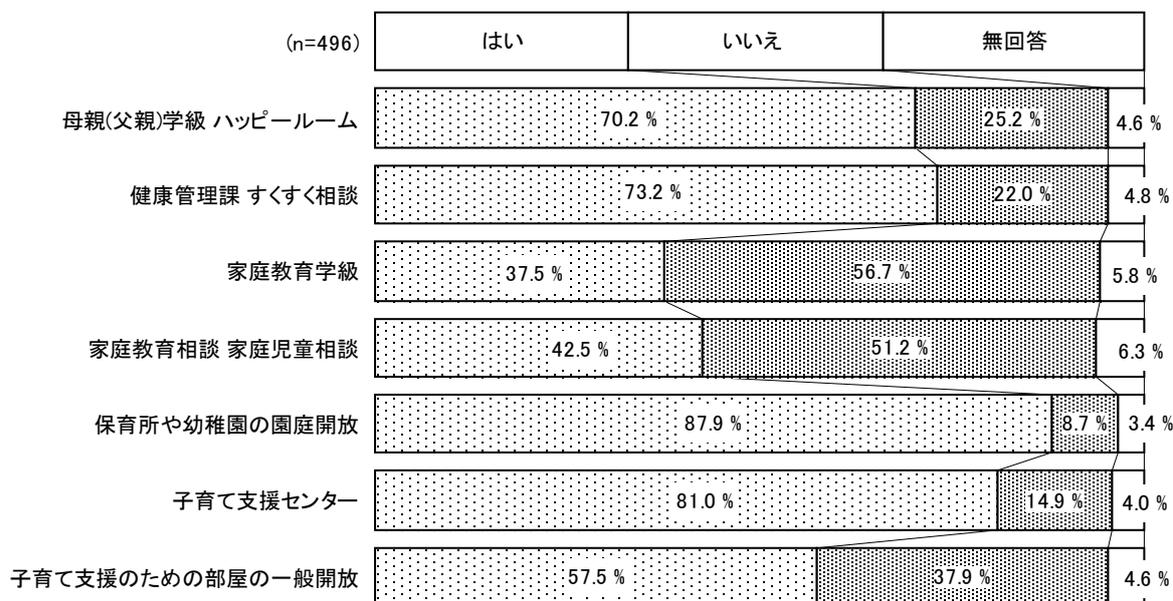
	全体	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
合計	496 100.0	145 29.2	48 9.7	274 55.2	29 5.8
八街東小学校	93 100.0	28 30.1	6 6.5	55 59.1	4 4.3
八街北小学校	52 100.0	13 25.0	9 17.3	29 55.8	1 1.9
実住小学校	105 100.0	33 31.4	10 9.5	54 51.4	8 7.6
交進小学校	33 100.0	7 21.2	2 6.1	22 66.7	2 6.1
笹引小学校	22 100.0	5 22.7	0 0.0	16 72.7	1 4.5
二州小学校	19 100.0	6 31.6	3 15.8	10 52.6	0 0.0
二州小学校沖分校	11 100.0	4 36.4	0 0.0	7 63.6	0 0.0
川上小学校	29 100.0	8 27.6	4 13.8	14 48.3	3 10.3
朝陽小学校	67 100.0	28 41.8	10 14.9	25 37.3	4 6.0

○小学校区別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は、「朝陽小学校」41.8%で4割台、「八街東小学校」30.1%、「実住小学校」31.4%、「二州小学校」31.6%、「二州小学校沖分校」36.4%でいずれも3割台で多くみられた。

### (3) 地域子育て支援事業の認知・利用状況、利用希望

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

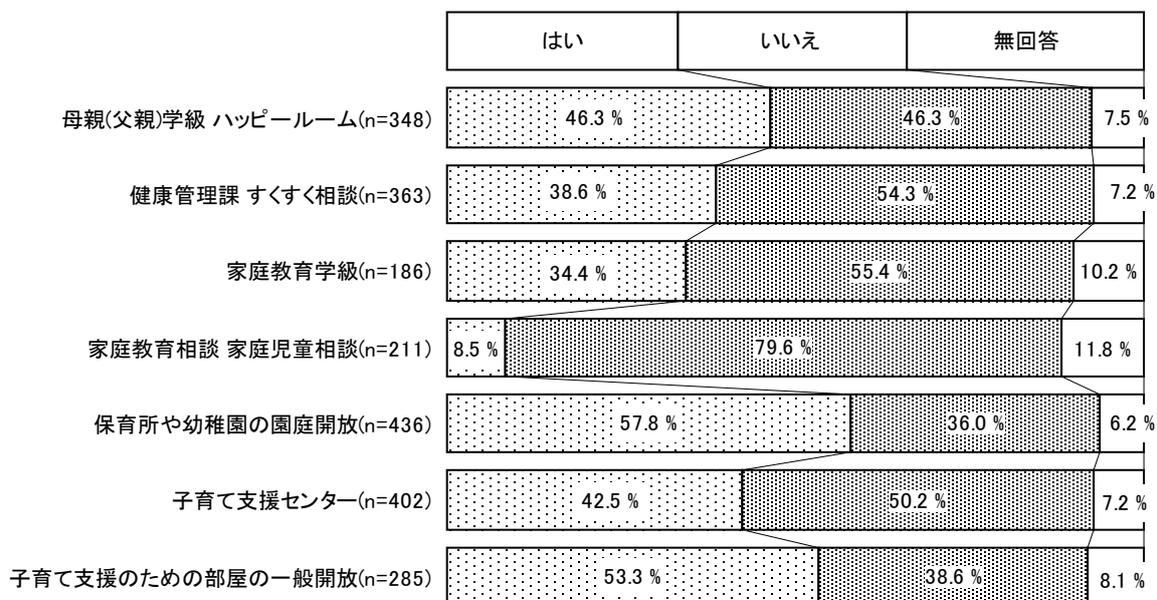
#### 〔A 認知状況〕



○地域子育て支援事業について、認知状況で「はい」（知っている）が「いいえ」（知らない）を上回る事業は、「母親（父親）学級 ハッピールーム」（「はい」70.2%）、「健康管理課 すくすく相談」（「はい」73.2%）、「保育所や幼稚園の園庭開放」（「はい」87.9%）、「子育て支援センター」（「はい」81.0%）、「子育て支援のための部屋の一般開放」（「はい」57.5%）である。

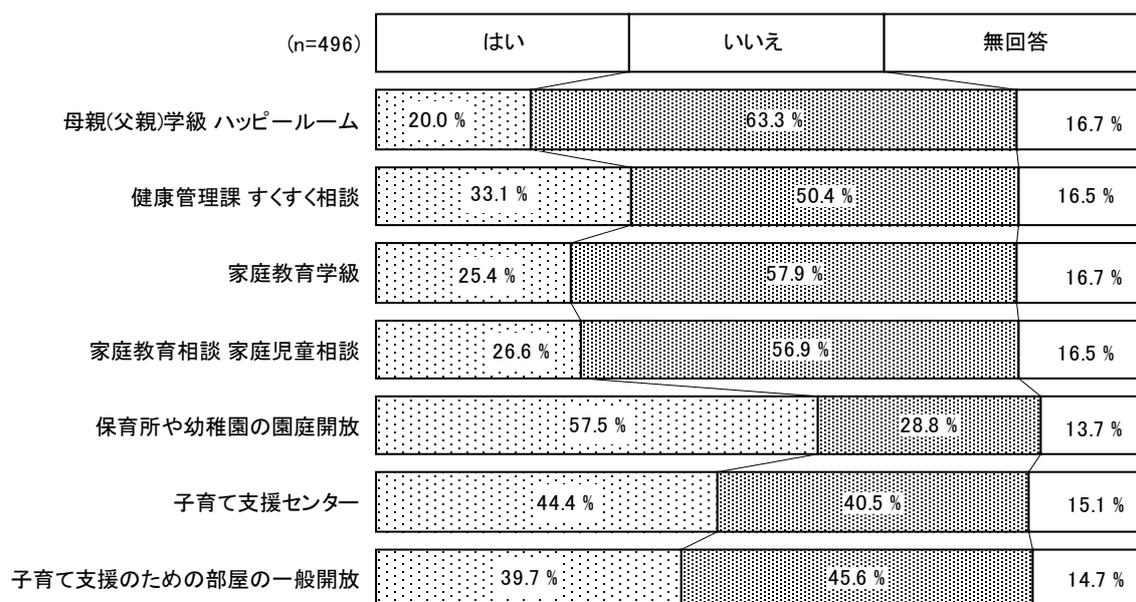
○一方、「いいえ」が「はい」を上回るものは、「家庭教育学級」（「いいえ」56.7%）、「家庭教育相談 家庭児童相談」（「いいえ」51.2%）である。

## 〔B 利用状況〕



○各地域子育て支援拠点事業について、知っていると回答した人に、これまでに利用したことがあるかをたずねたところ、「はい」が「いいえ」を上回る事業は、「保育所や幼稚園の園庭開放」（「はい」57.8%）、「子育て支援のための部屋の一般開放」（「はい」53.3%）である。「母親（父親）学級 ハッピールーム」は「はい」と「いいえ」がいずれも46.3%である。

## 〔C 利用希望〕

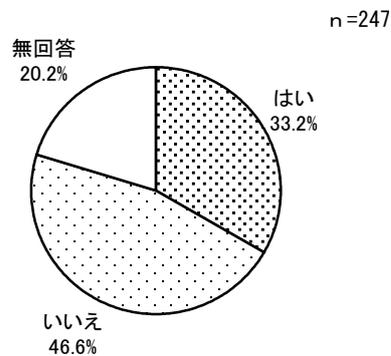


○今後の利用希望について「はい」が「いいえ」を上回る事業は、「保育所や幼稚園の園庭開放」（「はい」57.5%）、「子育て支援センター」（「はい」44.4%）である。

#### (4) 地域子育て支援事業が充実していた場合の保育園希望

問 19 **0歳～2歳のお子さんをお持ちの方にうかがいます。**

地域の子育て支援事業が充実していれば、子どもが0歳～2歳の間は保育園に入れなくても良いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



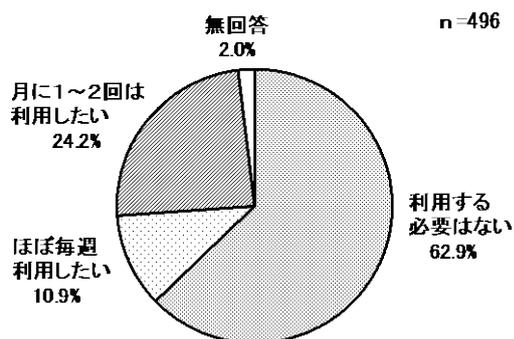
○0歳から2歳の子どもを持つ人に、地域の子育て支援事業が充実していれば、子どもが0歳から2歳の間は保育園に入れなくても良いと思うかどうかたずねたところ、「いいえ」46.6%が「はい」33.2%を10ポイント以上上回っている。

## 6. 休日の「定期的」な教育・保育事業\*の利用希望

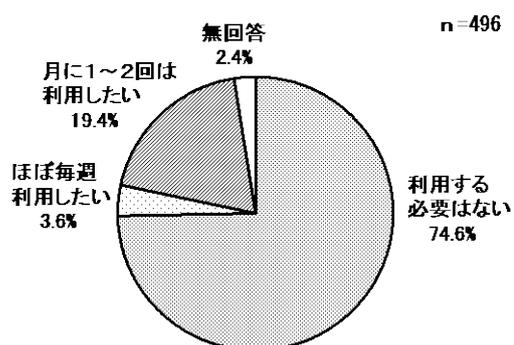
### (1) 利用希望

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

〔土曜日〕



〔日曜・祝日〕



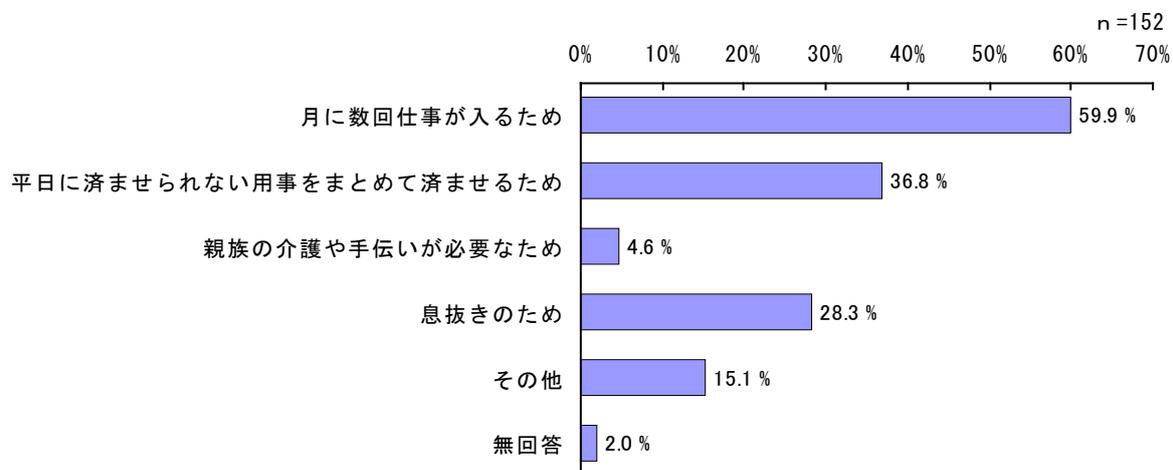
○土曜日の利用希望は、「利用する必要がある」62.9%が6割を超えて多く、次いで「月に1～2回は利用したい」24.2%、「ほぼ毎週利用したい」10.9%である。

○日曜・祝日の利用希望は、「利用する必要がある」74.6%、「月に1～2回は利用したい」19.4%、「ほぼ毎週利用したい」3.6%である。

\* 幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指すが、親族・知人による預かりは含まない。

## (2) たまに利用したい理由

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方がいます。  
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



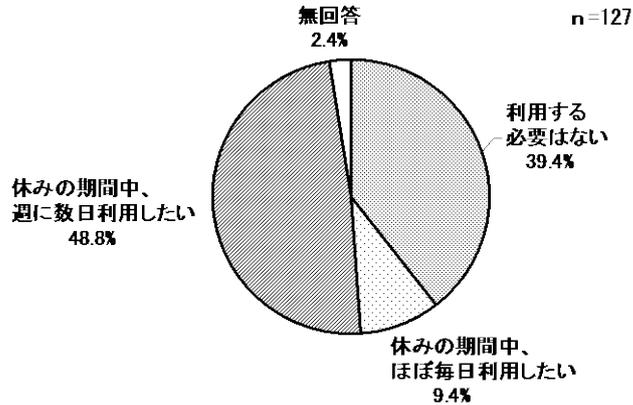
○土曜日、日曜・祝日の利用希望で「月に 1～2 回は利用したい」と回答した人に、たまに利用したい理由をたずねたところ、「月に数回仕事が入るため」59.9%が約6割と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」36.8%、「息抜きのため」28.3%、「親族の介護や手伝いが必要なため」4.6%である。

### (3) 幼稚園利用者の、長期休暇中の利用希望

**問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。**

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

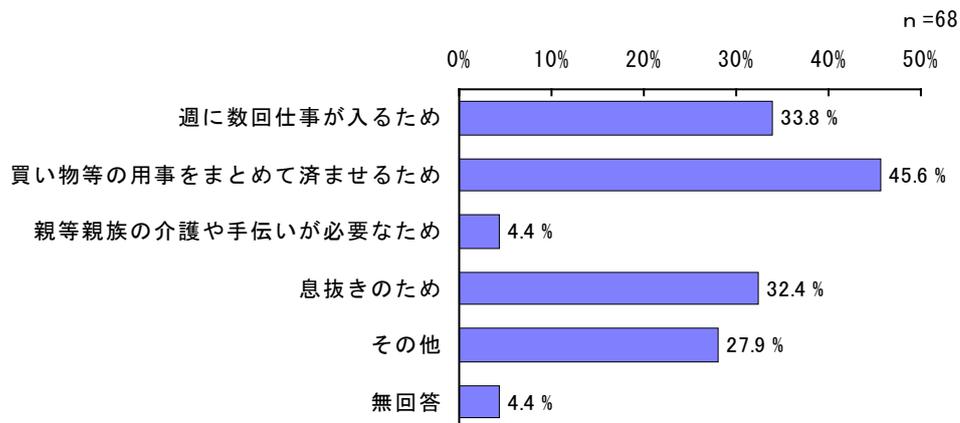


○現在、幼稚園を利用している人に夏休み、冬休みなど長期休暇中の利用希望をたずねたところ、「休みの期間中、週に数日利用したい」48.8%が約半数を占めて多く、「利用する必要はない」39.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」9.4%である。

### (4) 幼稚園利用者の、長期休暇中にたまに利用したい理由

**問 21-1 問 21 で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



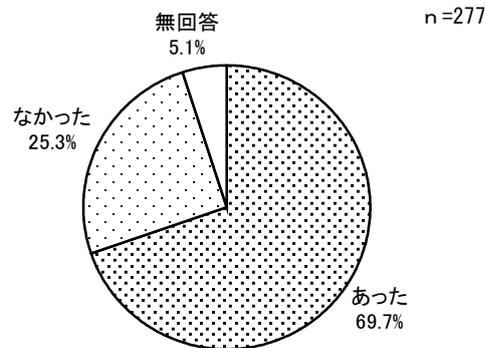
○幼稚園を利用している人で長期休暇中「週に数日利用したい」と回答した人に、たまに利用したい理由をたずねたところ、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」45.6%が最も多く、次いで「週に数回仕事が入るため」33.8%、「息抜きのため」32.4%などである。

## 7. 病気の際の対応

### (1) 病気等で事業が利用できなかったこと

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に ○ を つ けた方）にうかがいます。利用していっしょらない方は、問 23 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。



○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している人に、子どもの病気で利用できなかったことがあるかどうかをたずねたところ、「あった」69.7%、「なかった」25.3%である。

#### 〔年齢別クロス集計〕

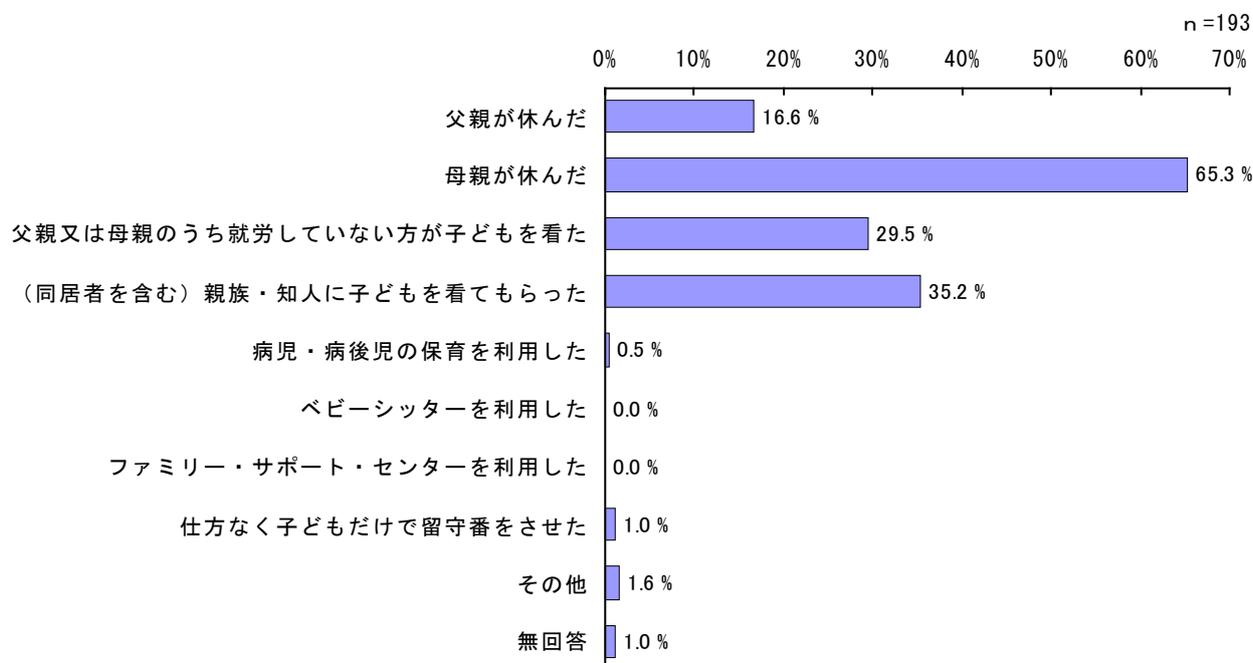
\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	あった	なかった	無回答
合計	277 100.0	193 69.7	70 25.3	14 5.1
新生児	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
0歳	6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0
1歳	20 100.0	13 65.0	5 25.0	2 10.0
2歳	28 100.0	20 71.4	2 7.1	6 21.4
3歳	50 100.0	39 78.0	9 18.0	2 4.0
4歳	87 100.0	55 63.2	29 33.3	3 3.4
5歳	79 100.0	58 73.4	20 25.3	1 1.3

○平日、定期的に教育・保育の事業を利用している人に、子どもの病気で利用できなかったことがあった人は、いずれの年代においても6割以上を占める。

## (2) 対処方法

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。



○子どもの病気等で平日定期的に利用している事業を利用できなかった人に、その場合の対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」65.3%が6割を超えて最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」35.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」29.5%、「父親が休んだ」16.6%などである。

〔日数〕

\* 上段…人数(単位:人)、下段…構成比(単位:%)

	全体	1～4日	5～9日	10～14日	15～19日	20日以上	無回答
ア. 父親が休んだ	32	18	8	5	0	0	1
	100.0	56.3	25.0	15.6	0.0	0.0	3.1
イ. 母親が休んだ	126	42	38	17	6	18	5
	100.0	33.3	30.2	13.5	4.8	14.3	4.0
ウ. 父母のうち就労して いない方が子どもを見た	57	18	17	11	2	5	4
	100.0	31.6	29.8	19.3	3.5	8.8	7.0
エ. 親族・知人に子どもを 看てもらった	68	26	23	10	1	6	2
	100.0	38.2	33.8	14.7	1.5	8.8	2.9
オ. 病児・病後児の保育を 利用した	1	1	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カ. ベビーシッターを利用 した	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
キ. ファミリー・サポート・ センターを利用した	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ク. 仕方なく子どもだけで 留守番をさせた	2	2	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ケ. その他	3	0	0	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

○「父親が休んだ」は、「1～4日」56.3%が最も多く、次いで「5～9日」25.0%、「10～14日」15.6%である。

「母親が休んだ」は、「1～4日」33.3%、「5～9日」30.2%がいずれも3割台と多く、次いで「10～14日」13.5%などである。

「父母のうち就労していない方が子どもを見た」は、「1～4日」31.6%が最も多く、次いで「5～9日」29.8%、「10～14日」19.3%などである。

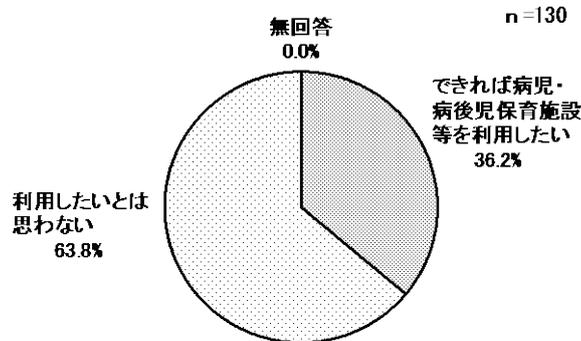
「親族・知人に子どもを看てもらった」は、「1～4日」38.2%、「5～9日」33.8%がいずれも3割台と多く、次いで「10～14日」14.7%などである。

○「20日以上」は、母親が14.3%で多くみられる。

### (3) 病児・病後児保育施設の利用希望

**問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。**

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

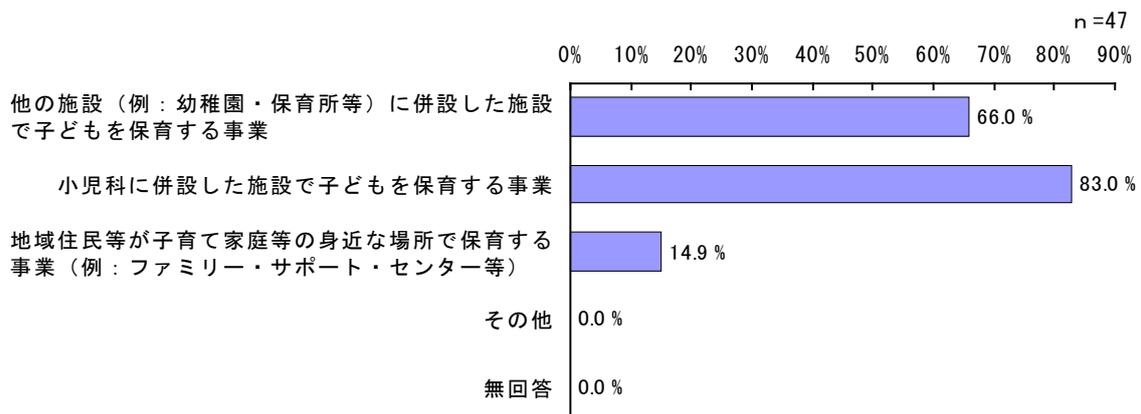


○子どもが病気の時に父親または母親が休んだと回答した人に、その際できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかどうかをたずねたところ、「利用したいとは思わない」63.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」36.2%である。

### (4) 病児・病後児保育施設で希望する事業形態

**問 22-3 問 22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

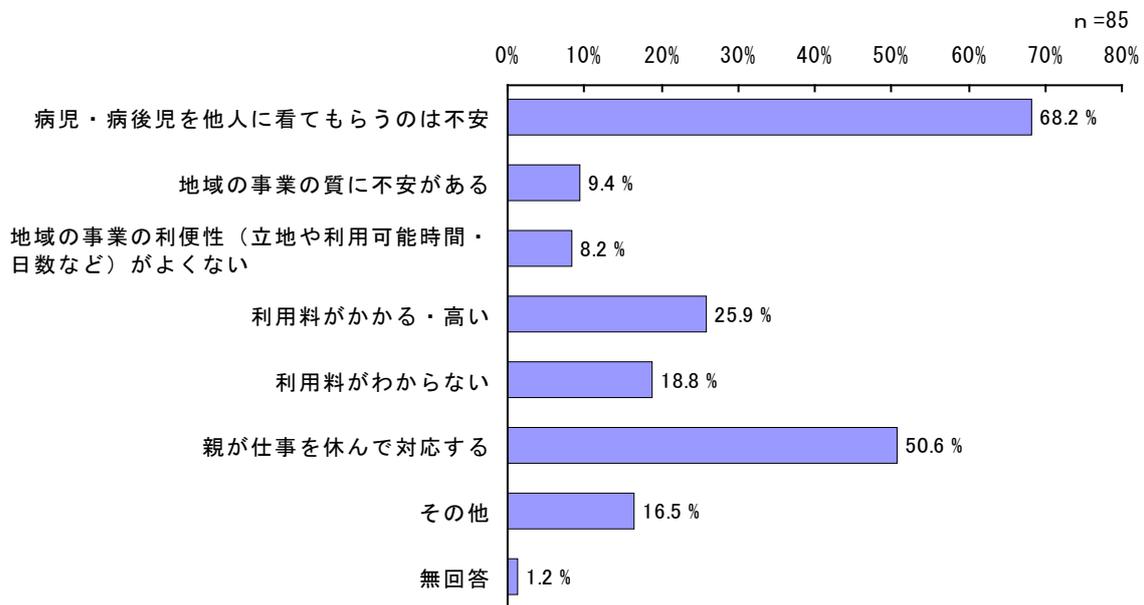
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○子どもが病気で父親または母親が休んだ際にできれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った人に、望ましい事業形態についてたずねたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」83.0%が8割を超えて多く、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」66.0%が6割半ば、「地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」14.9%である。

## (5) 利用したくない理由

問 22-4 問 22-2 で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。  
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

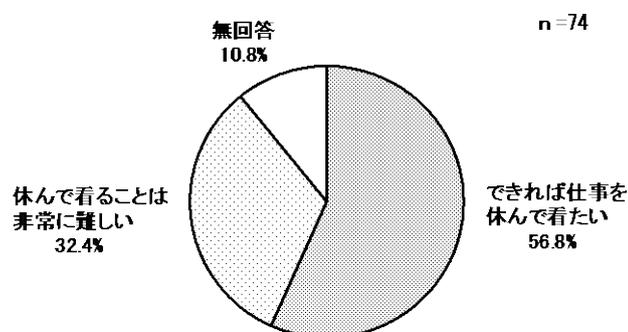


○子どもが病気で父親または母親が休んだ際でも、病児・病後児のための保育施設等は利用したくないと思った人に、その理由をたずねたところ、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」68.2%が7割弱で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」50.6%、「利用料がかかる・高い」25.9%などである。

## (6) 父か母が仕事を休んで看たいか

問 22-1 で「エ.親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ.その他」のいずれかに回答した方にご伺います。

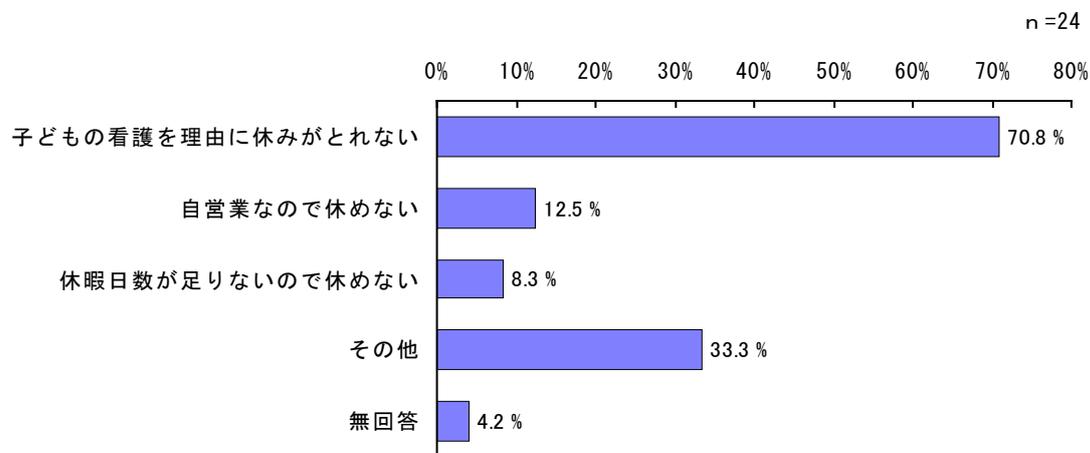
問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○平日定期的に利用している事業を子どもの病気で利用できなかった人で、その際「親族・知人に看てもらった」～「その他」の対処をした人に、できれば父母のいずれかが仕事を休んで見たかったかどうかをたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」56.8%が半数を超えて多く、「休んで看ることは非常に難しい」32.4%である。

## (7) 休んで看ることが難しい理由

問 22-6 問 22-5で「2.休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。  
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○平日定期的に利用している事業が子どもの病気で利用できなかった人で、その際「親族・知人にみてもらった」～「その他」の対処をした人のうち、その際父母のいずれかが仕事を休んでみることは非常に難しいと回答した人に、その理由をたずねたところ、「子どもの看護を理由に休みがとれない」70.8%が最も多く、次いで「自営業なので休めない」12.5%、「休暇日数が足りないので休めない」8.3%などである。

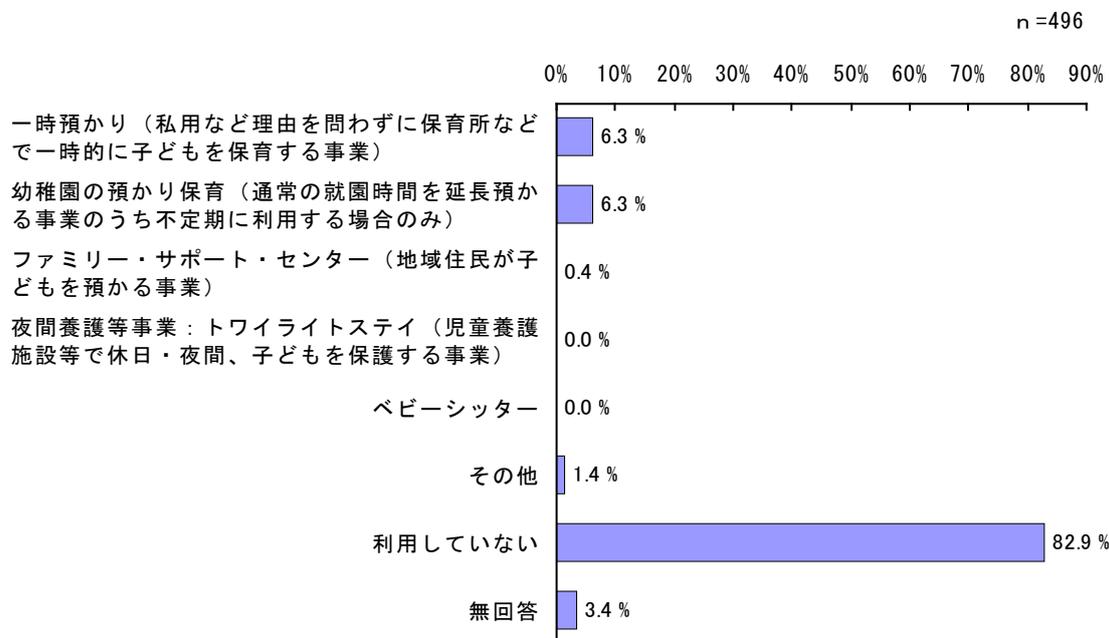
○「その他」33.3%の主な内容は、下記の通りである。

- ・自分の代わりに仕事に入ってくれる人がいない
- ・急に休むのは、他の労働者に迷惑がかかる。
- ・給料の関係
- ・インフルエンザなど長期期間仕事の休みを取るのが難しい為
- ・1～2日なら取れるが、4日～1週間単位は難しい。
- ・休みがとれないわけではないが、とりづらい
- ・できれば休んで看たいが仕事の量の状況により休むのが大変な場合がある。

## 8. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について

### (1) 利用している事業

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

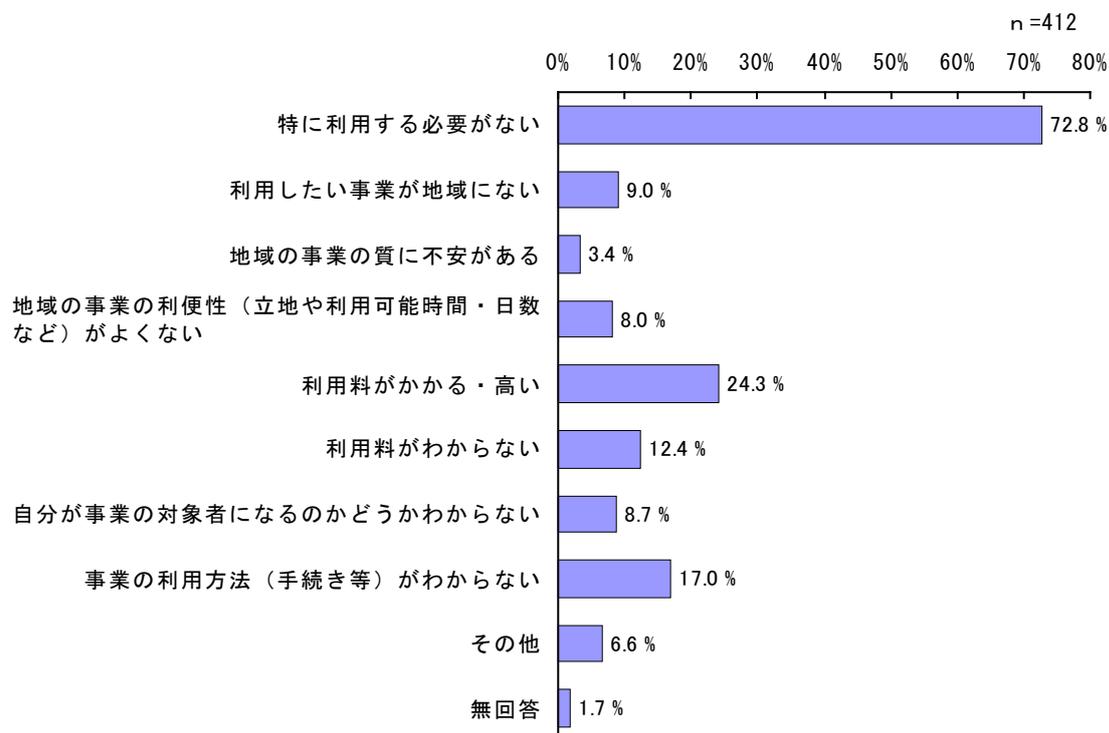


○一時預かりの利用については、「利用していない」82.9%が8割を超えて最も多く、次いで「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」がいずれも6.3%などとなっています。

## (2) 利用していない理由

**問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にかがいます。**

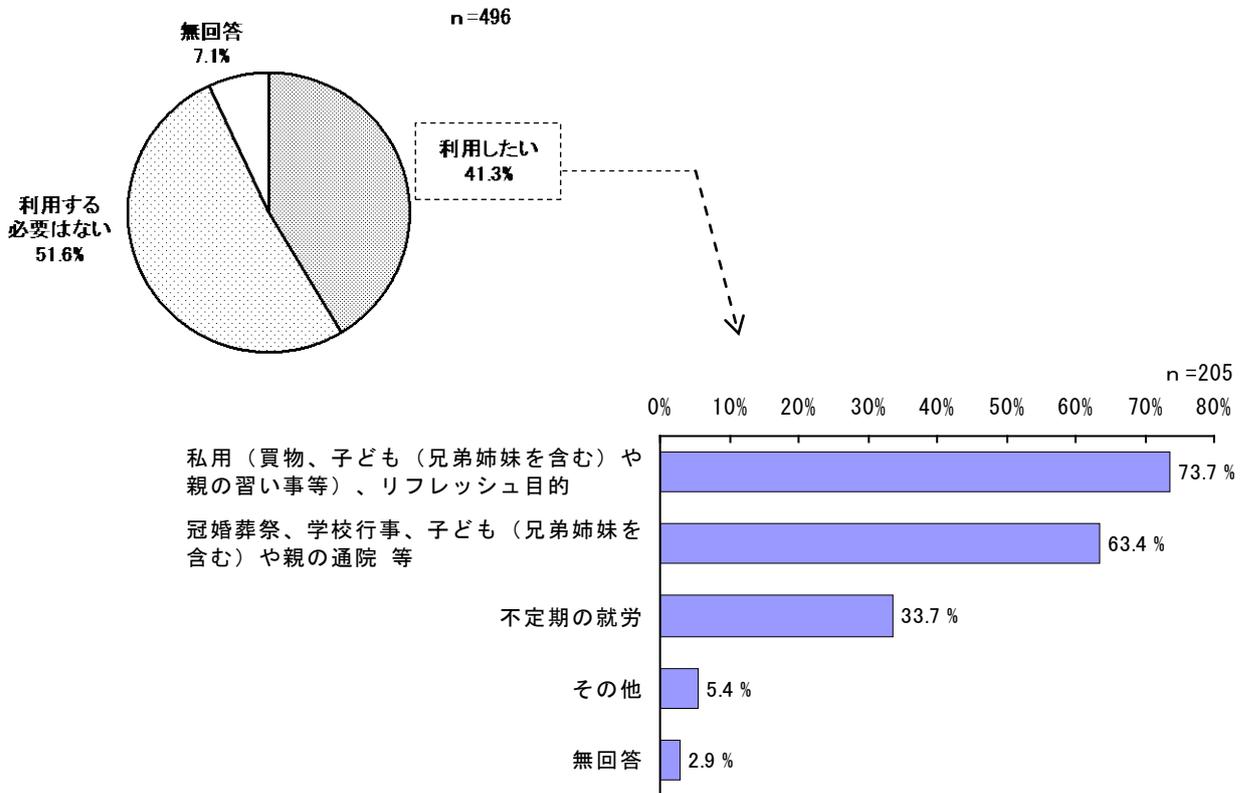
問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○現在、一時預かりを利用していない人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」72.8%が7割を超えて最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」24.3%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」17.0%、「利用料がわからない」12.4%などである。

### (3) 一時預かりの利用希望

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。



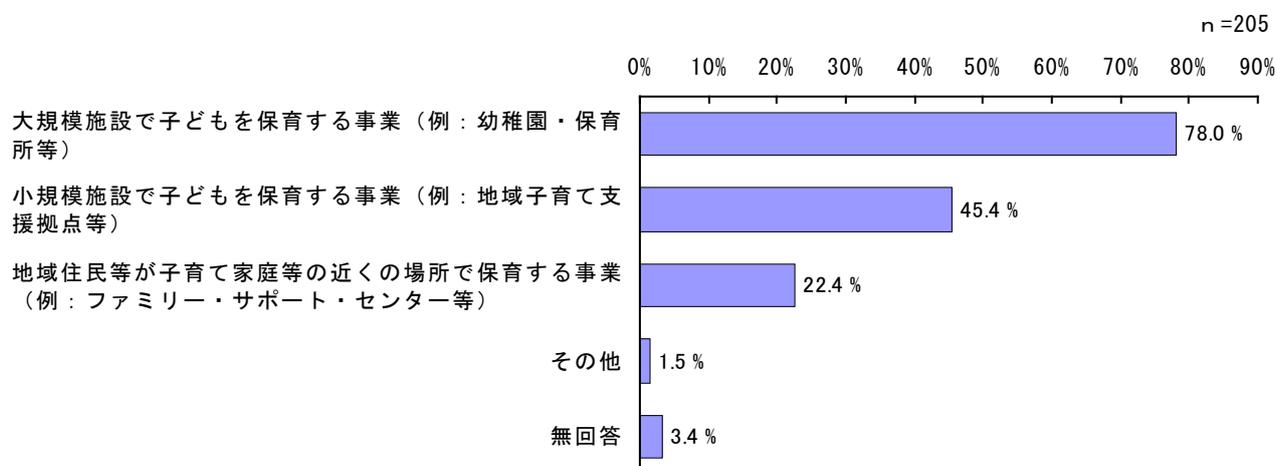
○今後の一時預かりの利用希望は、「利用する必要がある」51.6%、「利用したい」41.3%である。

○今後、一時預かりを利用したい人に具体的な内容をたずねたところ、「私用、リフレッシュ目的」73.7%が7割を超えて最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」63.4%、「不定期の就労」33.7%である。

#### (4) 希望する事業形態

**問 24 で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

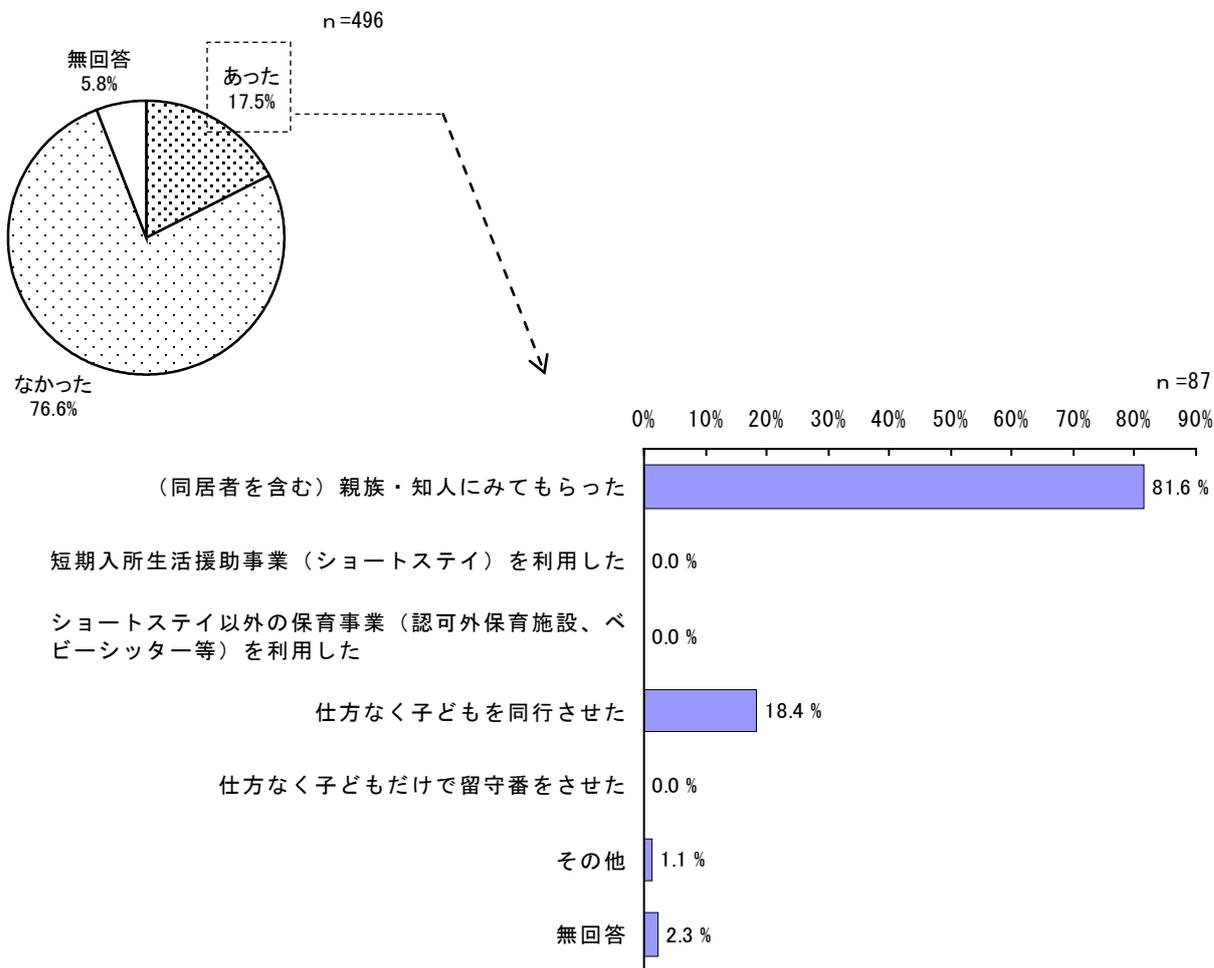
問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○今後、一時預かりを利用したい人に、望ましい事業形態をたずねたところ、「大規模施設で子どもを保育する事業」78.0%が8割弱で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」45.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」22.4%などである。

## (5) 宿泊を伴う一時預かり

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号及び記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

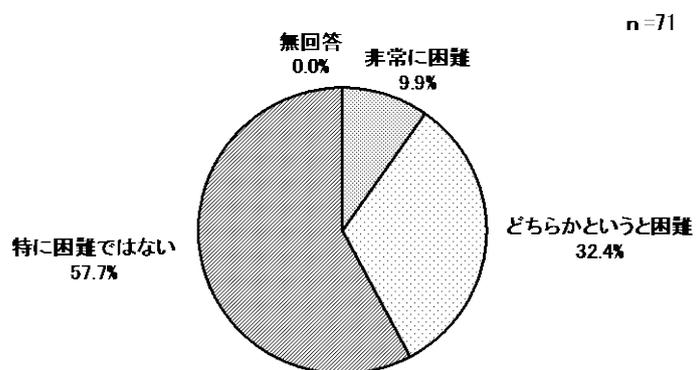


○保護者の用事により子どもを泊まりがけで預けたことが「なかった」76.6%、「あった」17.5%である。

○子どもを泊まりがけで預けたことがあった人のうち、その対処方法は、「親族・知人にみてもらった」81.6%が8割と多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」18.4%などである。

## (6) 困難度

問 25 で「1.あった ア.(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。  
問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

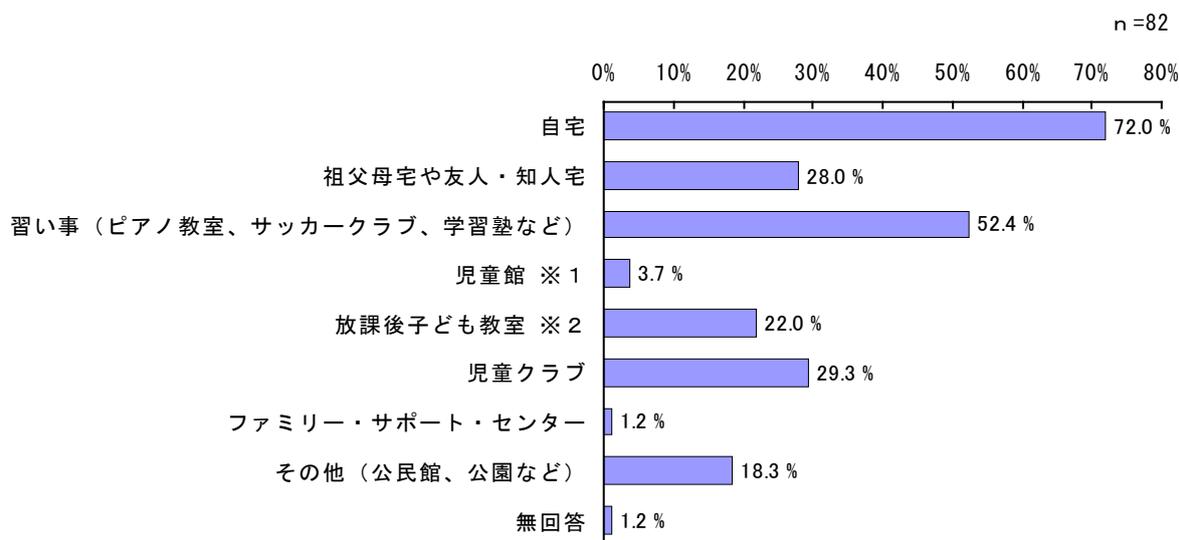


○子どもを泊まりがけで預けたことがあった人で、親族・知人にみてもらった人にその困難度をたずねたところ、「特に困難ではない」57.7%、「どちらかというと困難」32.4%、「非常に困難」9.9%である。

## 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方

### (1) 希望の低学年の放課後の過ごし方

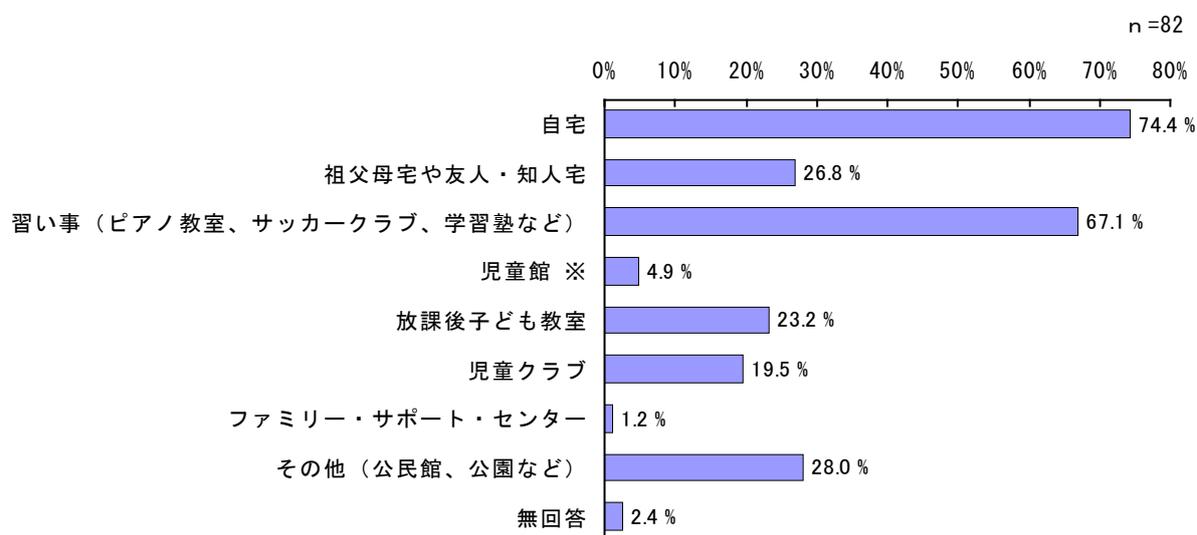
問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○小学校低学年での、希望する放課後の過ごし方は、「自宅」72.0%が最も多く、次いで「習い事」52.4%、「児童クラブ」29.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」28.0%などである。

## (2) 希望の高学年の放課後の過ごし方

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。



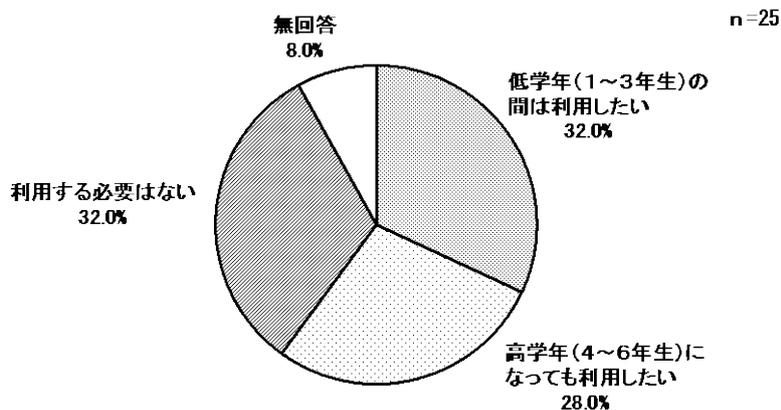
○小学校高学年での、希望する放課後の過ごし方は、「自宅」74.4%が最も多く、次いで「習い事」67.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」26.8%、「放課後子ども教室」23.2%、「児童クラブ」19.5%などである。

### (3) 休日の児童クラブの利用希望

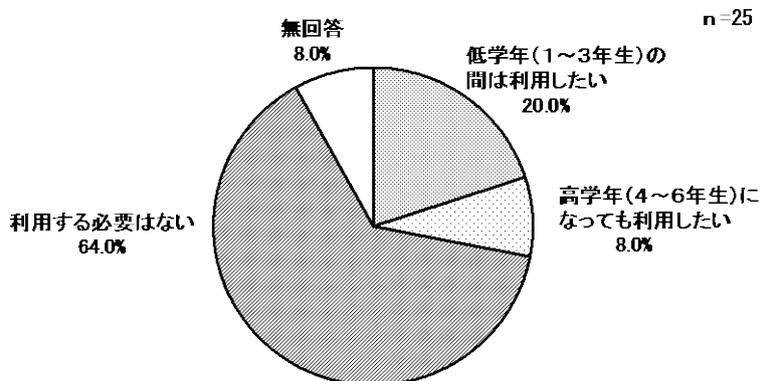
**問 26 または問 27 で「6. 児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。**

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

#### 〔土曜日〕



#### 〔日曜・祝日〕

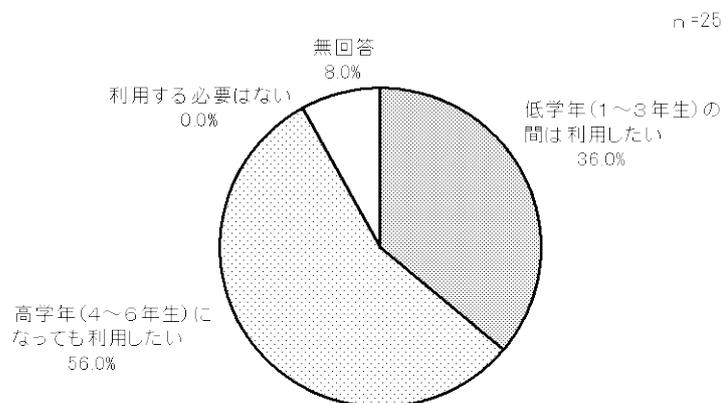


○小学校低学年または高学年の放課後の過ごし方の希望で、「児童クラブ」を回答した人に、土曜日、日曜日・祝日に利用希望があるかどうかをたずねたところ、土曜日については、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」及び「利用する必要はない」がいずれも32.0%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」28.0%である。

○日曜日・祝日については、「利用する必要はない」64.0%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」20.0%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」8.0%である。

#### (4) 長期休暇中の児童クラブの利用希望

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。



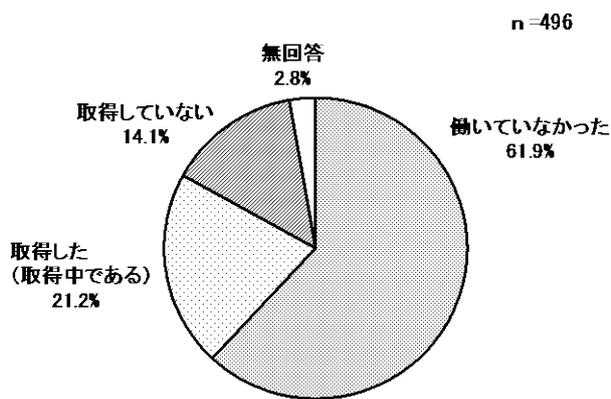
○小学校低学年または高学年の放課後の過ごし方の希望で、「児童クラブ」を回答した人に、長期休暇期間中の児童クラブの利用希望についてたずねたところ、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」56.0%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」36.0%である。一方、「利用する必要はない」と回答した人はゼロである。

## 10. 職場の両立支援制度

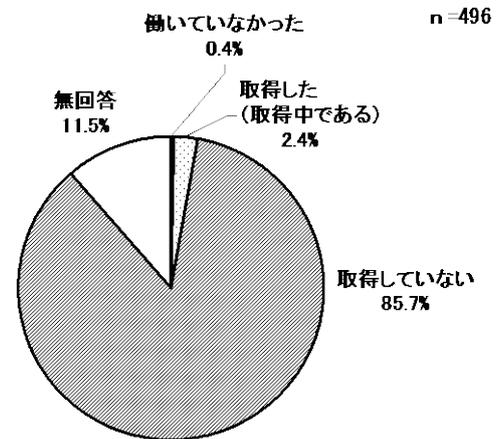
### (1) 育児休業制度の利用状況

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

〔母親〕



〔父親〕



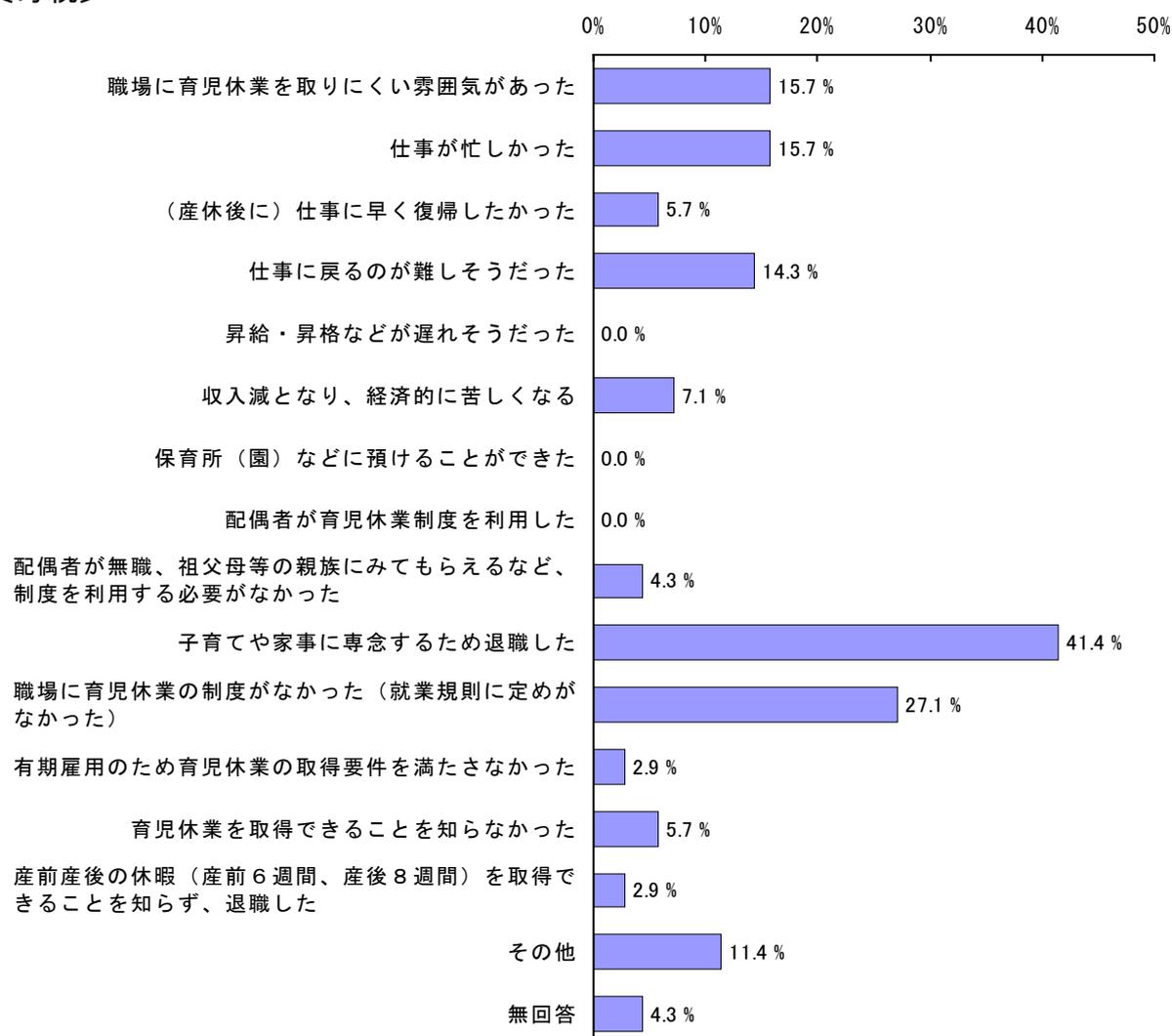
○子どもが生まれた時の、父母の育児休業取得状況は、母親は「働いていなかった」61.9%、「取得した(取得中である)」21.2%、「取得していない」14.1%である。

○父親は、「取得していない」85.7%、「取得した(取得中である)」2.4%、「働いていなかった」0.4%である。

## (2) 育児休業制度を利用しなかった理由

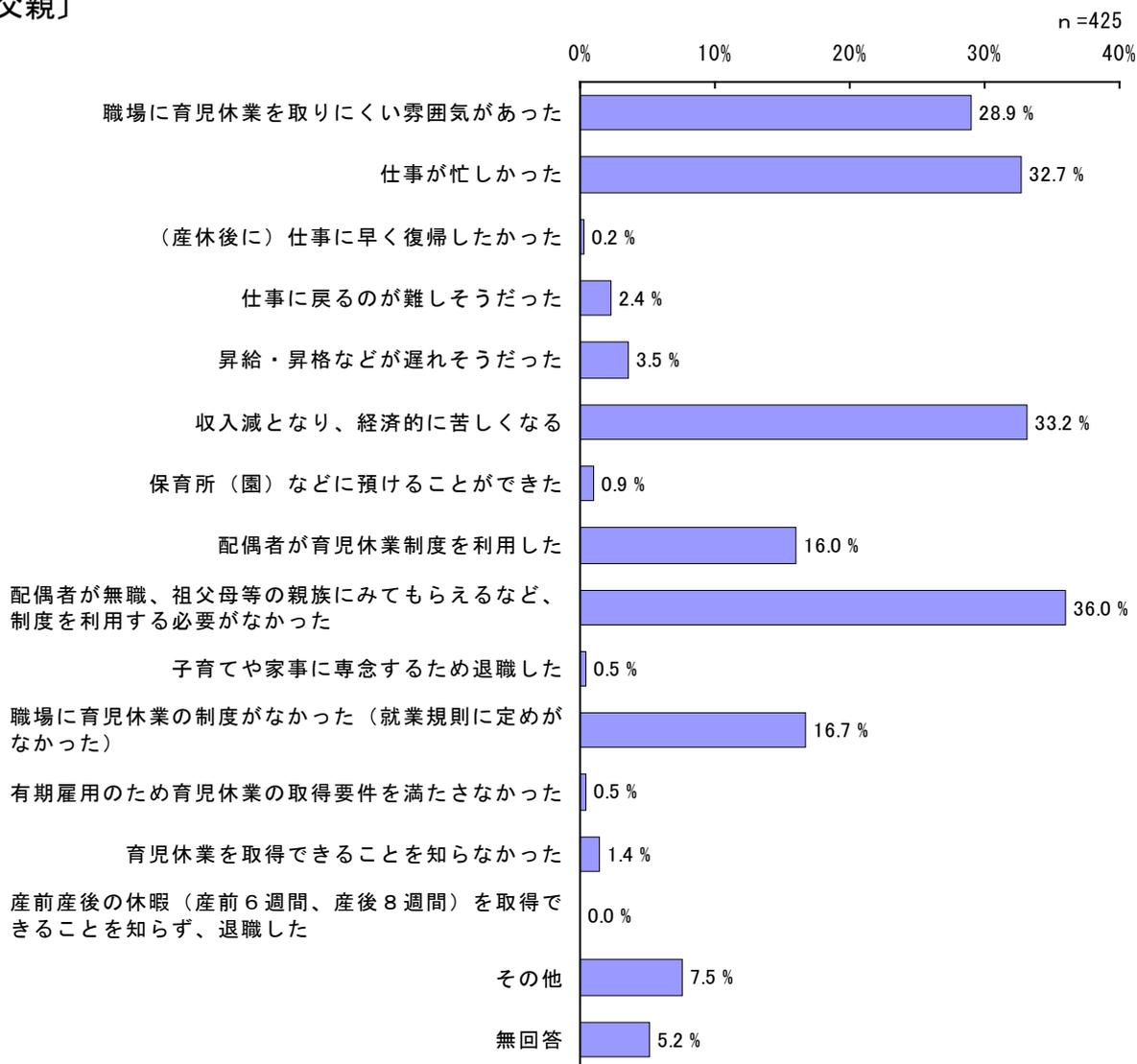
〔母親〕

n=70



○子どもが生まれた時に育児休業制度を取得していない母親に、その理由をたずねたところ、「子育てや家事に専念するため退職した」41.4%が4割で多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」27.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」及び「仕事が忙しかった」がいずれも15.7%、「仕事に戻るのが難しそうだった」14.3%などである。

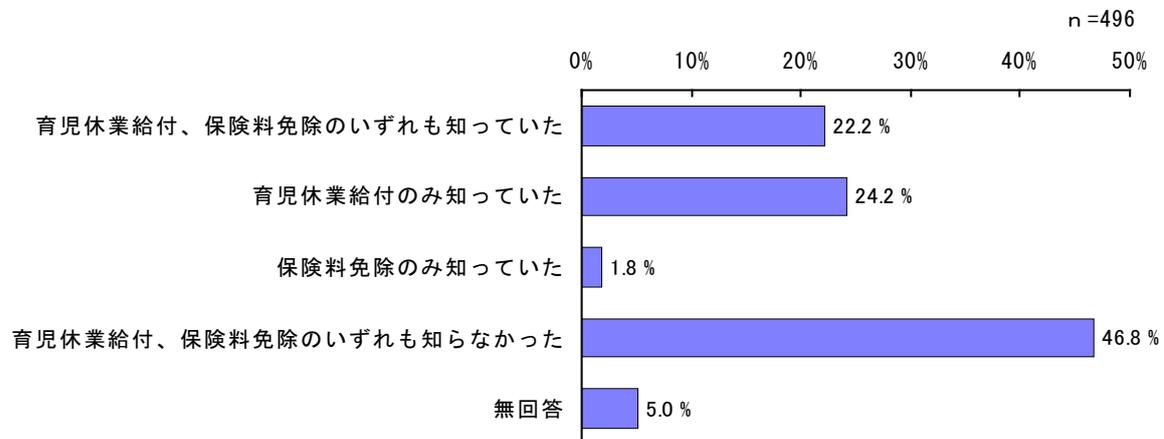
〔父親〕



○子どもが生まれた時に育児休業制度を取得していない父親に、その理由をたずねたところ、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」36.0%、「収入源となり、経済的に苦しくなる」33.2%、「仕事が忙しかった」32.7%がいずれも3割を超えて多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」28.9%などが続く。

### (3) 保険料免除の仕組みを知っていたか

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



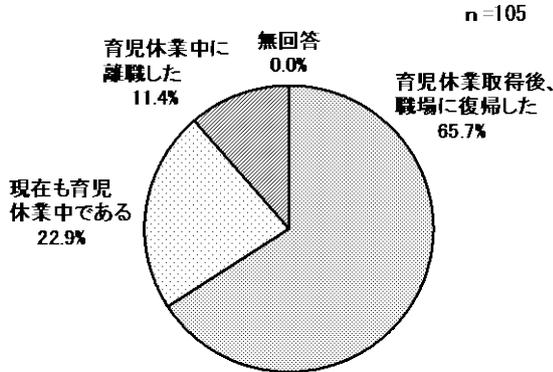
○「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」46.8%が4割半ばで最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」24.2%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」22.2%、「保険料免除のみ知っていた」1.8%である。

#### (4) 育児休業取得後の職場復帰

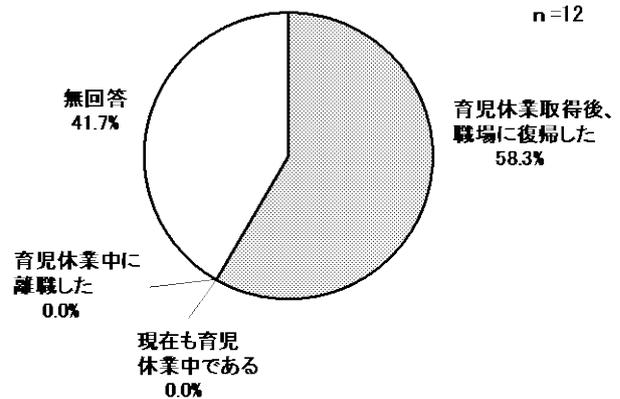
問 30 で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

〔母親〕



〔父親〕



○育児休業を取得した、取得中である人の職場復帰については、母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」65.7%、「現在も育児休業中である」22.9%、「育児休業中に離職した」11.4%である。

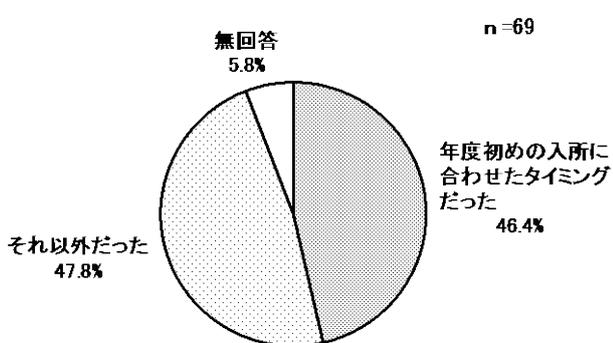
○父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」58.3%、他の回答はゼロである。

#### (5) 職場復帰したタイミング

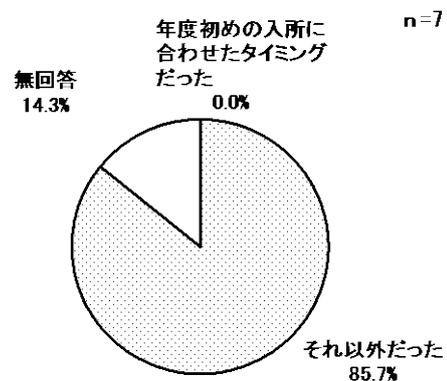
問 30-2 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

〔母親〕



〔父親〕

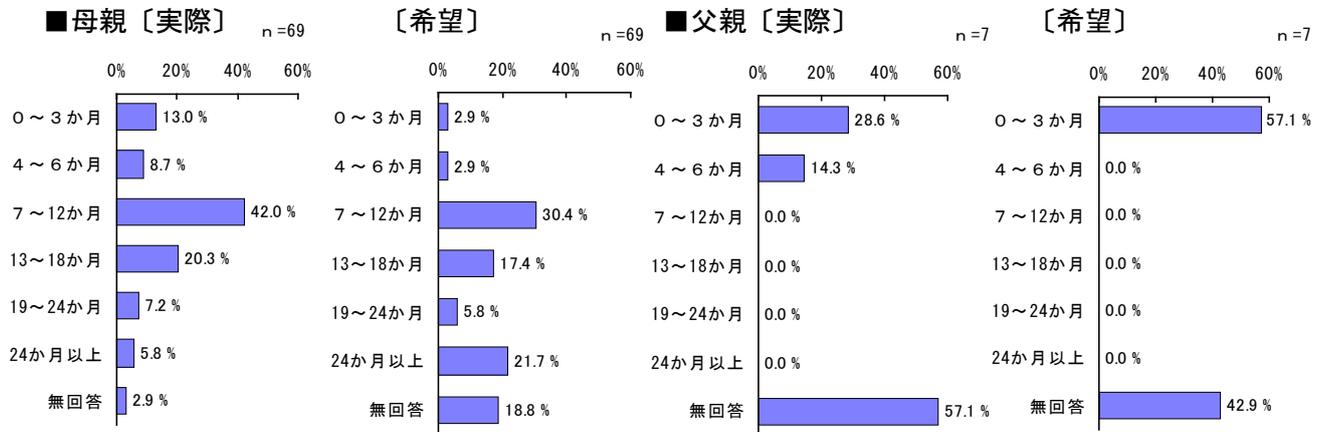


○育児休業取得後、職場に復帰した人にそのタイミングについてたずねたところ、母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が46.4%、「それ以外だった」が47.8%と、同程度である。

○父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」はゼロ、「それ以外だった」は85.7%である。

## (6) 職場復帰した時の子どもの年齢

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



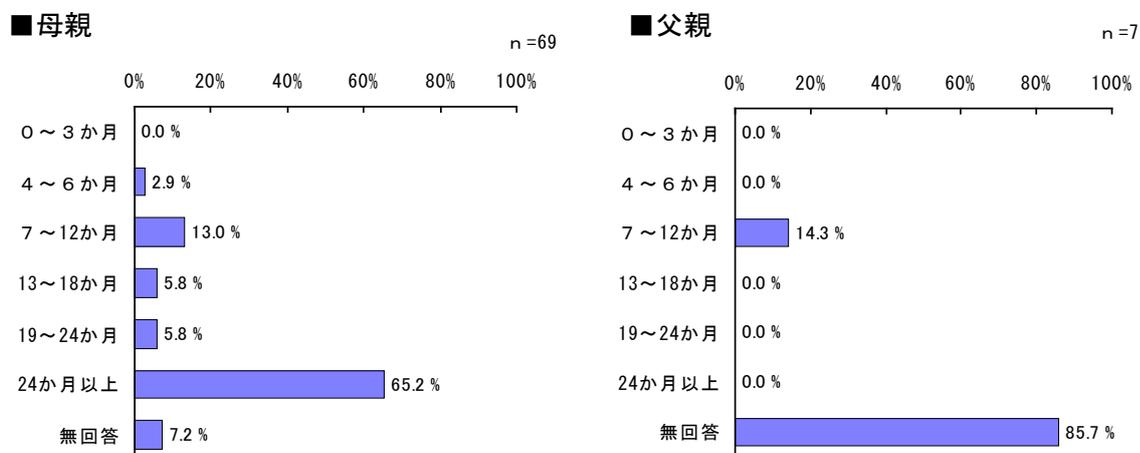
○育児休業取得後、職場に復帰した人で、実際に復帰した子どもの月齢は、母親は「7～12か月」42.0%が4割台と最も多く、次いで「13～18か月」20.3%、「0～3か月」13.0%などである。

母親の希望の復帰時期は、「7～12か月」30.4%が3割と最も多く、ついで「24か月以上」21.7%、「13～18か月」17.4%などである。

○父親が実際に復帰した際の子どもの月齢は、「0～3か月」28.6%、「4～6か月」14.3%である。父親の希望の復帰時期は、「0～3か月」57.1%である。

## (7) 希望の復帰時期

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。



○希望の復帰時期は、母親は「24か月以上」65.2%が最も多く、次いで「7～12か月」13.0%などである。父親は、「7～12か月」14.3%である。

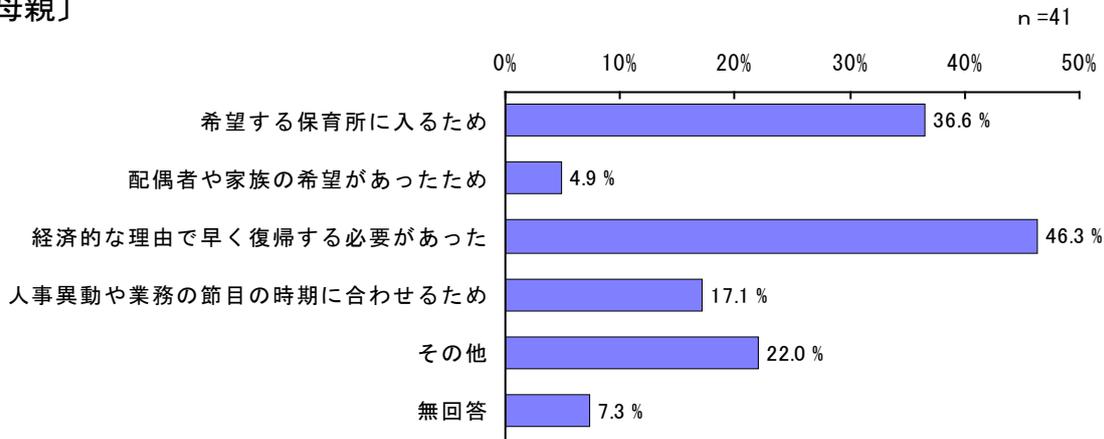
## (8) 希望の時期に復帰しなかった理由

**問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

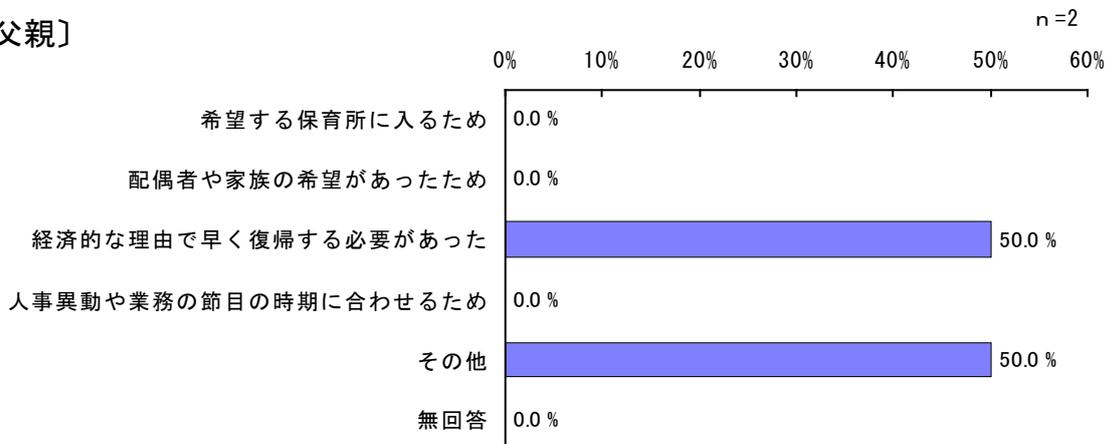
### ■希望より早く復帰

〔母親〕



○希望の時期に職場復帰しなかった理由は、希望より早く復帰した母親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」46.3%、「希望する保育所に入るため」36.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」17.1%などである。

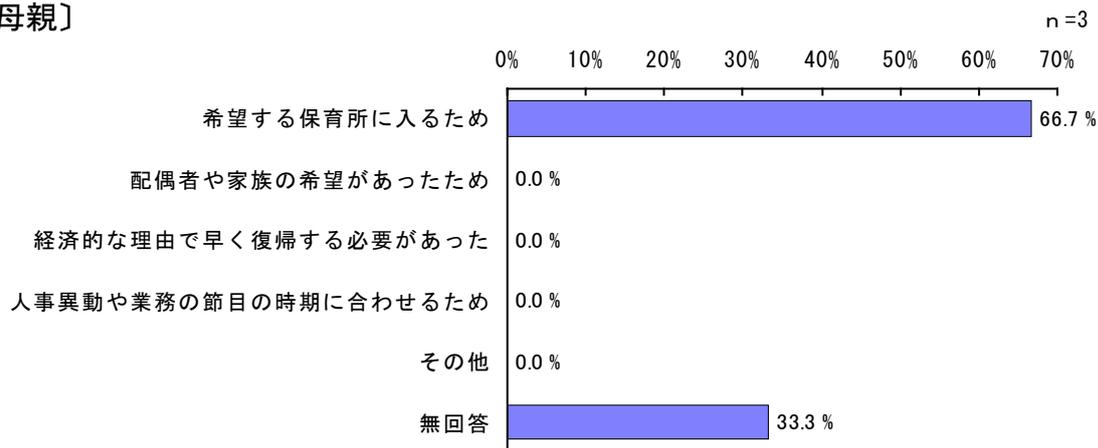
〔父親〕



○希望より早く復帰した父親2人の回答は、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が1人、「その他」が1人である。

## ■希望より遅く復帰

〔母親〕



○希望の時期に職場復帰しなかった理由は、希望より遅く復帰した母親は、「希望する保育所に入るため」66.7%、他の項目の回答はゼロである。

〔父親〕

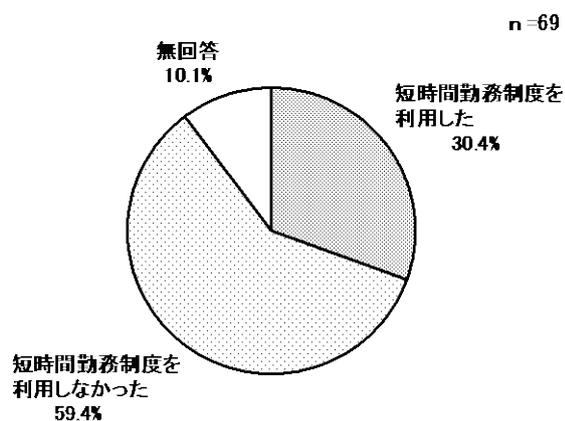
○希望より遅く復帰した父親は、いなかった。

## (9) 短時間勤務制度の利用

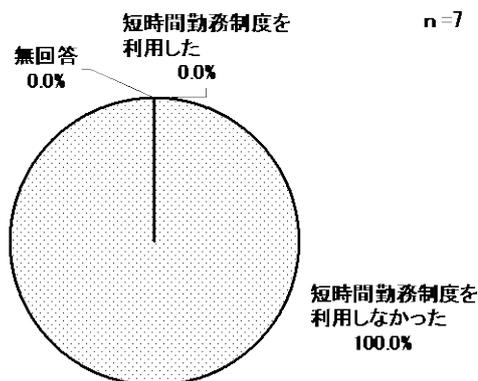
**問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

〔母親〕



〔父親〕



○育児休業取得後、職場に復帰した母親のうち、「短時間勤務制度を利用しなかった」59.4%、「短時間勤務制度を利用した」30.4%である。

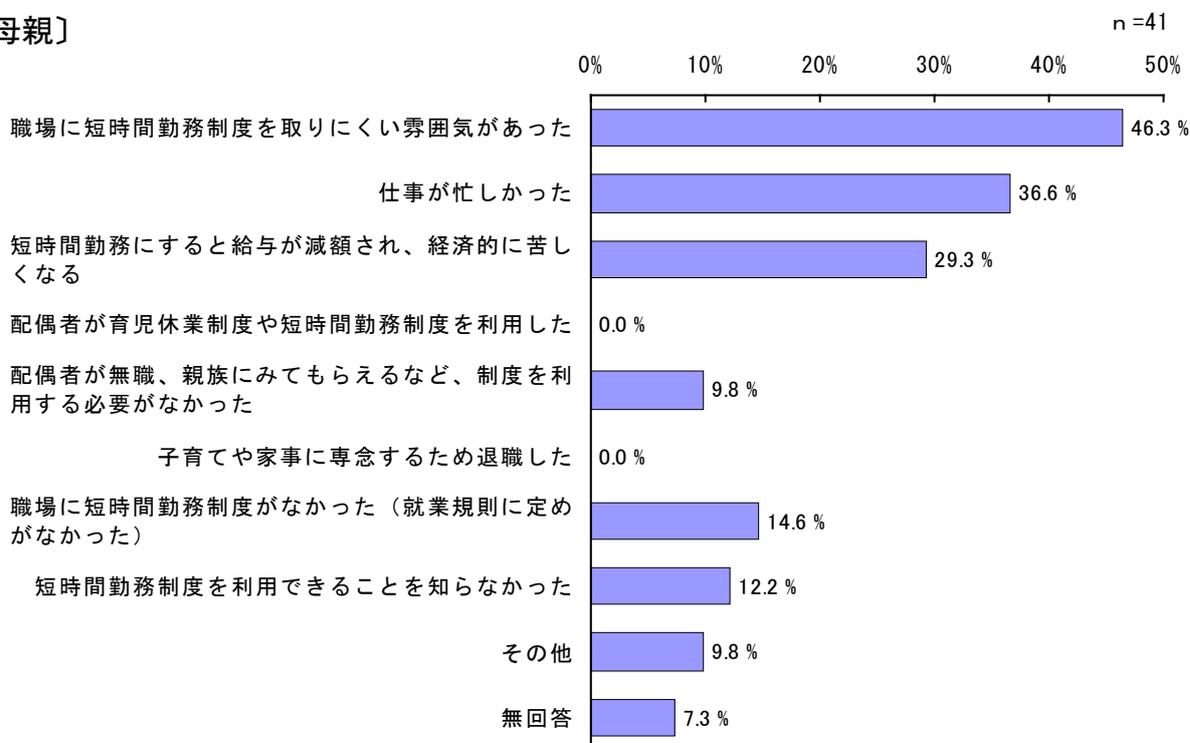
○育児休業取得後、職場に復帰した父親7人のうち、「短時間勤務制度を利用しなかった」が7人全員である。

## (10) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

**問 30-7 で「2.短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。**

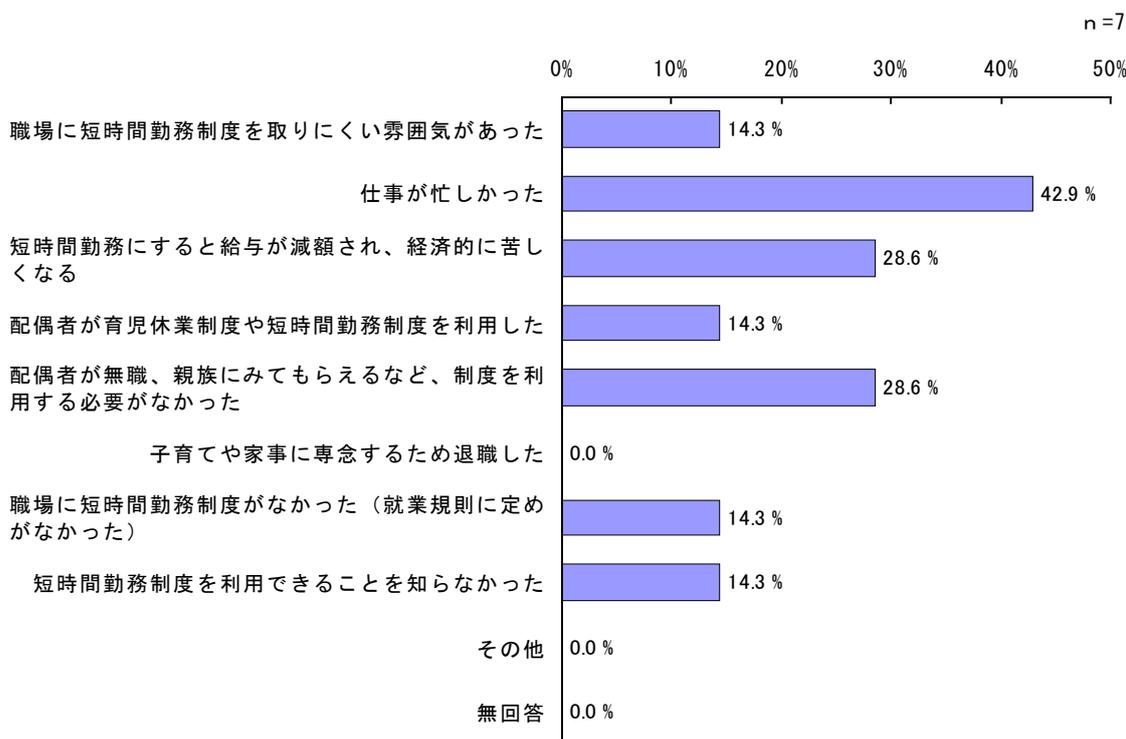
問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

〔母親〕



○育児休業取得後職場に復帰した人で、短時間勤務制度を利用しなかった人に、利用しなかった理由をたずねたところ、母親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」46.3%が4割半ばで最も多く、次いで「仕事が忙しかった」36.6%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」29.3%などである。

## 〔父親〕



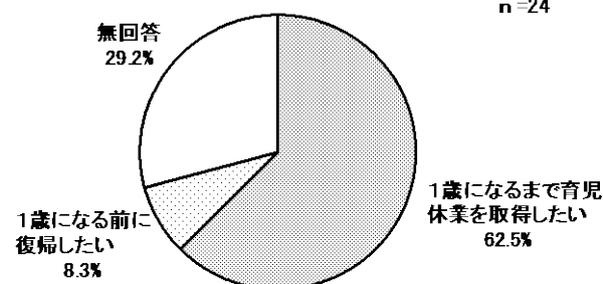
○育児休業取得後職場に復帰した人で、短時間勤務制度を利用しなかった人に、利用しなかった理由をたずねたところ、父親は、「仕事が忙しかった」42.9%が4割を超えて最も多く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」及び「配偶者が無職、親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」がいずれも28.6%などである。

## (11) 育児休業の取得希望時期

### 問 30-2で「2.現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

## 〔母親〕



## 〔父親〕

※父親は該当者なし

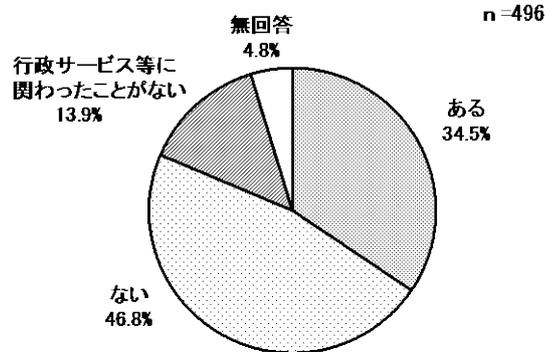
○母親は、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」62.5%が6割を超えて多く、「1歳になる前に復帰したい」8.3%である。

○父親は、現在も育児休業中に該当する人がいなかった。

## 11. 市の子育て環境や子育て支援サービス

### (1) 出産・育児に関する行政サービスへの不満

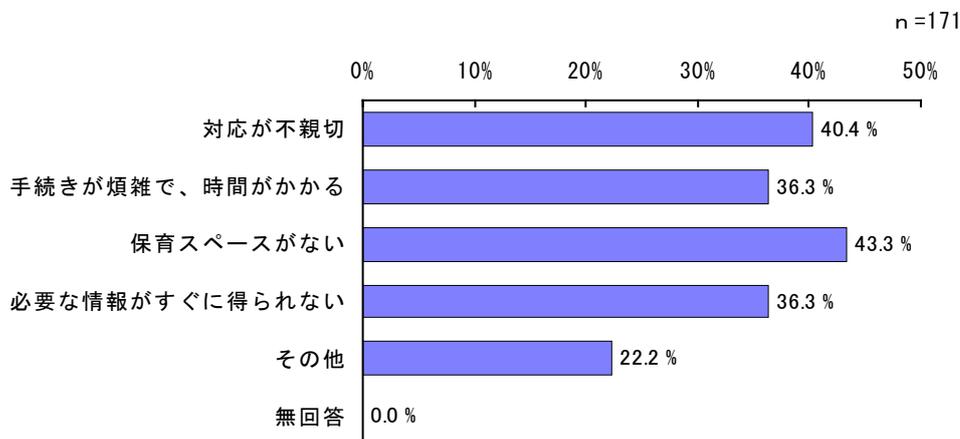
問 31 出産、育児に関する行政サービス（行政窓口、公的施設）について不満に思ったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○出産、育児に関する行政サービスについて、不満に思ったことは「ない」46.8%が4割半ばと多く、「ある」34.5%、「行政サービス等に関わったことがない」13.9%である。

### (2) 不満に感じたこと

問 31-1 どのような点に不満を感じましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○出産、育児に関する行政サービスについて、不満に思ったことがある人に、その内容をたずねたところ、「保育スペースがない」43.3%、「対応が不親切」40.4%、「手続きが煩雑で、時間がかかる」及び「必要な情報がすぐに得られない」がいずれも36.3%などである。

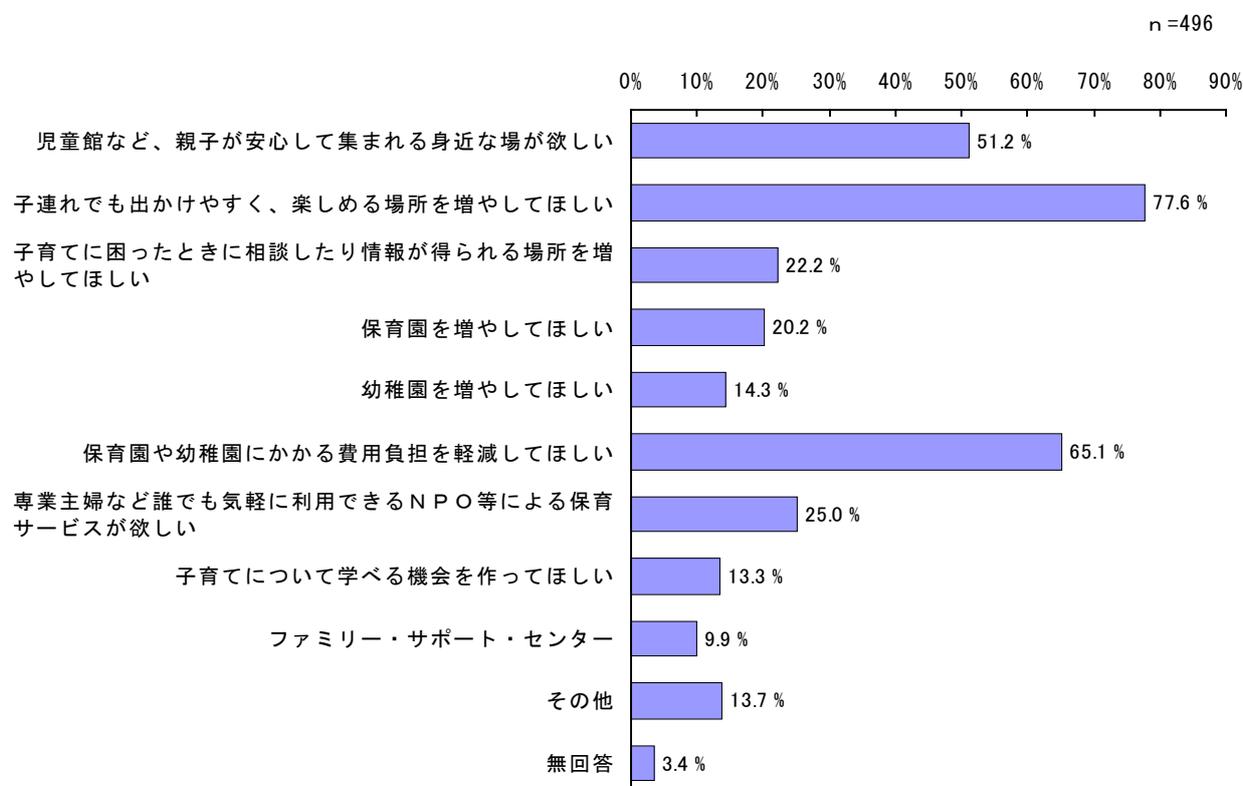
○「その他」の主な内容は、以下の通りである。

- ・八街にしかない子育てサービスがなく、他の町がうらやましく思う。
- ・医療費をゼロ
- ・働いているので平日だと利用できない。
- ・時間がすごくかかる。

- ・子供を連れて行くと書類にサインする間くらいは子供をあやしてくれると助かる。
- ・産科が市内に1件もない。
- ・市外からの転入で出産のため児童クラブに入りたい時に、待機があるから子供は家で1人でいるようにと言われた。
- ・4、5歳児健診等で情報等公開すべき。
- ・公立の幼稚園が2年保育、保育時間が短い。バスがない為通うことが出来なかった。3歳から保育して預かり保育、バスなどもっと行政サービスを積極的に行ってほしいです。
- ・保育園の時間外などの変更の手続きが前月の15日までというのは期間として、実際変更を開始したい日の一週間前などにして欲しい。
- ・産後二週間で本人が直接来て下さいと言われ市役所に行ったら、全く行く必要がなかった。産後二週間の母体と赤ちゃん辛かったです。
- ・自宅近くに保育施設がない。
- ・どのようにすればよいか具体的なことを教えてくれない。
- ・職員が面倒そうな対応
- ・保育園の定員枠が少ない。
- ・一時預かりが希望の通りにできない（定員や時間）。
- ・市立幼稚園の設備の不足
- ・子育てサロンが月数回しかやってない等子供と遊びに行ける所が少ない。
- ・1人では参加しづらいので、参加しやすいイベントをしてほしい。
- ・ガン健診等、乳ガンや子宮ガン等婦人科系は保育ルームがあるが、胃ガンや肺ガンその他は全て一切受けられない。
- ・子供が障がい児であった場合、受けられる行政サービスにどのようなものがあるかなど現在のことでなくこれから先、利用できるものや支援を詳しく教えて欲しい。
- ・時間がかかる。
- ・健診の時、長時間だと子供が飽きる。
- ・産後の援助のため、社協を利用したが、人員不足が理由で三週目以降はどれだけ必要性があっても利用不可だった。
- ・保健センターに置いてあるおもちゃが汚い。壊れていたり危険な物もあった。
- ・他の千葉県の市（市原）では、チーパスが母子手帳配布時に配布されているようなのですが…。申し出ないといただけないのでしょうか。
- ・妊婦健診や産後健診の補助がもう少し出るとありがたいです。

### (3) 充実を図ってほしい市のサービス

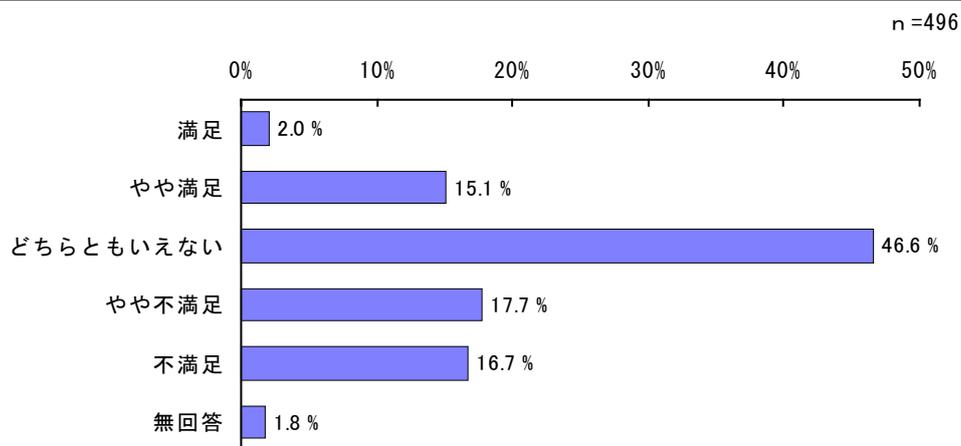
問 32 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○充実を図ってほしい子育て支援は、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい」77.6%が最も多く、次いで「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」65.1%、「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい」51.2%などである。

#### (4) 子育ての環境や支援への満足度

問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○子育ての環境や支援への満足度は、「どちらともいえない」46.6%、「やや不満足」17.7%、「不満足」16.7%、「やや満足」15.1%、「満足」2.0%である。

---

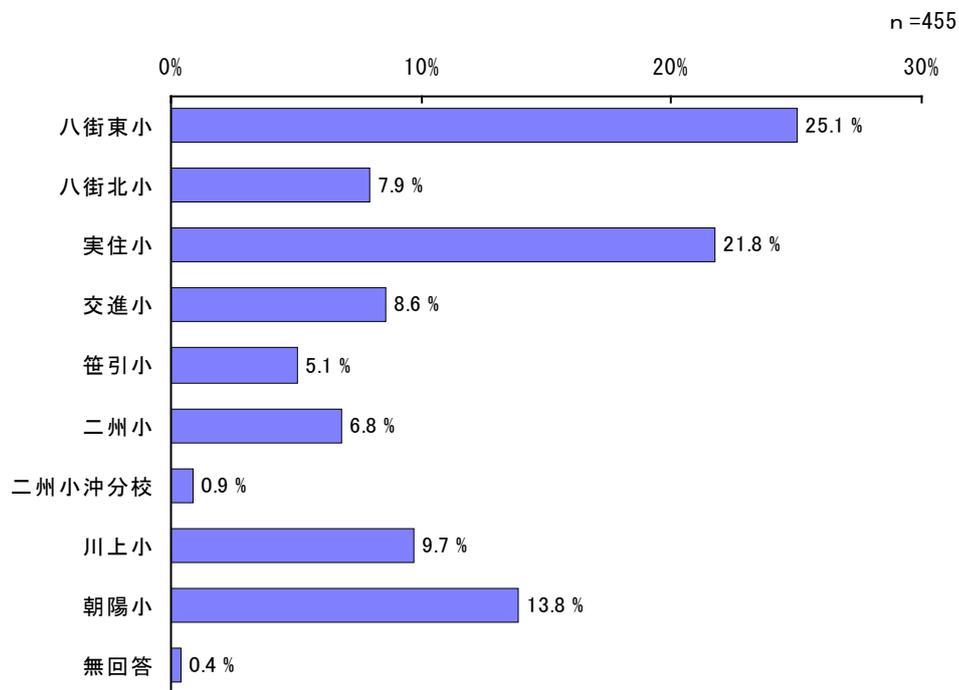
## Ⅱ 就学児童調査



# 1. 回答者のプロフィール

## (1) 小学校区

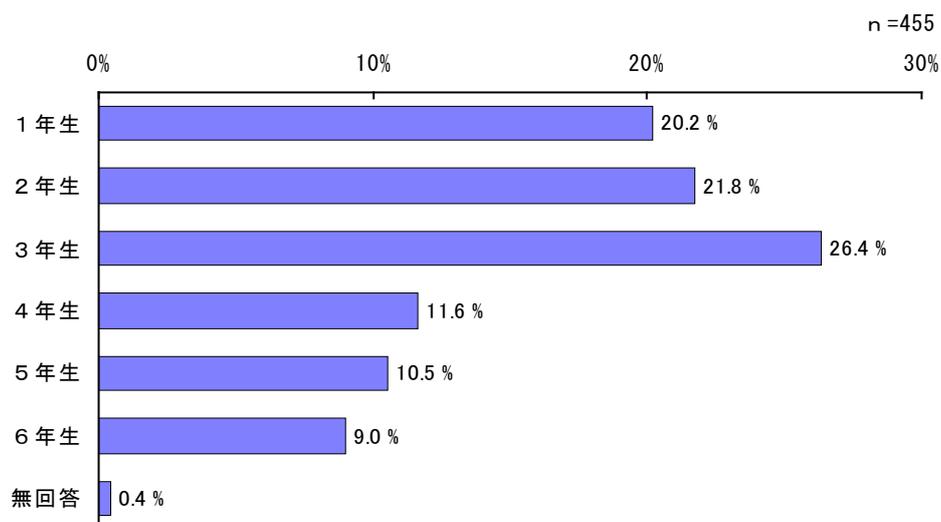
問1 お住まいの地区の小学校区として当てはまる答えの番号 1 つに○をつけてください。



○回答者の小学校区は、「八街東小学校」25.1%が最も多く、次いで「実住小学校」21.8%、「朝陽小学校」13.8%、「川上小学校」9.7%などである。

## (2) 子どもの年齢

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

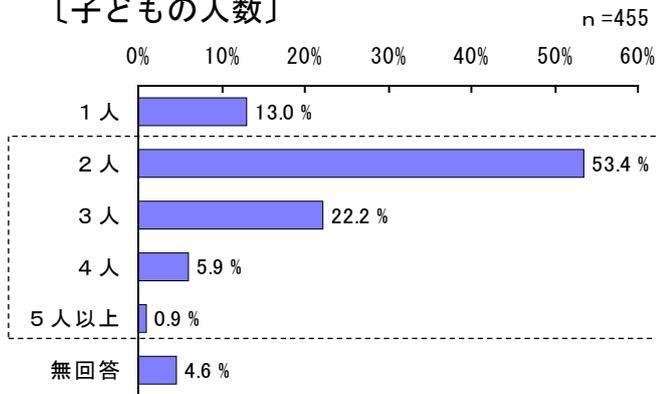


○調査対象の子どもの学年は、「3年生」26.4%、「2年生」21.8%、「1年生」20.2%、「4年生」11.6%、「5年生」10.5%、「6年生」9.0%である。

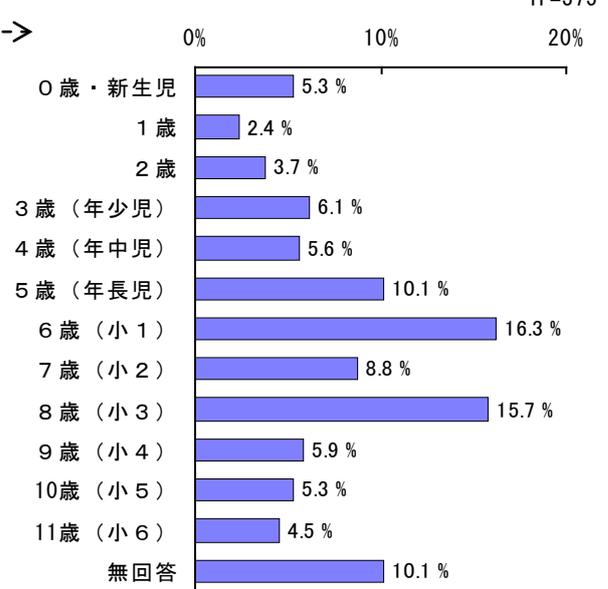
### (3) 子どもの人数と末子の年齢

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

〔子どもの人数〕



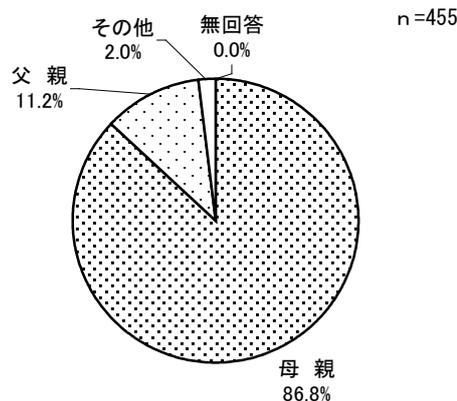
〔2人以上の場合の末子の年齢〕



○子どもの人数は「2人」53.4%が多く、次いで「3人」22.2%、「1人」13.0%などである。  
 ○子どもが2人以上いる回答者のうち、末子の年齢は、「6歳」16.3%、「8歳」15.7%、「5歳」10.1%などである。

### (4) 回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

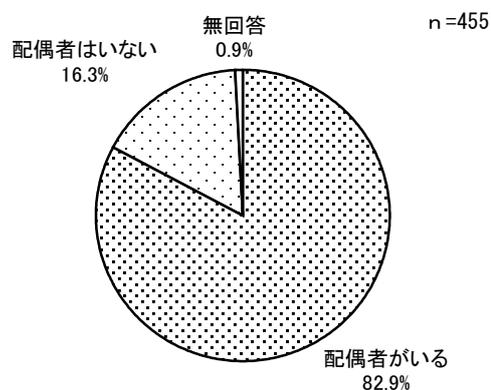


○調査票の回答者は、「母親」86.8%が8割半ばで大半を占め、「父親」11.2%、「その他」2.0%である。

○「その他」の回答は、「祖母」「祖父」「施設職員」等であった。

## (5) 配偶関係

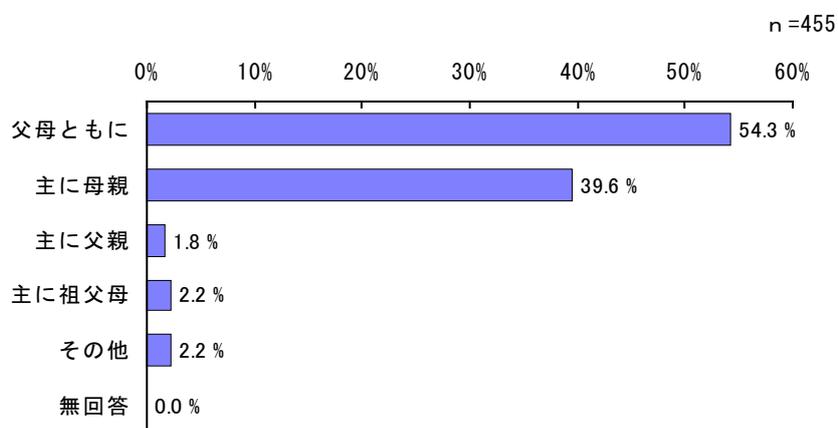
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○「配偶者がいる」82.9%、「配偶者がいない」16.3%である。

## (6) 子育てを主に行っている人

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

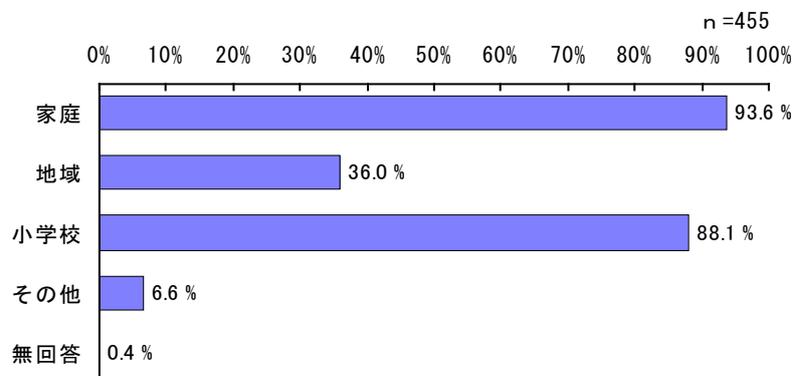


○子どもの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が54.3%と半数を超えて多く、次いで「主に母親」39.6%などとなっている。

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境

### (1) 子育てに影響する環境

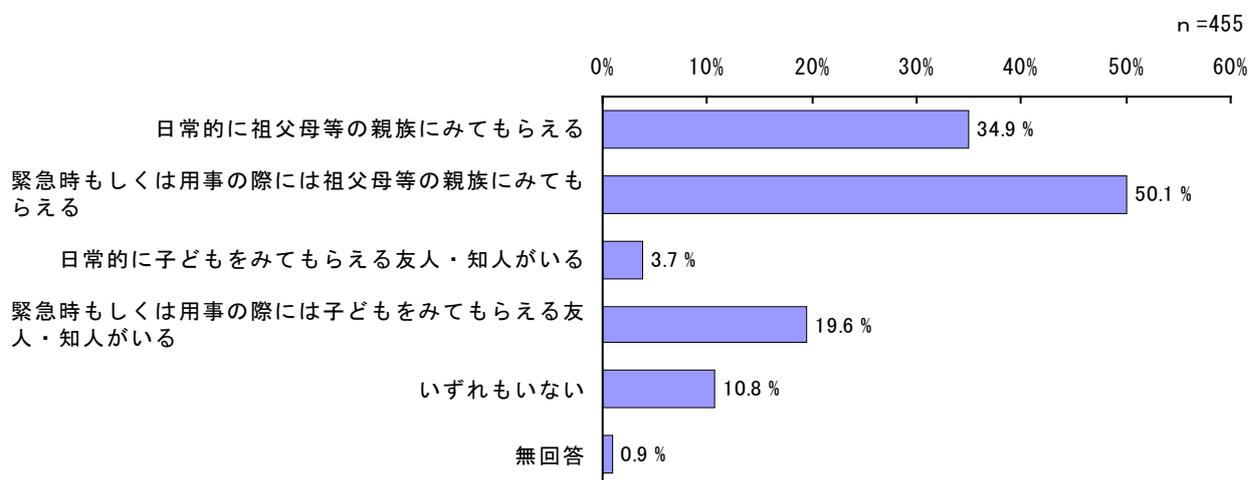
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。



○子育てにもっとも影響すると思われる環境は、「家庭」93.6%、「小学校」88.1%がいずれも9割前後で多く、次いで「地域」36.0%などである。

### (2) 日頃のサポートの状況

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

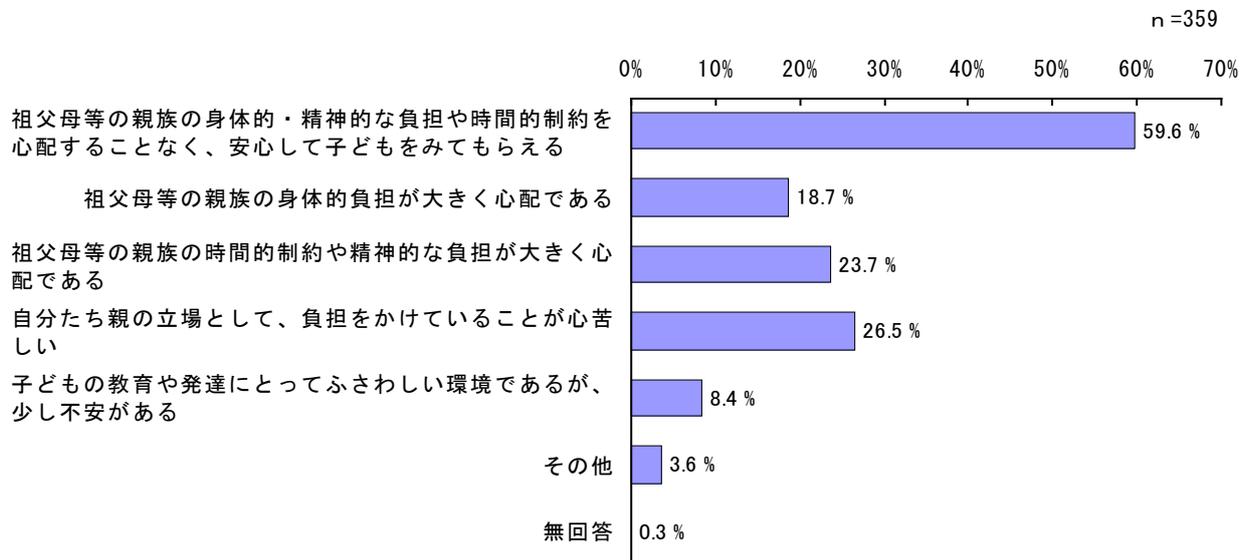


○日頃のサポートの状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が50.1%と半数で多く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」34.9%と合わせると、「祖父母等の親族にみてもらえる」は8割半ばにのぼる。「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は19.6%、「いずれもない」は10.8%である。

### (3) 祖父母からのサポートの状況

問9-1 問8で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

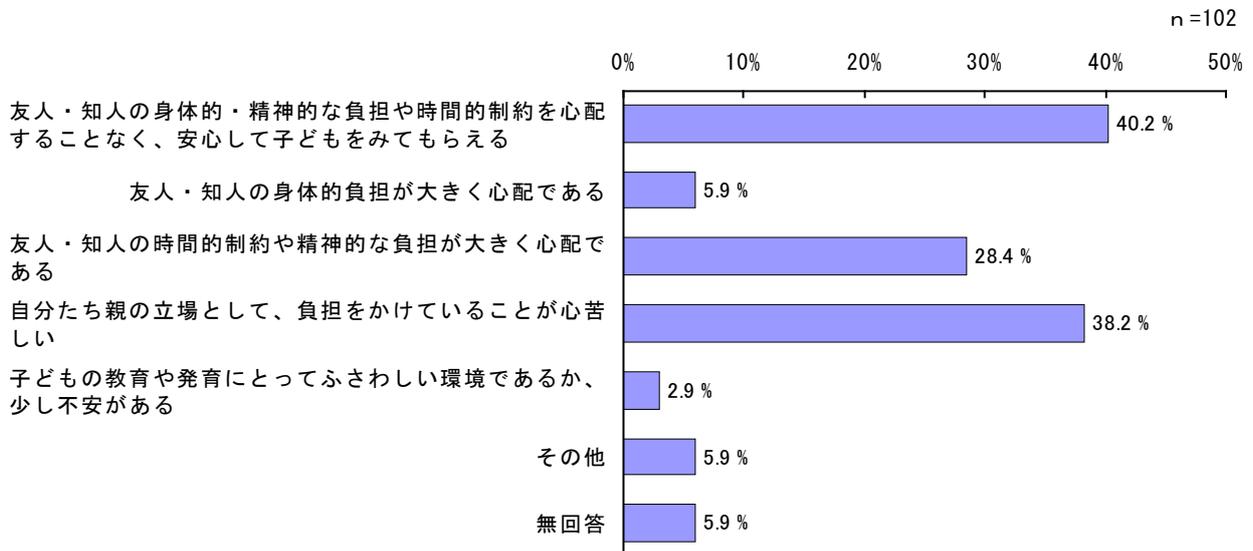


○日常的にもしくは緊急時に祖父母等の親族に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」59.6%が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」26.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」23.7%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」18.7%などである。

#### (4) 友人・知人からのサポートの状況

問9-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

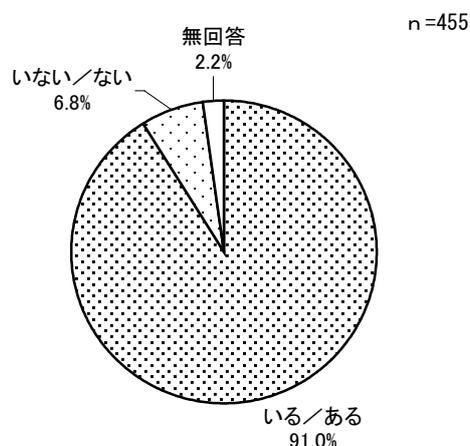
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○日常的もしくは緊急時に友人・知人に子どもをみてもらえると回答した人にその状況についてたずねたところ、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」40.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」38.2%が、いずれも4割前後で多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」28.4%などである。

#### (5) 子育てに関する相談先の有無

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

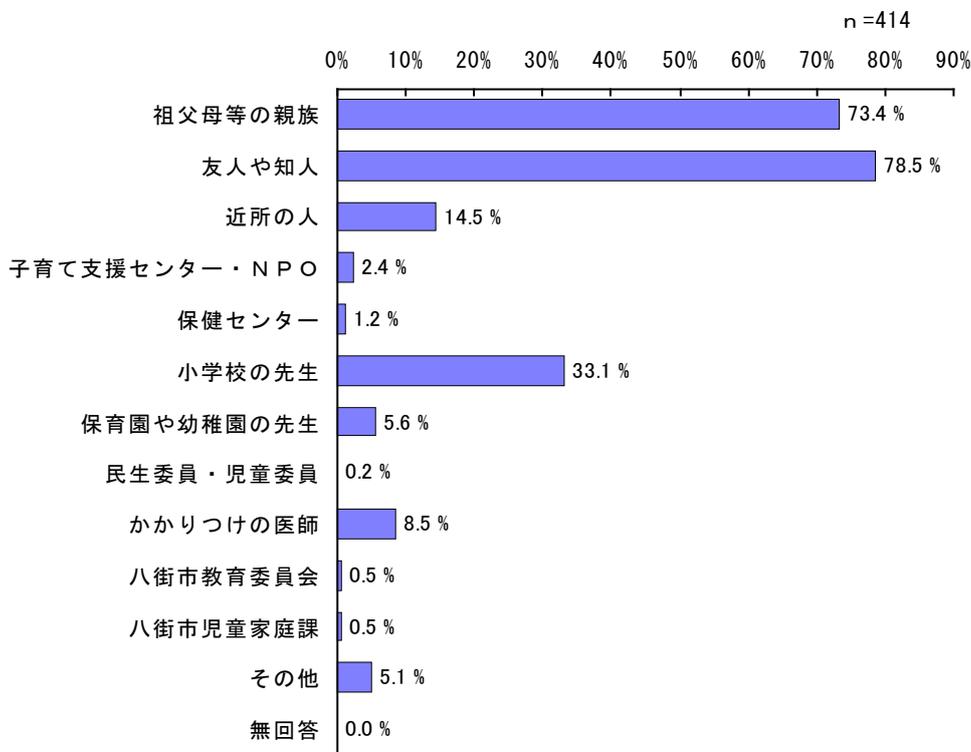


○子どもの子育てをする上で気軽に相談できる人が「いる/ある」が91.0%と9割を占め、「いない/ない」は6.8%である。

## (6) 子育てに関する具体的な相談先

問 10-1 **問 10 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○相談先があると回答した人に、具体的な相談先をたずねたところ、「友人や知人」78.5%、「祖父母等の親族」73.4%がいずれも8割弱で多く、次いで「小学校の先生」33.1%、「近所の人」14.5%、「かかりつけの医師」8.5%などである。

## (7) あればよいと思う周囲からのサポート

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

<学校、学童保育などについて>

- 学童保育の充実
- 6年生まで預かってほしい。
- 土日祝日も19時まで預かってほしい。
- 放課後子ども教室ができるといい。
- 長期休業時の学童開始時間が8時からでは、仕事を遅刻しないといけなくなるので時間を早めてほしい。
- 学級担任に子供の様子等を話したりする時間を増やしてほしい。

### <子どもへの支援>

- 昔ながらの遊びを子どもに教えてほしい。
- 子供と地域がつながるようなサポート
- 子どもが気軽に遊べる場所
- 学校の事をフォローしてほしい。

### <一時預かりのサポート>

- ファミリー・サポート・センター
- 少しの時間でも、気兼ねなく預かってもらいたい。
- 病児保育
- 急な残業時などにみてほしい。
- 病気やケガで学校に行けない時、迎えに行ってくれたり、病気やケガの時でも預かってくれる所

### <相談先>

- 気軽に相談にのってもらえる環境
- じっくり話を聞いてくれる場所

### <情報提供>

- 情報の共有
- 特別支援学級などについての、市からの案内や情報
- どのようなサポートがあるか分からない。誰にでも分かるように市から情報を出してほしい。
- 学校以外での活動（スポーツなど）の情報提供

### <環境面の整備>

- あたたかい挨拶、笑顔
- 子供に困った事が家庭以外で起こった時にすぐ入って相談できる家、又はホームがあるとよい。
- 子どもが遊べるところがほしい。
- 通学路を安全にしてほしい。通学時に危険な所が多い。
- 通学路等の歩道が狭い為特に低学年の子は登下校の際、交通事故が心配です。道路に色をつけたり、線を引いたりする等何らかの工夫があると良い。
- いけない事は見て見ぬふりはしないで注意してくれる環境
- 発達障害などの子供が遊びに行ったり、相談できる場所が欲しい。
- 夕方～夜にかけてパトロール

### <その他>

- 親として周りの意見に惑わされるのは嫌い。
- 金銭面の援助
- 児童手当の増額

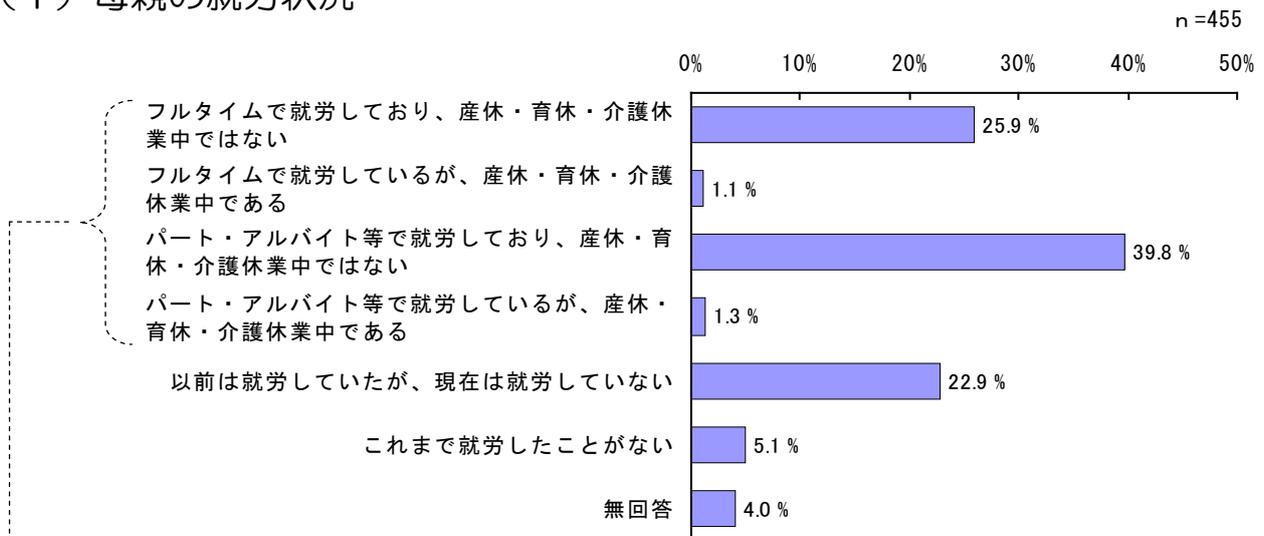
### 3. 保護者の就労状況

問 12 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況\*（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

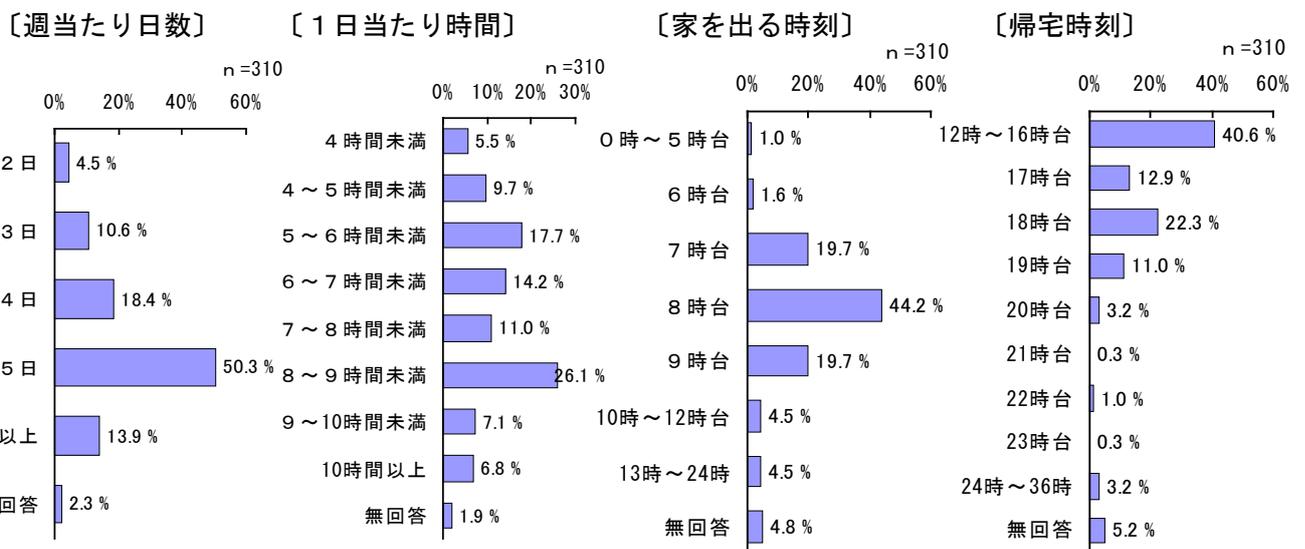
問 12-1 **問 12で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

#### （1）母親の就労状況



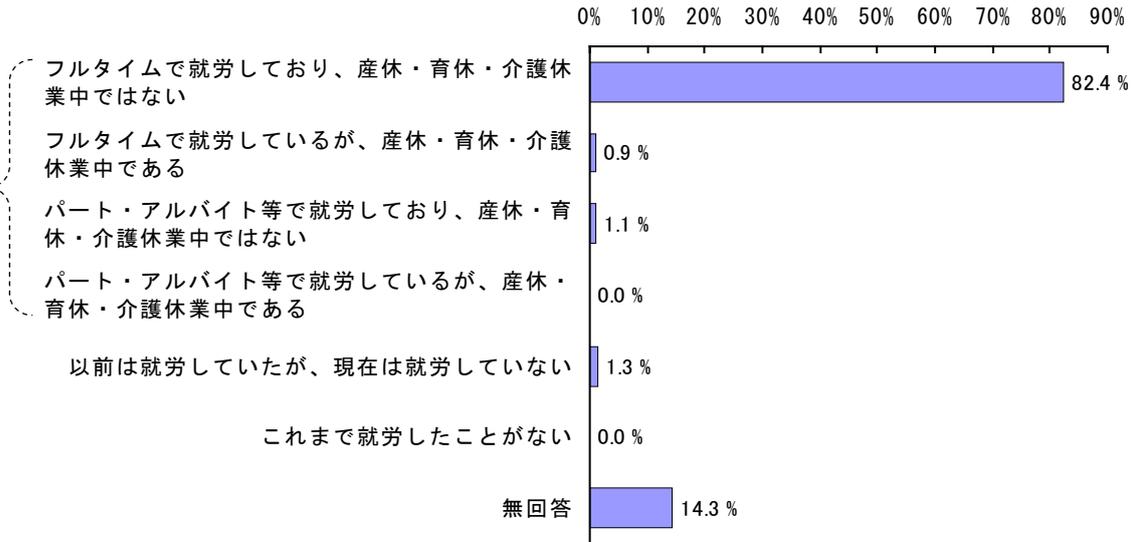
○母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」39.8%が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」25.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」22.9%などである。



\* ここでいう「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労のことである。「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のことである。

## (2) 父親の就労状況

n=455



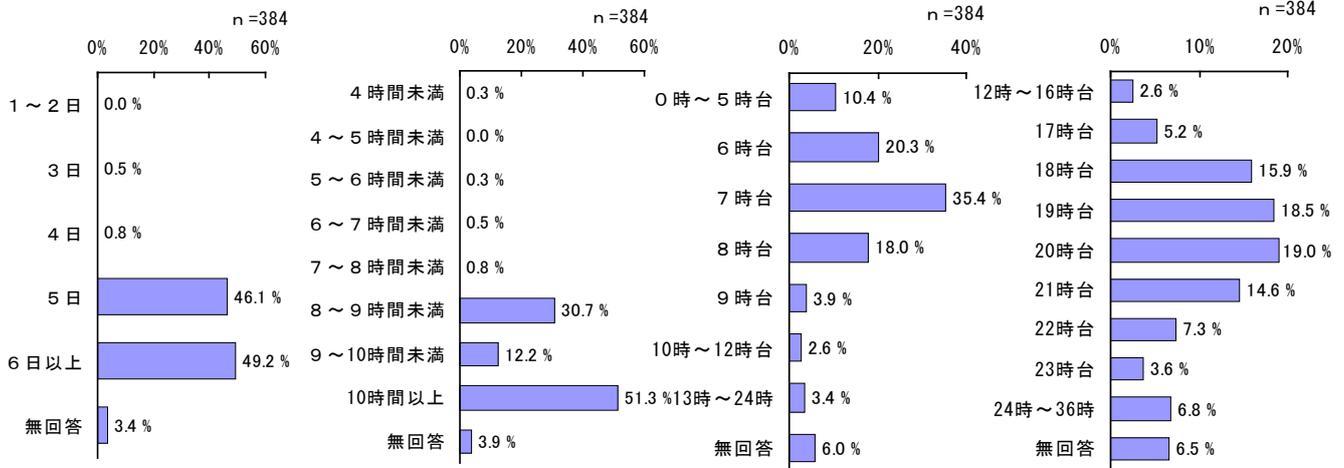
○父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」82.4%が8割強で多く、他の項目は1%前後である。

〔週当たり日数〕

〔1日当たり時間〕

〔家を出る時刻〕

〔帰宅時刻〕

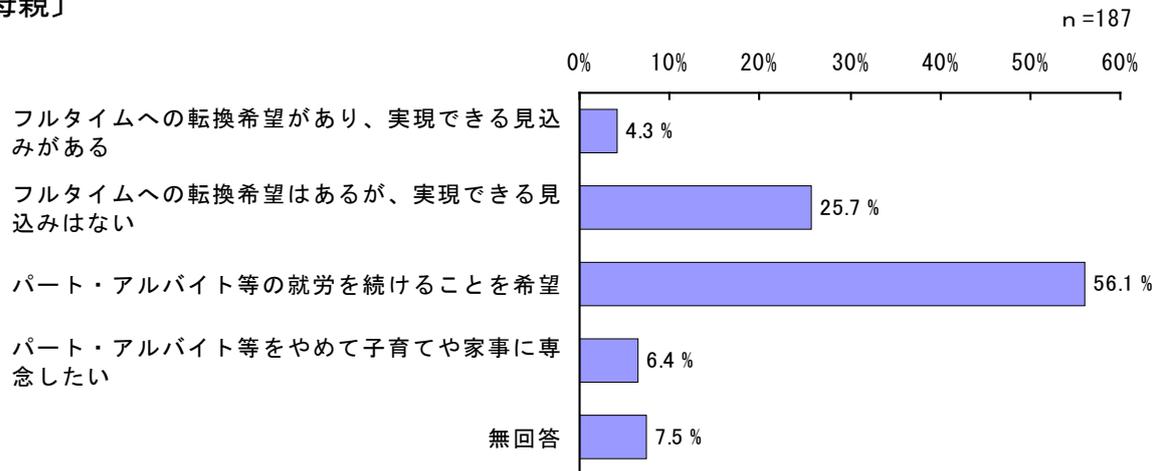


### (3) パートタイムで働いている親のフルタイムへの転換希望

問 13 問 12で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
**該当しない方は、問 14へお進みください。**

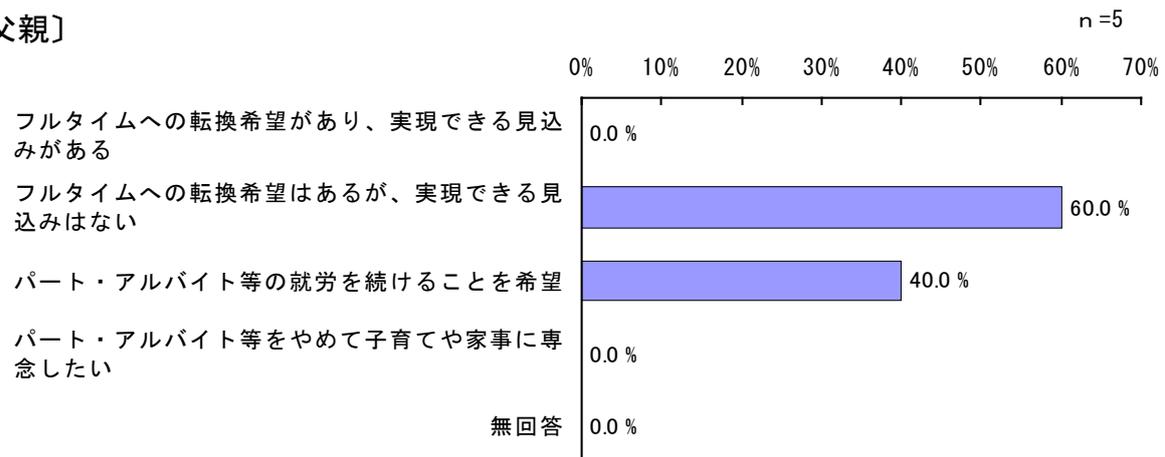
フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

#### 〔母親〕



○パート・アルバイト等で就労している母親に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が56.1%と半数を超えて多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」25.7%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」6.4%などである。

#### 〔父親〕



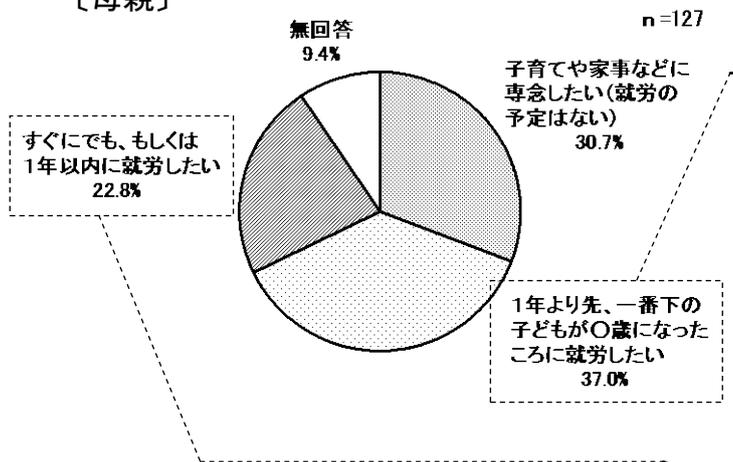
○パート・アルバイト等で就労している父親5人に、フルタイムへの転換希望についてたずねたところ、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が3人、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」2人である。

## (4) 無職の人の就労希望

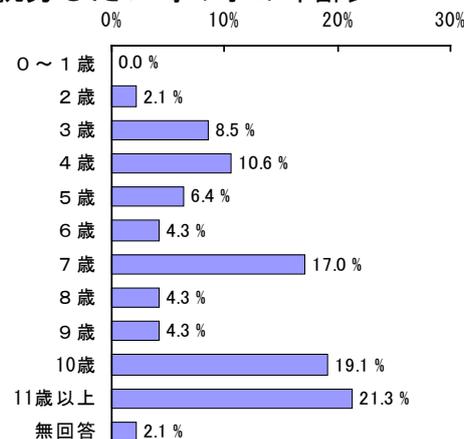
問 14 問 12 で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

〔母親〕



〔就労したい時の子の年齢〕

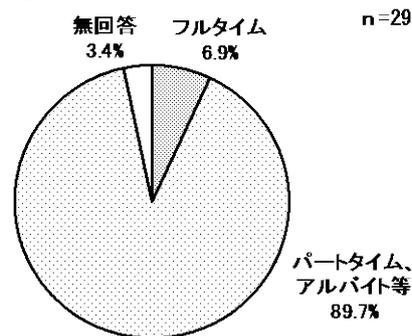


○無職の母親 127 人に今後の就労希望をたずねたところ、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が 37.0%と多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」30.7%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」22.8%である。

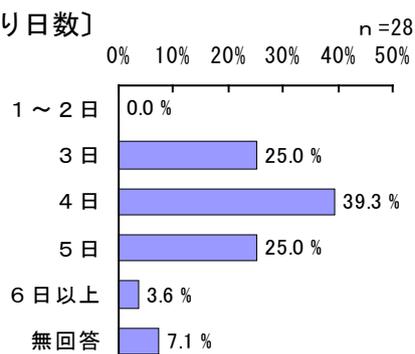
○「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」と回答した人の子どもの年齢は、「11歳以上」21.3%が最も多く、次いで「10歳」19.1%、「7歳」17.0%、「4歳」10.6%などである。

○「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」89.7%、「フルタイム」6.9%である。また、1週当たり「4日」39.3%が最も多く、次いで「5日」「3日」とともに 25.0%などである。1日当たりの時間数は「5～6時間未満」53.6%が最も多く、次いで「4～5時間未満」35.7%などである。

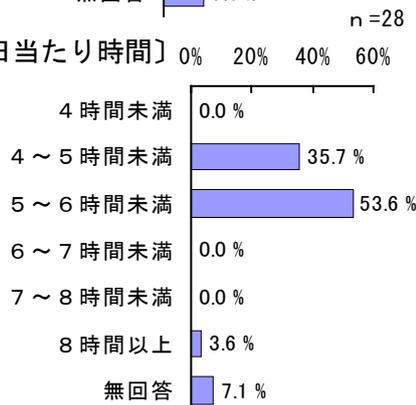
〔希望する就労形態〕



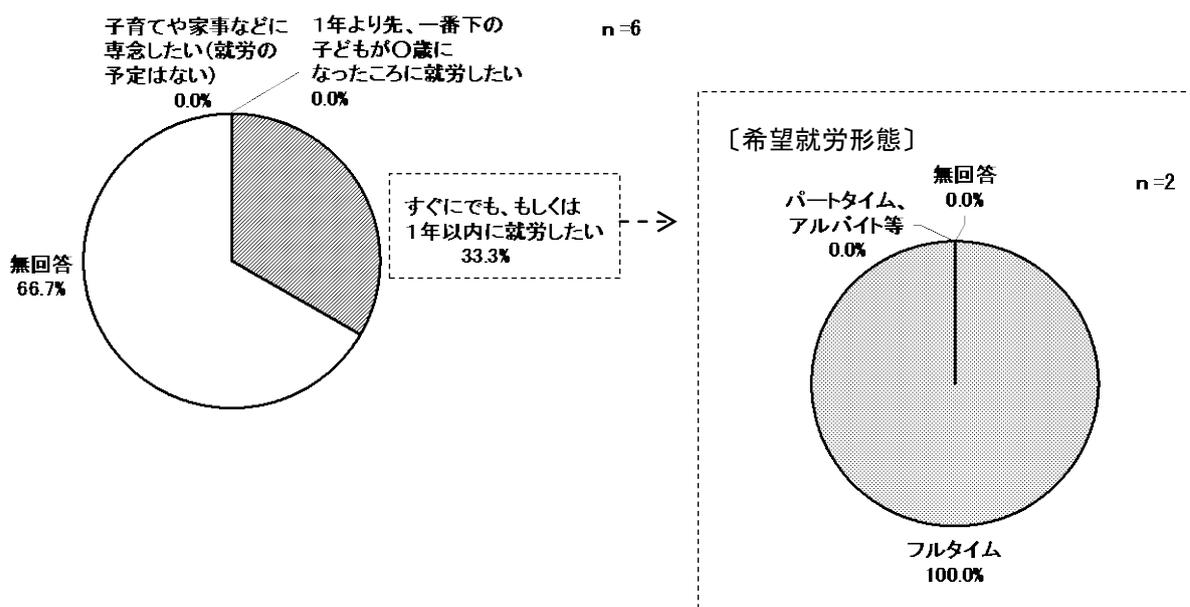
〔週当たり日数〕



〔1日当たり時間〕



## 〔父親〕



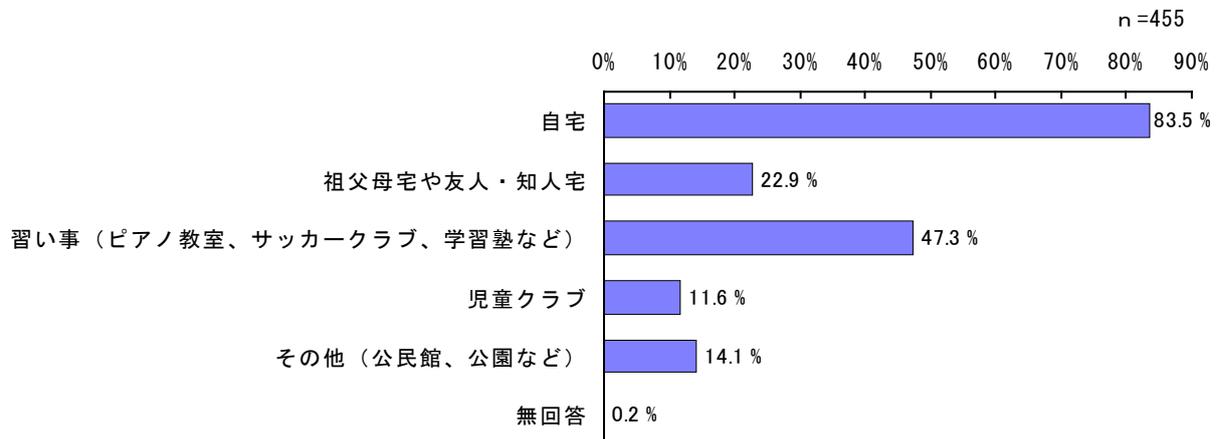
○無職の父親6人に今後の就労希望をたずねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が2人、他の4人は無回答である。

○すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した2人の希望就労形態は、2人とも「フルタイム」である。

## 4. 放課後の過ごし方

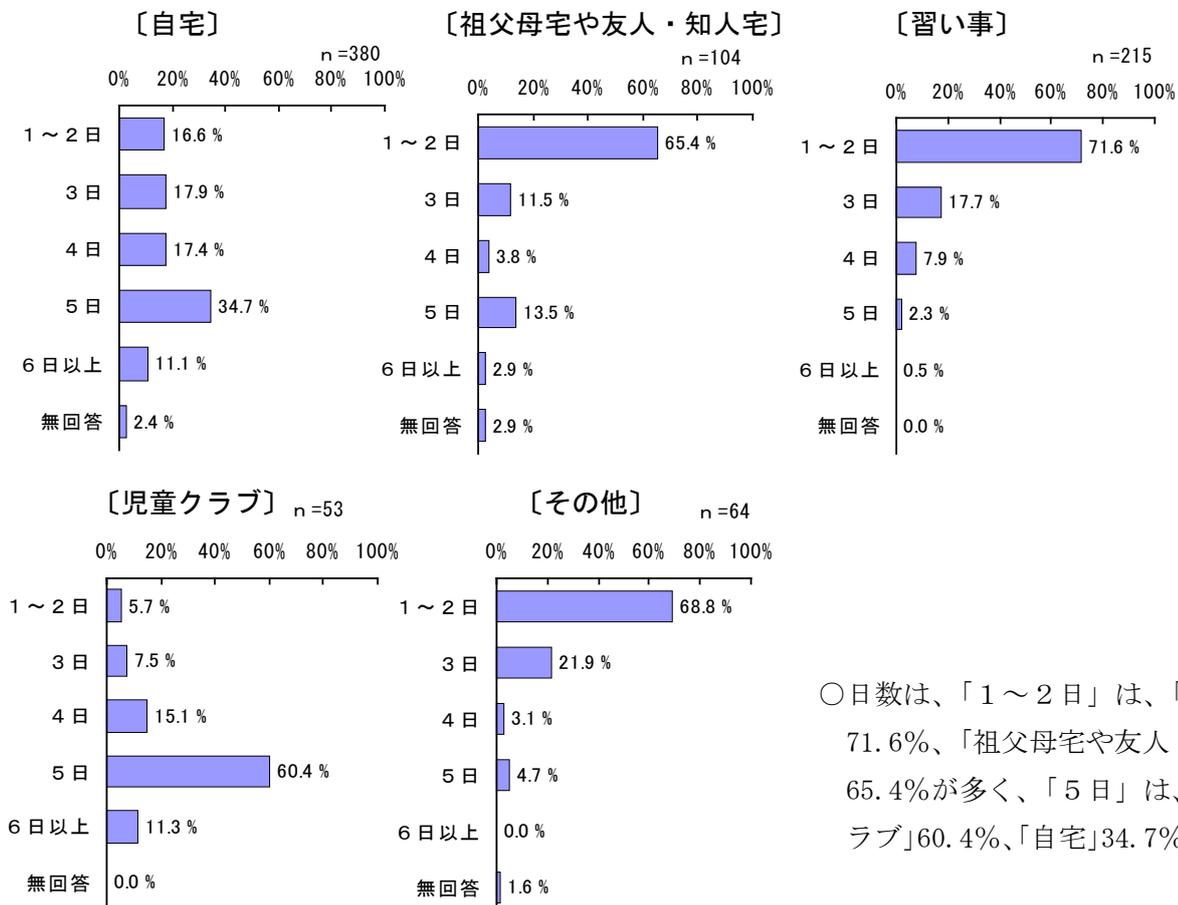
### (1) 放課後の過ごし方

問 15 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。



○放課後の過ごし方は、「自宅」83.5%が最も多く、次いで「習い事」47.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」22.9%、「児童クラブ」11.6%などである。

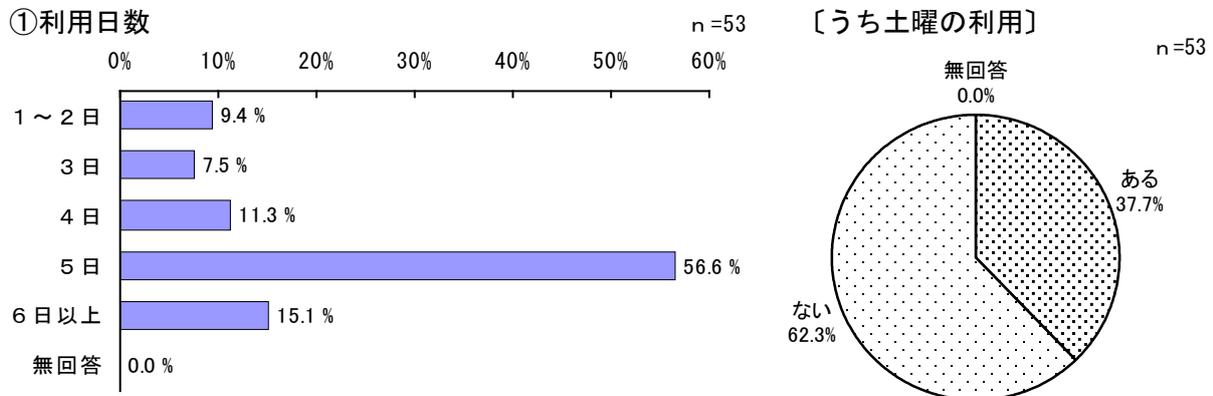
#### ■ 日数



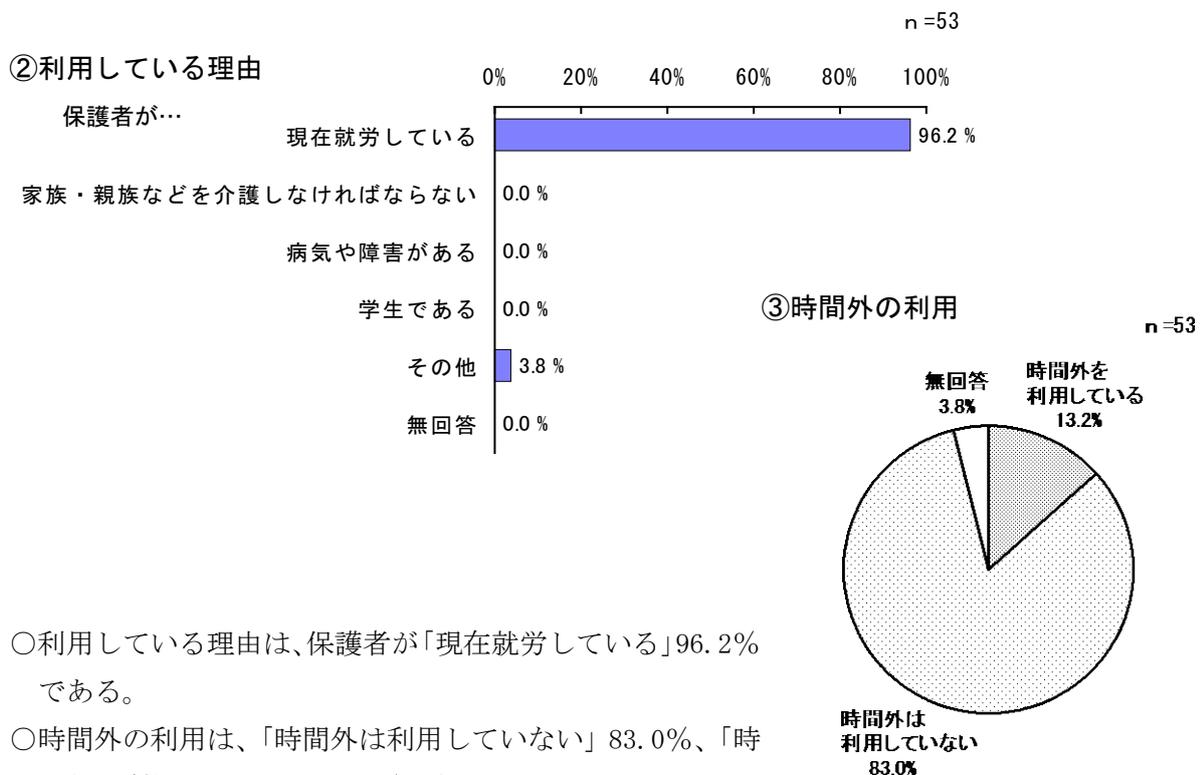
○日数は、「1～2日」は、「習い事」71.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」65.4%が多く、「5日」は、「児童クラブ」60.4%、「自宅」34.7%が多い。

## (2) 児童クラブの利用状況

問 15-1 あて名のお子さんについて、児童クラブの利用日数はどれくらいですか。併せて、利用している理由、時間外の利用、利用希望時間についてお答えください。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。日数や時間等は口内に数字でご記入ください。



○「児童クラブ」を利用している人にたずねたところ、利用日数は「5日」56.6%が多く、次いで「6日以上」15.1%、「4日」11.3%などである。うち土曜の利用は「ない」62.3%、「ある」37.7%である。

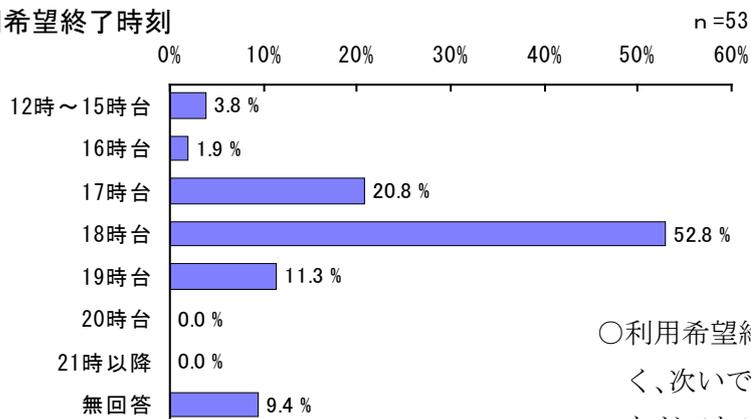


○利用している理由は、保護者が「現在就労している」96.2%である。

○時間外の利用は、「時間外は利用していない」83.0%、「時間外を利用している」13.2%である。

○時間外を利用していない人に、その理由またはどうしているかをたずねたところ、「時間外を利用する時間までに仕事が終わる、家にいる／家に家族がいるから」(31人)、「お金がかかるから」(1人)である。

#### ④利用希望終了時刻



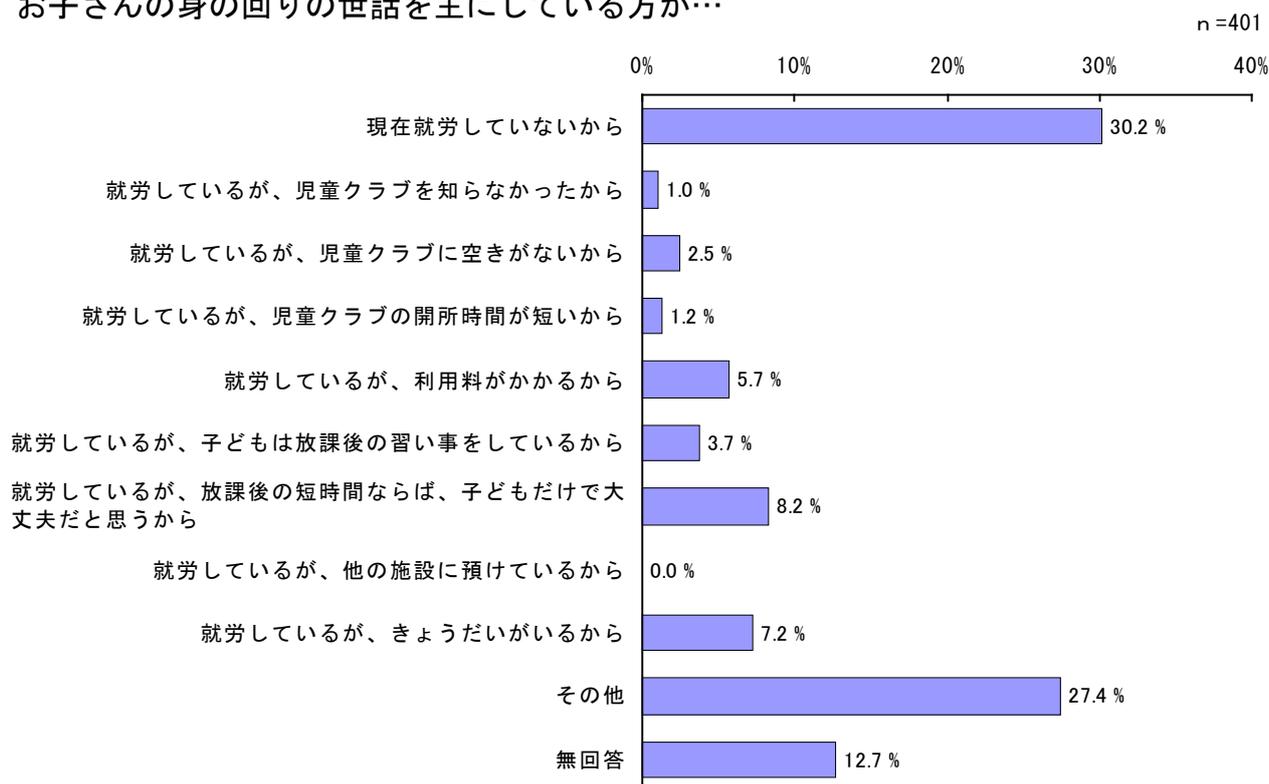
○利用希望終了時刻は、「18時台」52.8%が多く、次いで「17時台」20.8%、「19時台」11.3%などである。

### (3) 児童クラブを利用していない理由

#### 現在、児童クラブを利用していない方へ

問 15-2 利用していない理由についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

#### お子さんの身の回りの世話を主にしている方が…



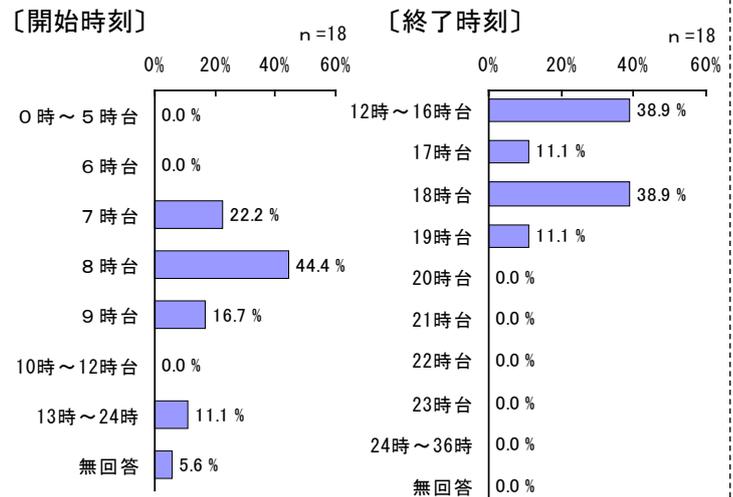
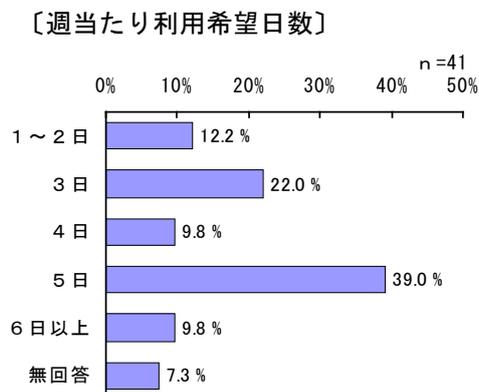
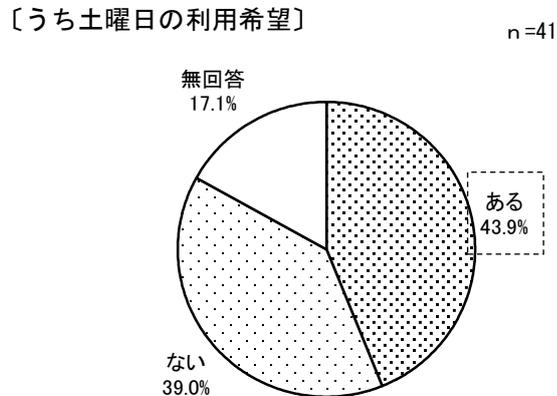
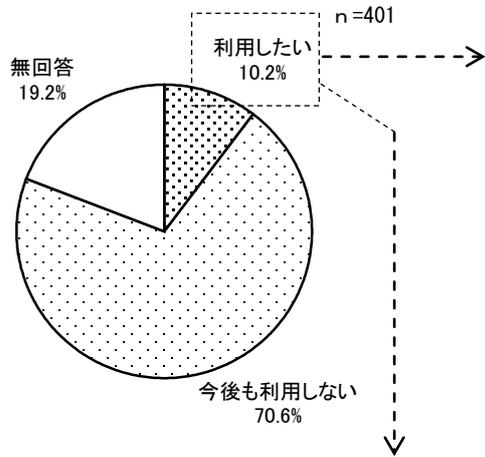
○利用していない理由は、子どもの身のまわりの世話を主にしている方が「現在就労していないから」30.2%が最も多く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うから」8.2%、「就労しているが、利用料がかかるから」5.7%などである。

○「その他」の主な内容は、以下の通りである。

- ・ 放課後は家にいる。／家族が家にいる。
- ・ 4年生以上で対象外だから。
- ・ 児童クラブの環境がよくないから。
- ・ 自営業だから。
- ・ 本人が行きたがらないから。
- ・ 夏休みの利用開始時間が遅いから。

#### (4) 現在利用していない人の、児童クラブの利用希望

問 15-3 あて名のお子さんについて、今後、児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい日数や時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制で数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。



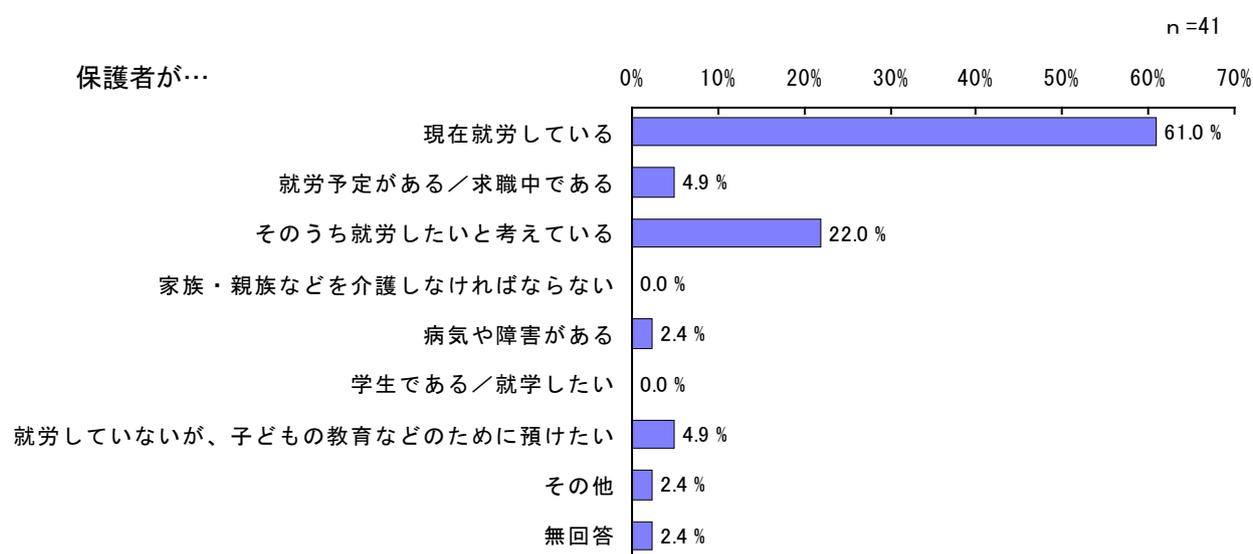
○今後の利用希望は、「利用したい」10.2%、「今後も利用しない」70.6%である。

○利用したい人の週当たり希望日数は、「5日」39.0%が多く、次いで「3日」22.0%、「1～2日」12.2%などである。また、うち土曜日の利用希望は「ある」43.9%、「ない」39.0%である。土曜日の利用希望がある人の利用開始希望時刻は「8時台」44.4%が多く、次いで「7時台」22.2%、「9時台」16.7%などである。終了時刻は、「18時台」「12時～16時台」とともに38.9%などである。

## (5) 今後児童クラブを利用したい人の理由

### 問 15-4 問 15-3 で「1」をお選びの方へ

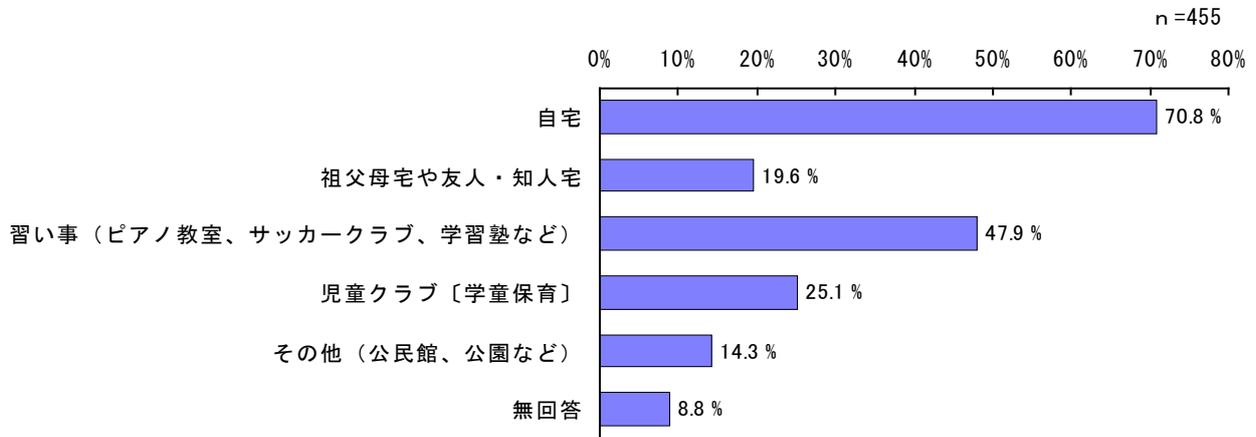
今後、児童クラブを利用したい理由についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



○今後、児童クラブを利用したい理由は、「現在就労している」61.0%が最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えている」22.0%などである。

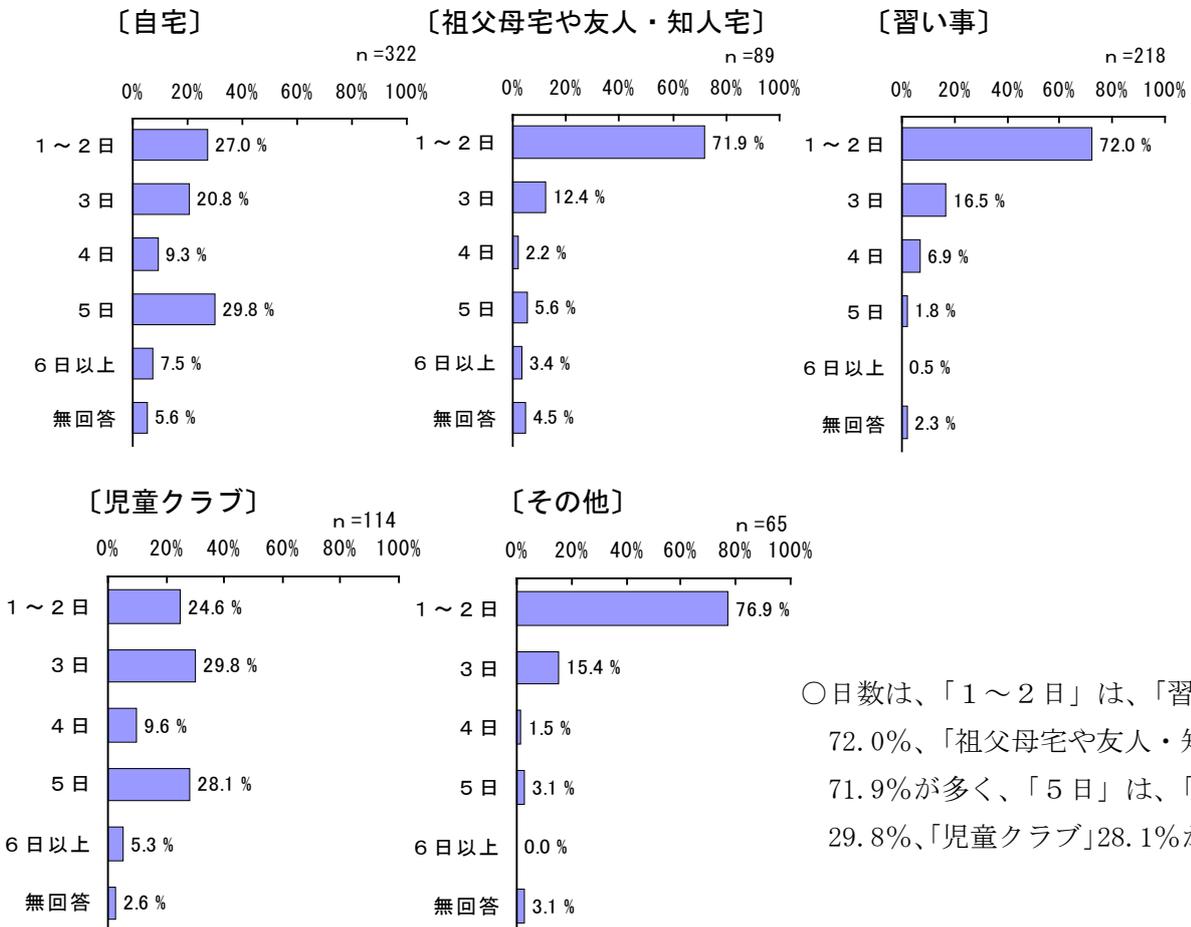
## (6) 6年生まで利用できた場合の利用希望

問 16 児童クラブが6年生まで利用できるようになった場合、あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。※現在お持ちのイメージでお答えください。



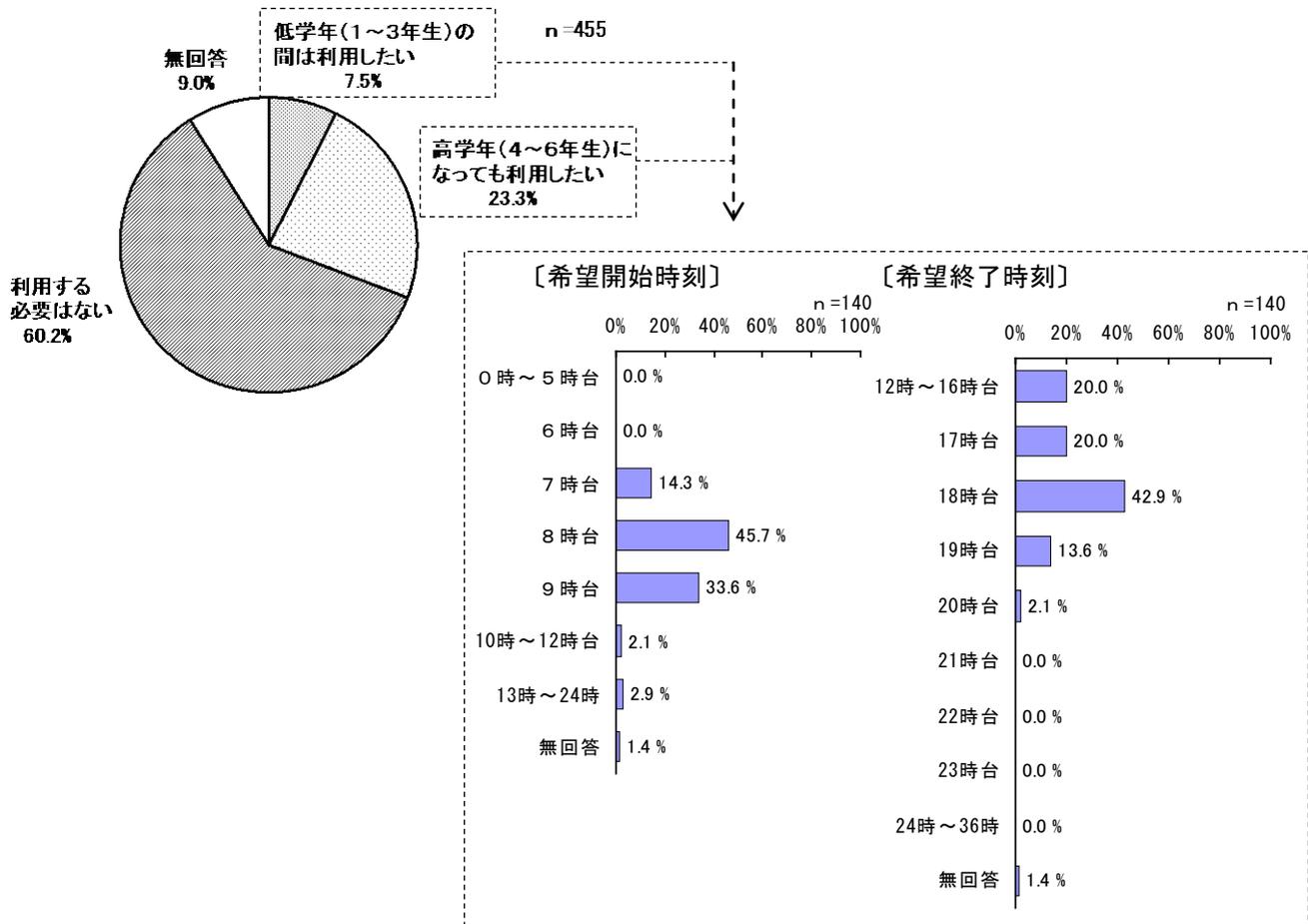
○児童クラブが6年生まで利用できるようになった場合の放課後の過ごし方は、「自宅」70.8%、「習い事」47.9%、「児童クラブ」25.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」19.6%などである。

### ■ 日数



## (7) 長期休暇中の利用希望

問 17 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制で数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。



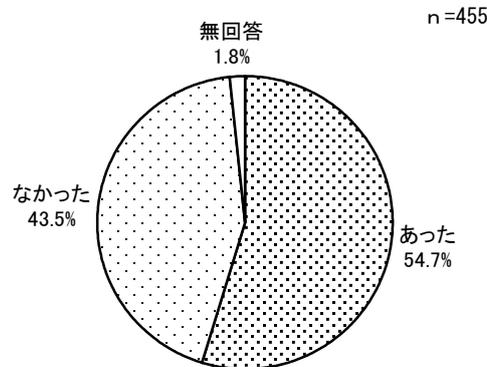
○長期休暇中の児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」60.2%が多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」23.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」7.5%である。

○利用を希望する人の希望開始時刻は、「8時台」45.7%が多く、次いで「9時台」33.6%、「7時台」14.3%などである。希望終了時刻は、「18時台」42.9%が多く、次いで「17時台」「12時～16時台」20.0%、「19時台」13.6%などである。

## 5. 病気の際の対応

### (1) 病気で学校を休んだこと

問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気で学校を休ませなければならないことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

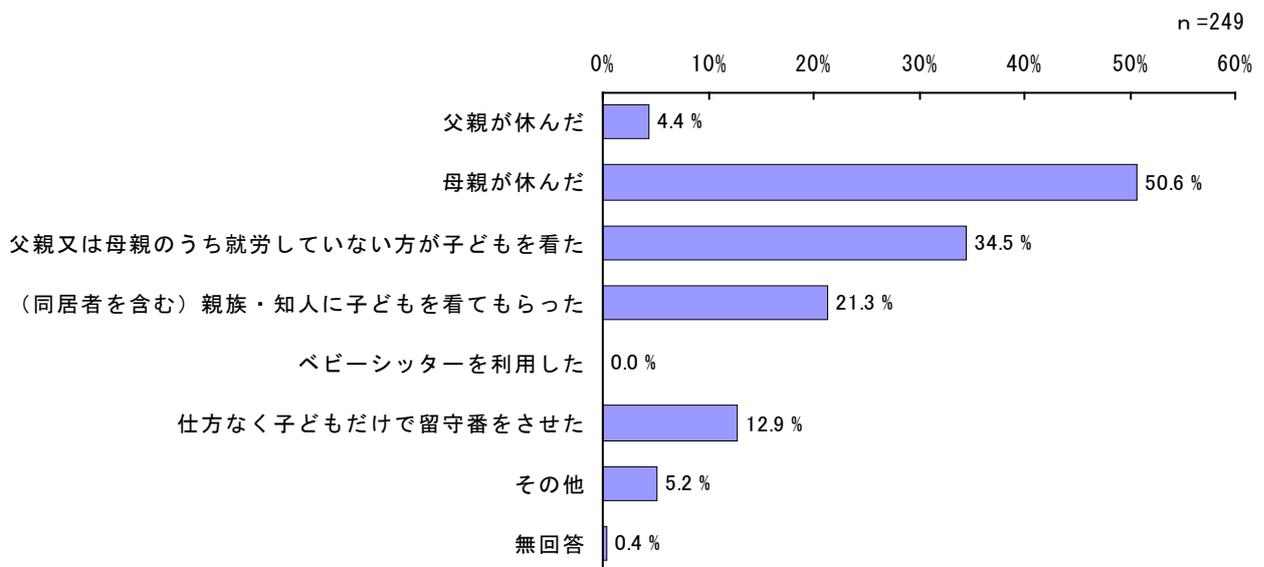


○病気で学校を休ませなければならなかったことが「あった」54.7%、「なかった」43.5%である。

### (2) 対処方法

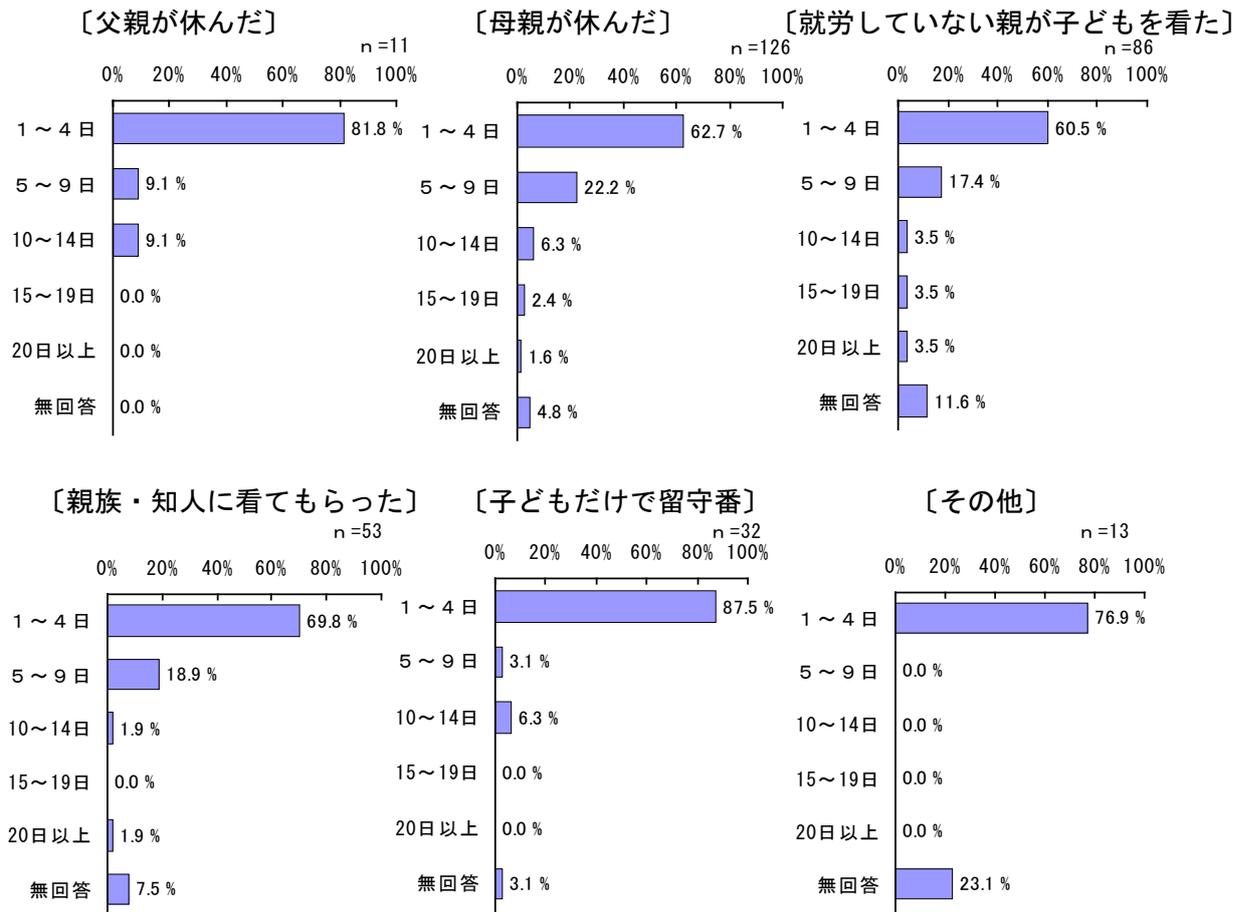
**問 18 で「あった」と答えた方にうかがいます。**

問 18-1 そのような場合、どのように対処しましたか。この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。



○病気で学校を休ませなければならなかったことがあったと回答した人に、その場合の対処方法をたずねたところ、「母親が休んだ」50.6%が多く、次いで「就労していない方が子どもを見た」34.5%、「親族・知人に子どもを看てもらった」21.3%などである。

■ 日数

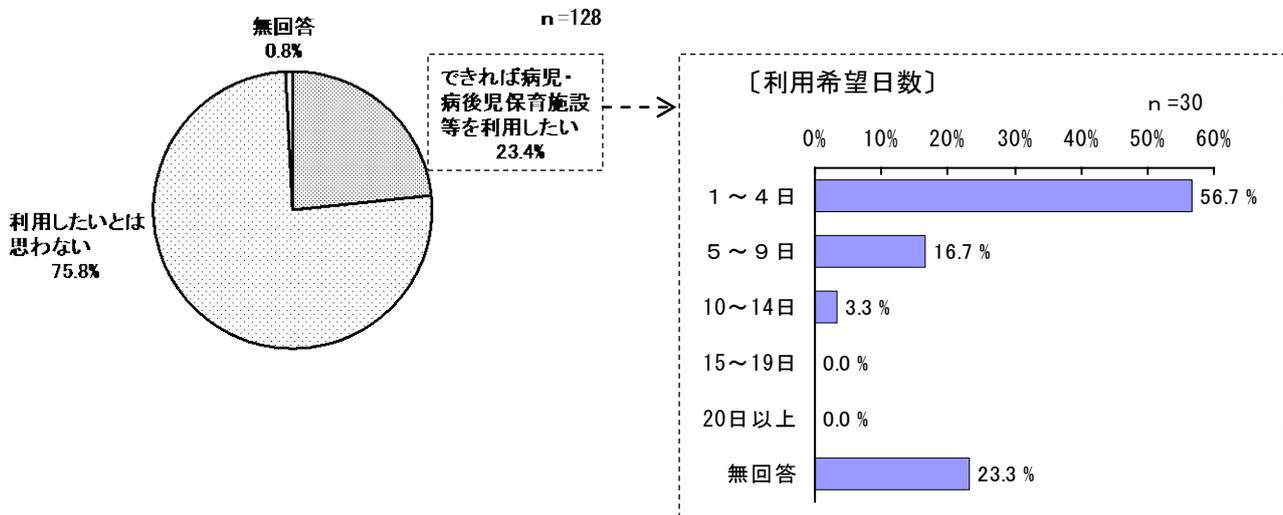


○日数は、いずれも「1～4日」が6割以上と多い。「20日以上」は、「就労していない親が子どもを見た」3.5%、「親族・知人に看てもらった」1.9%、「母親が休んだ」1.6%である。

### (3) 病児・病後児保育施設の利用希望

**問 18 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。**

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。



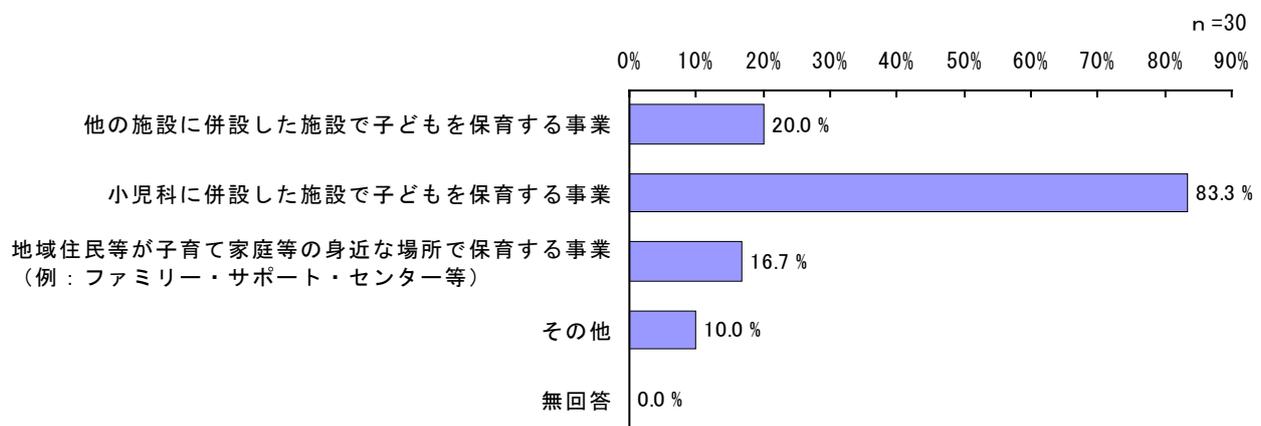
○病気で学校を休ませなければならなかったことがあった際に父親または母親が休んだと回答した人にたずねた。「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 23.4%、「利用したいとは思わない」75.8%である。

○利用したい人の、利用希望日数は、「1～4日」56.7%が半数を超えて多い。「5～9日」は 16.7%である。

### (4) 病児・病後児施設で希望する事業形態

**問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

問 18-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

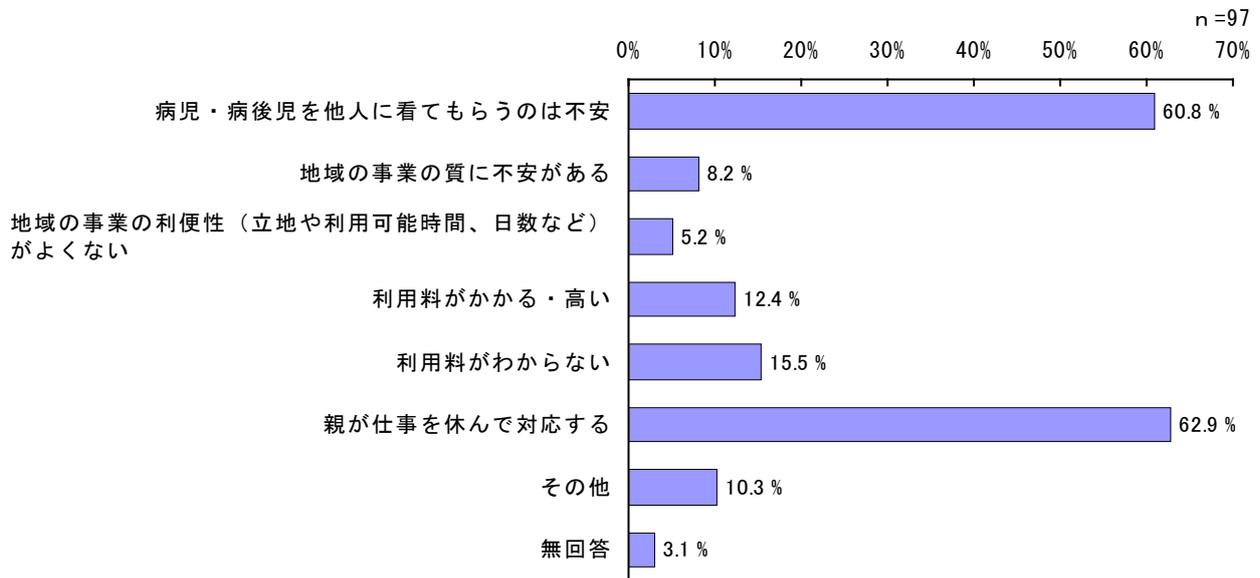


○望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」83.3%が多い。

## (5) 利用したくない理由

**問 18-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。**

問 18-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

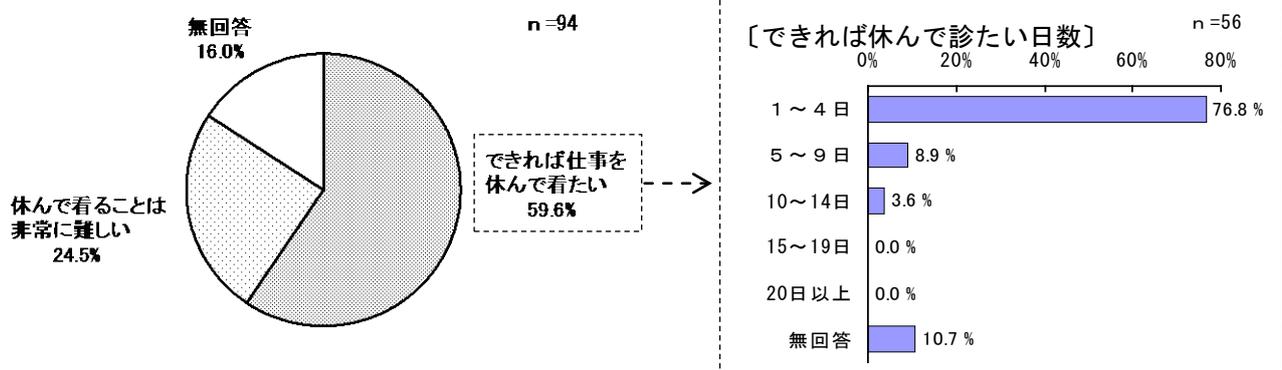


○病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わないと回答した人に、その理由をたずねたところ、「親が仕事を休んで対応する」62.9%及び「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」60.8%がいずれも6割を超えて多い。

## (6) 父か母が仕事を休んで看たいか

**問 18-1 で「エ。」から「キ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。**

問 18-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「エ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

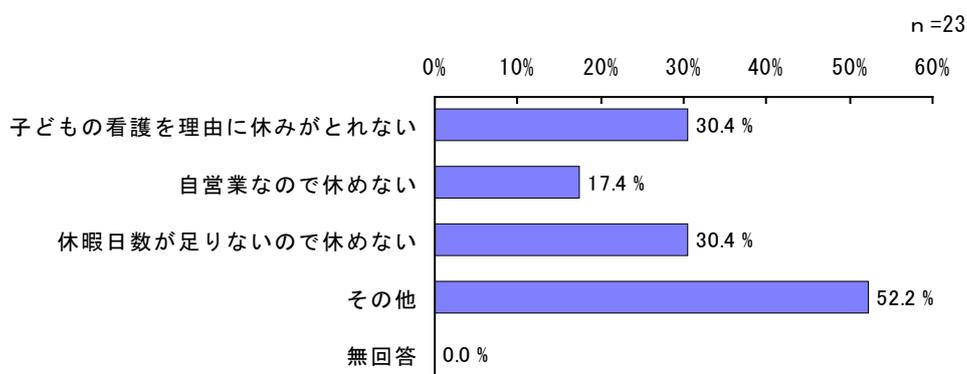


○病気で学校を休ませなければならないことがあった際に、親族・知人に看てもらった、または仕方なく子どもだけで留守番をさせた、その他と回答した人に、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかどうかをたずねたところ、「できれば仕事を休んで看たい」59.6%が多く、「休んで看ることは非常に難しい」24.5%である。できれば休んで看たい日数は「1～4日」76.8%が多い。

## (7) 休んで看ることが難しい理由

問 18-5 で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○父母のいずれかが仕事を休んで看することは非常に難しいと回答した人に、その理由をたずねたところ、「子どもの看護を理由に休みがとれない」「休暇日数が足りないので休めない」とともに 30.4%、「自営業なので休めない」17.4%である。

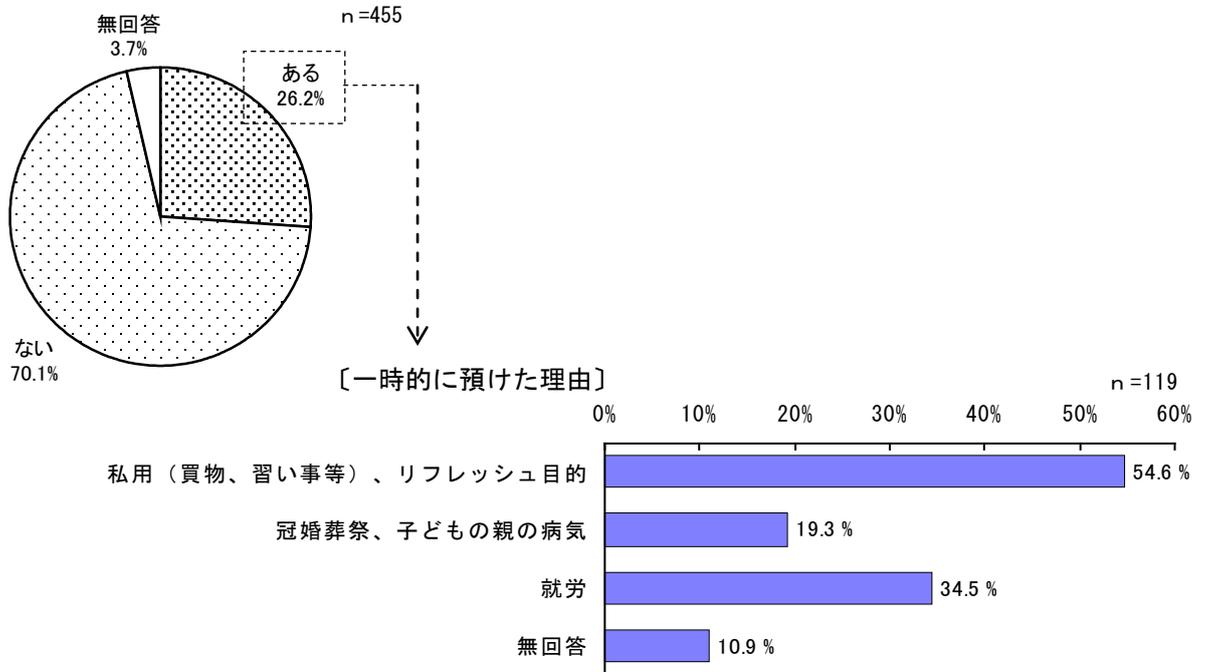
○「その他」の主な内容は、以下の通りである。

- ・受け持っている仕事を他の人が出来ないから。
- ・1人欠けるだけでみんなに迷惑がかかるため。勤務体制が厳しい。
- ・仕事は休めたが、学校行事に参加しなくてはいけなかったのだ。
- ・下の子の用事
- ・重病ではない時は休みづらい。
- ・あまり長引くと休めない。
- ・職場に子持ちの主婦が居ないので理解してもらえない。
- ・休んだ分だけ給料も少なくなるので生活が大変になる。

## 6. 一時預かり、宿泊を伴う一時預かり等について

### (1) 一時預かり

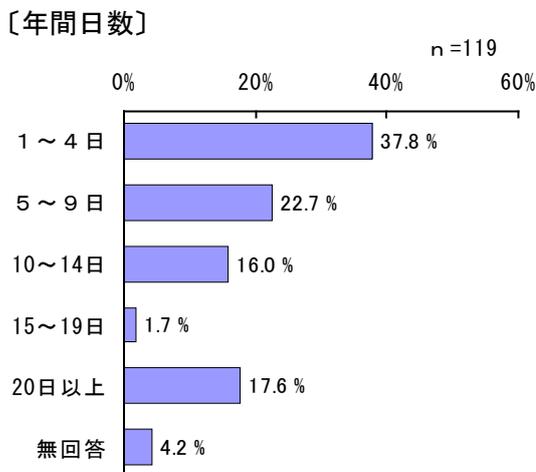
問 19 この1年間で私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。日数は口内に数字でご記入ください。※半日程度についても1日としてカウントしてください。



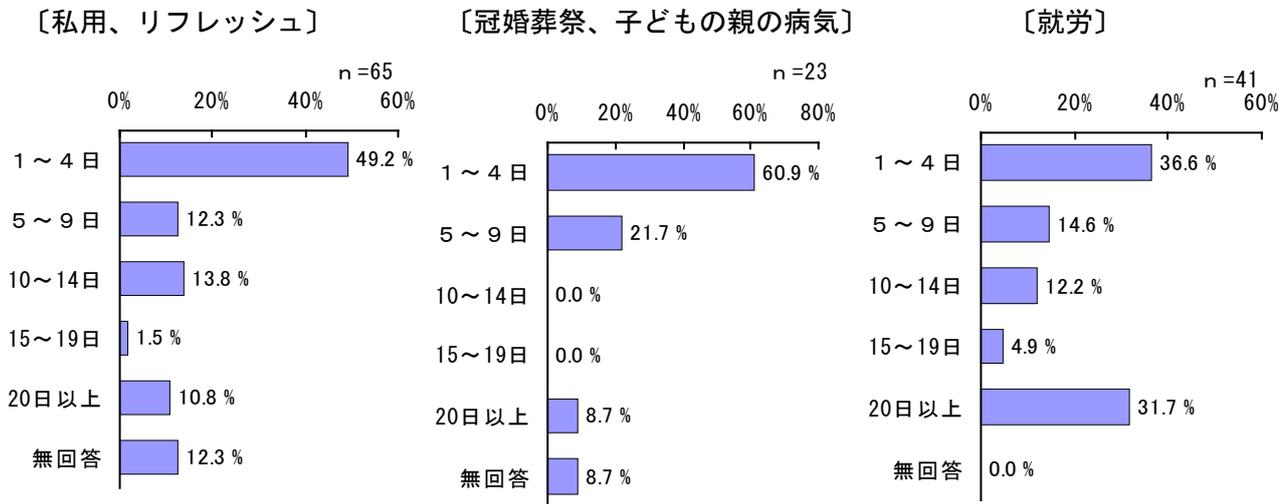
○一時的に預けたことが「ない」70.1%、「ある」26.2%である。

○一時的に預けた理由は、「私用、リフレッシュ目的」54.6%、「就労」34.5%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」19.3%である。

### ■日数



○一時的に預けた日数は、年当たり「1～4日」37.8%が多く、次いで「5～9日」22.7%、「20日以上」17.6%などである。



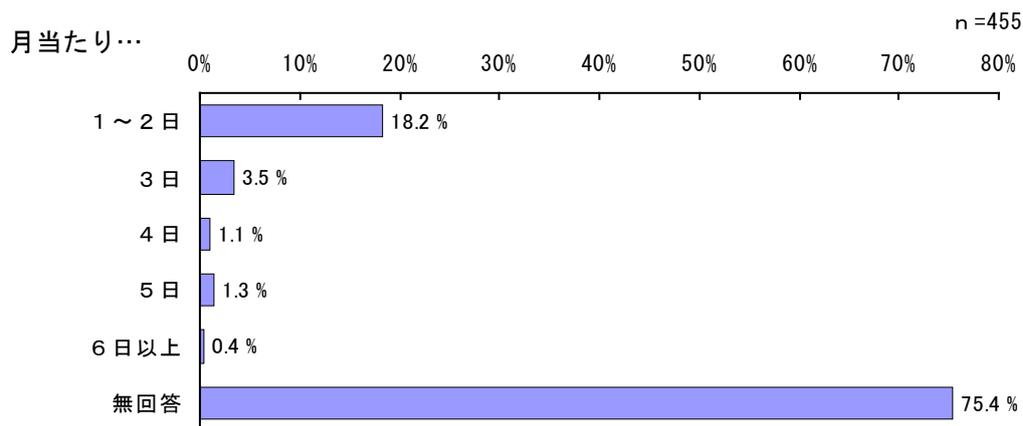
○理由別でみると、「私用、リフレッシュ」では、「1～4日」49.2%、「10～14日」13.8%、「5～9日」12.3%などである。

「冠婚葬祭、子どもの親の病気」では、「1～4日」60.9%、「5～9日」21.7%、「20日以上」8.7%である。

「就労」では、「1～4日」36.6%、「20日以上」31.7%、「5～9日」14.6%などである。

## (2) 一時預かりの利用希望

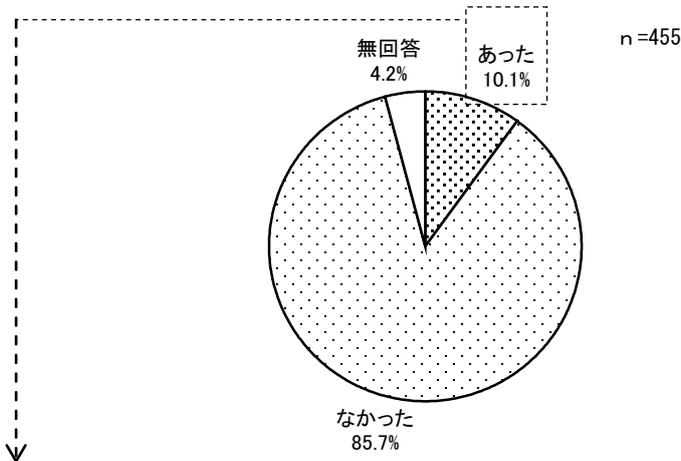
問 20 私用など問 19 のような理由で家族以外の誰かに預けたいと思うことは、今後月に何日くらいありそうでしょうか。希望がある方は枠内に数字でご記入ください。



○一時預かりの利用希望は、月に「1～2日」18.2%が多い。

### (3) 宿泊を伴う一時預かり

問 21 この1年間に、出張や保護者の病気・出産などのやむをえない事情により、あて名のお子さんを泊まりがけで預けなければならなかったことがありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

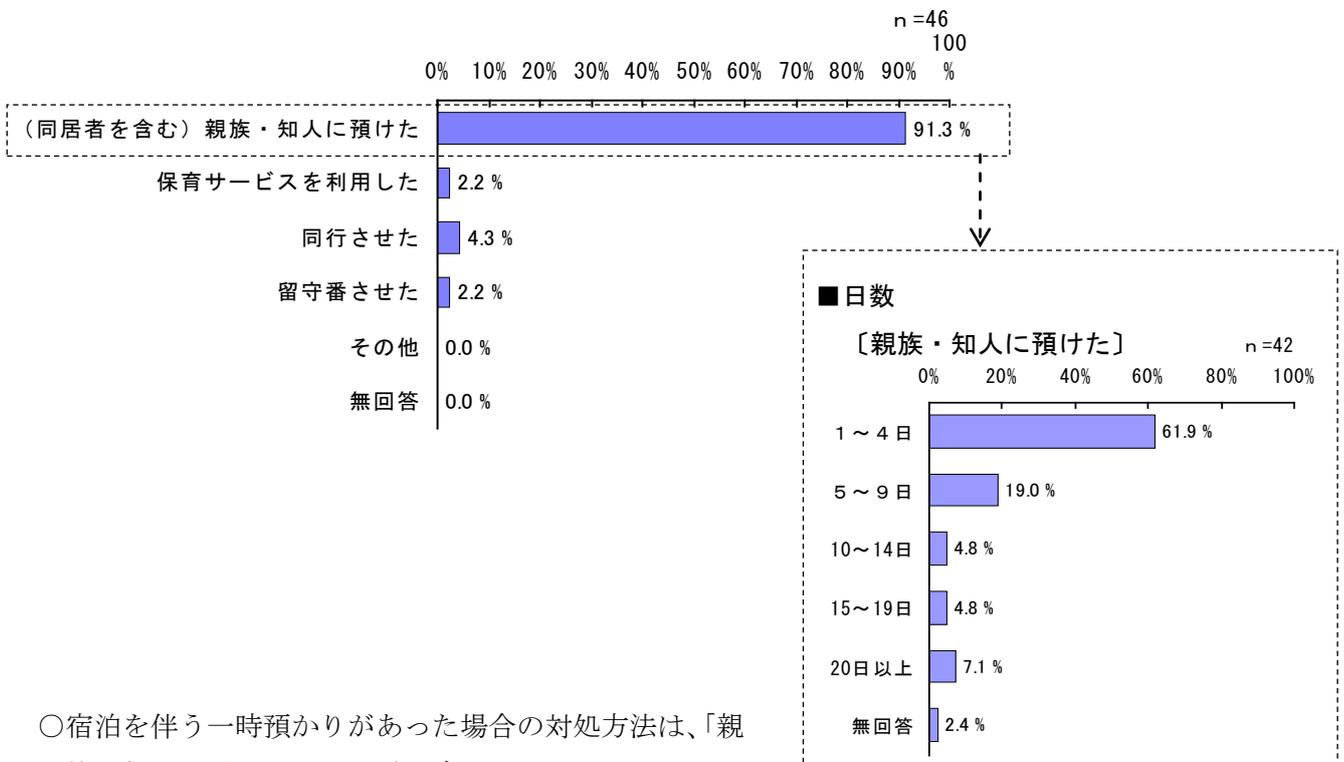


○宿泊を伴う一時預かりが「なかった」85.7%、「あった」10.1%である。

### (4) 宿泊を伴う一時預かりの対処方法

**問 21 で「1. あった」と答えた方にうかがいます。**

問 21-1 そのような場合、どのように対処しましたか。この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。



○宿泊を伴う一時預かりがあった場合の対処方法は、「親族・知人に預けた」91.3%が多い。

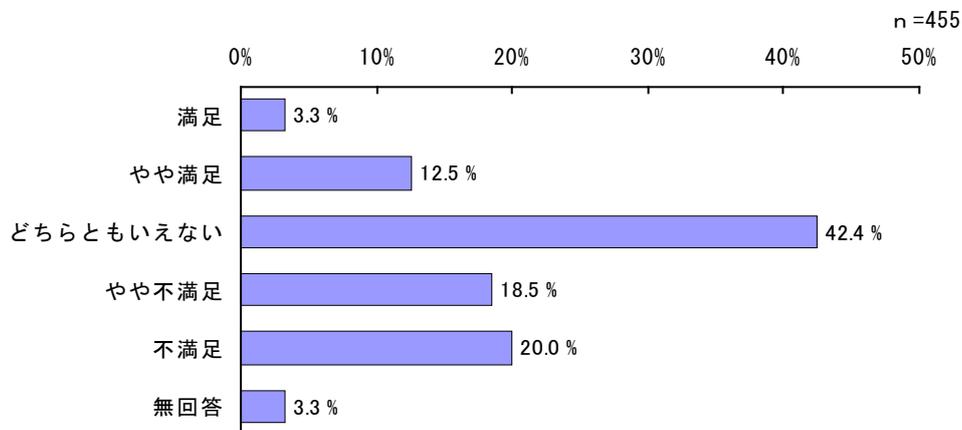
○親族・知人に預けた日数は、「1～4日」61.9%が多く、次いで「5～9日」19.0%などである。

「保育サービスを利用した」は、1人だが日数は無回答、「同行させた」は2人で1日と5日、「留守番させた」は1人で1日である。

## 7. 市の子育て環境や子育て支援サービス

### (1) 子育ての環境や支援への満足度

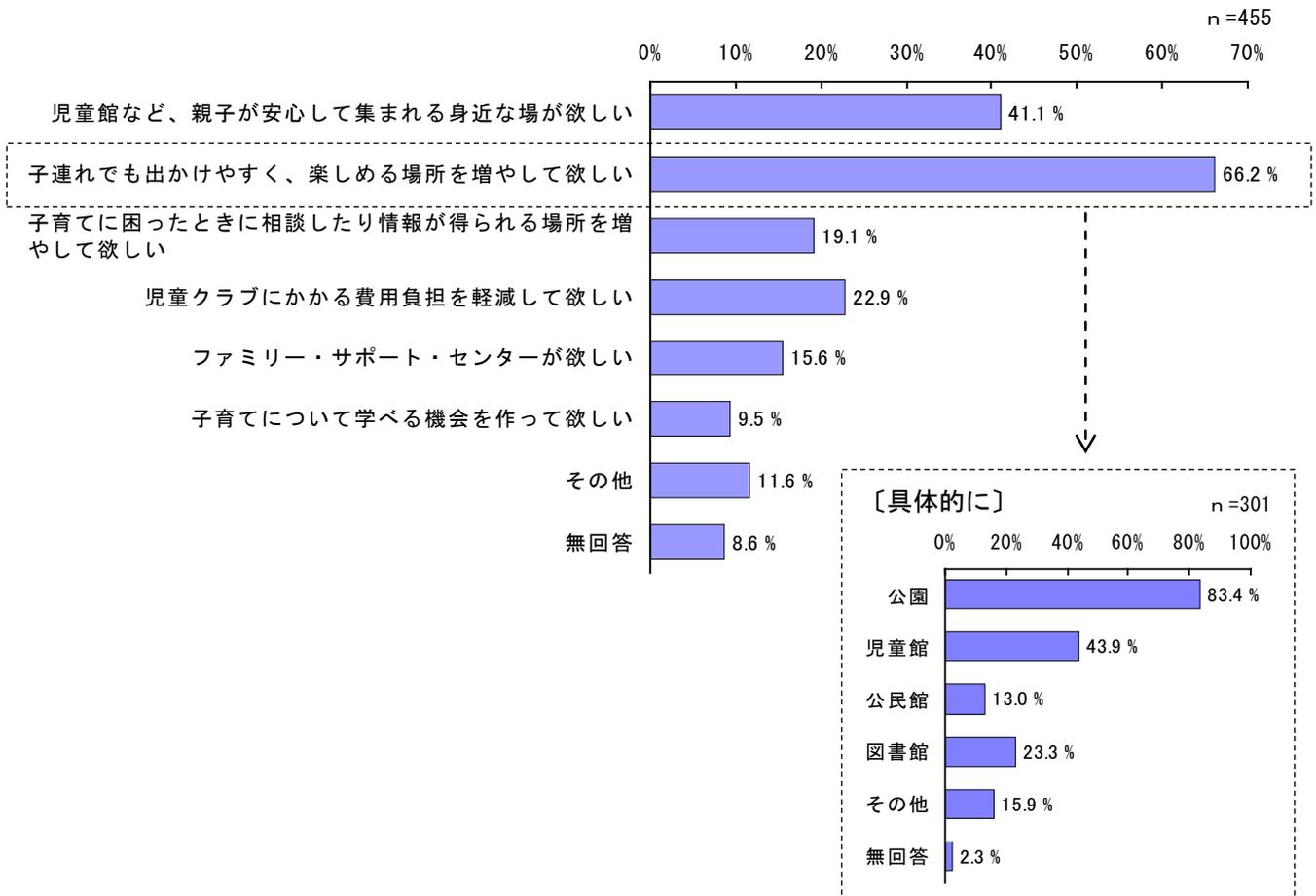
問 22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。



○満足度は、「どちらともいえない」42.4%、「不満足」20.0%、「やや不満足」18.5%、「やや満足」12.5%、「満足」3.3%である。

## (2) 充実を図ってほしい市のサービス

問 23 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



○充実を図ってほしい子育て支援は、「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」66.2%が最も多く、次いで「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい」41.1%、「児童クラブにかかる費用負担を軽減して欲しい」22.9%などである。

○「子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」と回答した人に具体的な場所をたずねたところ、「公園」83.4%、「児童館」43.9%、「図書館」23.3%などである。

# 資料編

---

自由回答まとめ

調査票



# 1. 自由回答まとめ

## (1) 就学前児童調査

問 34 最後に、下記にあげる項目について、市の政策に関するご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

### ■子育てサービスについて

- サービスを増やしてほしい、充実させてほしい。(28件)
- 保育料が高い。(20件)
- 一時預かりを利用しやすくしてほしい。(17件)
- 気軽に相談できるところがほしい。(11件)
- 幼稚園の延長保育の時間を長くしてほしい。(9件)
- 子育て中のママたちや地域の人が集まれる機会があるといい。(8件)
- 講座やイベントをもっと開催してほしい。(7件)
- 子育てサロンを充実させてほしい。(7件)
- 子育て支援センターのイベント充実。同時に相談ができるといい。(5件)
- ファミリー・サポート・センターがあるといい。(5件)
- 補助や手当の充実、予防接種の割引(5件)
- 保育園や幼稚園の開放日を増やしてほしい。(4件)
- 利用したいが、施設の場所が遠い。(4件)
- 学童をよりよくしてほしい。(4件)
- チーパスが使えるお店が少ない。(3件)
- 保育園に入れない。(3件)
- 公立幼稚園を3年保育にしてほしい。(3件)
- 夜間救急外来など、医療サポートを充実させてほしい。(3件)
- 健診の時間が長い。(2件)
- 幼稚園のお迎えの時間や小学校の帰りの時間と同じ時間帯はやめてほしい。(2件)
- 子育て支援センターや保育園などでのサービスを続けてほしい。(2件)
- ママ友作りだけでなく、子供だけを預けられる支援センターがあれば親は息抜きできる。
- 幼稚園の長期休業のときの預かり保育をしてほしい。
- 保育園等に対する苦情(4件)

### ■遊び場の整備について

- 公園が少ない・公園がほしい。(139件)
- 遊具や地面を整備してほしい。(54件)
- 児童館などの屋内施設が少ない。つくってほしい。(47件)
- 遊び場が少ない・ほしい。(41件)
- 施設の立地が悪い。歩いて行けない。(40件)
- 安全に遊べる公園や場所がない。(37件)
- 公園自体、砂場や水場を衛生的にしてほしい。(38件)
- 大きい公園がほしい、既存公園が小さい。(31件)
- 公園の遊具が少ない・増やしてほしい。(62件)
- 児童館など屋内施設がほしい。(25件)
- 市街の遊び場に行っている。(19件)
- 駐車場がない。(17件)

- 子どもの年齢に応じて公園の遊具などを配置してほしい。(16件)
- 雨の日に遊べる施設があるといい。(13件)
- 遊具が撤去されてそのままである。(8件)
- 雑草がひどい、管理してほしい。(8件)
- プールや遊園地をつくってほしい。(6件)
- 公園でボール遊びをしたい。(5件)
- 水遊びができるといい。(4件)
- 公園にトイレがない。(2件)

## ■情報提供について

### <子育てサービスについて> (49件)

- 情報が少ない。(19件)
- HPやメールの活用 (14件)
- 保育園・幼稚園に関する情報が欲しい。(5件)
- 保育園・幼稚園で情報提供してほしい。(4件)
- 予防接種のお知らせが欲しい。(4件)
- 情報を詳しくしてほしい。(3件)

### <情報提供全般について> (71件)

- ホームページを分かりやすくしてほしい。(13件)
- 情報提供のあり方を考えてほしい。(11件)
- 情報の掲示・配布方法の提案 (9件)
- 郵送でのお知らせが欲しい。(9件)
- 情報・お知らせが欲しい。(5件)
- 情報に気づかなかったことがある。(5件)
- 情報をスーパー等に掲示してほしい。(5件)
- 地域の情報が入ってこない。(5件)
- メルマガ等メールでの情報提供が欲しい。(3件)
- 広報が手に入らない。(3件)
- 不審者情報を提供してほしい。(3件)

## ■その他

- アンケートについての感想 (6件)
- 保育園や児童クラブ等、提出書類など土日でも受付可能な日を設けてもらいたい。(2件)
- 街灯が少ない。(3件)
- もっとシングルマザーに優しい制度を作してほしい。(2件)
- 駅の階段をエレベーターにしてもらいたい。(2件)
- 学力を上げてほしい。(2件)
- 産科の増設 (2件)

## (2) 就学児童調査

問 24 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

### ■学童について

- 高学年・6年生まで預かってほしい。(12件)
- 学童クラブの長期休み中の預かり(9件)
- 学童の時間を延長してほしい・朝早くしてほしい。(5件)
- 児童クラブの料金が高い。(8件)
- 不満(3件)
- きょうだいそれぞれなのは困る。(2件)
- その他(15件)

### ■遊び場の整備

- 公園が少ない・遊び場が少ない。(12件)
- 安心安全な公園、遊び場が欲しい。(12件)
- 大規模な公園や遊び場が欲しい。(12件)
- 児童館が欲しい。(11件)
- 近く、身近な場所に公園、遊び場が欲しい。(9件)
- 遊具の設置をしてほしい。(6件)
- ボール遊びをする場所がない。(4件)
- 雨天時等でも使える屋内施設(2件)

### ■通学路の安全について

- 通学路に歩道をつくってほしい、ガードレール設置など安全な道路環境を。(48件)
- 街灯をつけてほしい。(7件)

### ■自転車道・街灯などの環境について

- 街灯・環境がよくない。(12件)
- 自転車道、練習場所がない。(5件)

### ■情報提供について

- 情報が足りない、提供してほしい。(9件)
- 不審者情報を提供すべき。(2件)

### ■小学校について

- 学習内容・学力への不満(12件)
- 設備をよくしてほしい。(7件)
- 校庭を放課後などに開放してほしい。(6件)
- その他(12件)

### ■保育園／就学前について（14件）

- 待機児童をなくしてほしい。／保育園を増やしてほしい。（4件）
- 市立幼稚園に関する問題（3件）
- 保育料をもっと安くしてほしい。（2件）
- 保育園・幼稚園の通常時間を延長してほしい。（1件）
- その他（4件）

### ■その他（81件）

- 障害のある子どもへの支援を充実させてほしい。（13件）
- 金銭の助成について（11件）
- このアンケートについて（4件）
- 財政難等に対する市への要望（7件）
- 相談サービスが必要（6件）
- 学童・保育園以外の一時預かりについて（6件）
- 子育てサービスの充実（4件）
- 予防接種の助成やシステム改善（3件）
- 中学校の問題について（3件）
- 感想（3件）
- ひとり親家庭への支援について（3件）
- 就労支援・職場の問題（3件）
- 病児・病後児保育が必要（2件）
- その他（37件）

## 2. 調査票

### 八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 ～就学前児童調査～



おうちでの子育てや  
お子さんに関する  
ご意見をお聞かせください！

**1月31日(金)までに投函してください**

#### 【調査ご協力をお願い】

八街市では、新しい「子ども・子育て支援新制度」に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間で1期とする「子ども・子育て支援事業計画」を作成し、計画的に給付・事業を実施していく予定です。

本調査は、この計画で確保を図るべき子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの、保育所や幼稚園などの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。この調査票は、市内にお住まいの小学校就学前のお子さん 1,000 人を無作為に選ばせていただき、その保護者の皆様にお送りしています。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

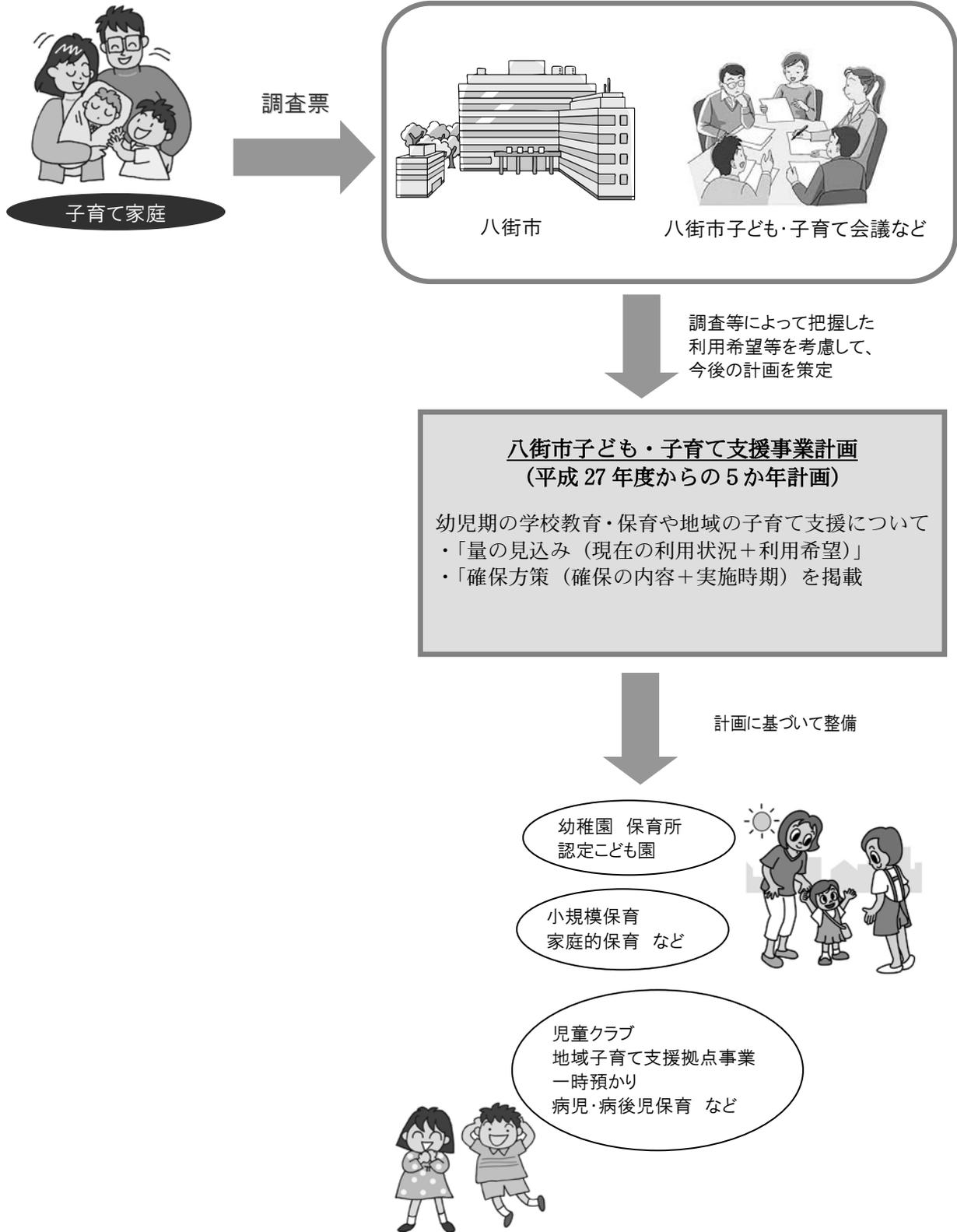
平成 26 年 1 月  
八街市長 北村新司

## 子ども・子育て支援新制度とは…

この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- この制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。この制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

いただいたご回答は、八街市の子育て支援の充実に生かされます



## ご記入にあたってのお願い

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。  
また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：× 午後 6 時→○ 18 時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返却用封筒に入れて **1月31日（金）** までにポストに投函してください。切手は不要です。
8. ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

■八街市 市民部 児童家庭課 保育班■

Tel. 043-443-1693（直通）

## 用語の定義

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています





問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ	2. いない／ない ⇒ 問11へ
-------------------	------------------

問10-1 **問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援センター・NPO
5. 保健センター	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（	）

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

**宛名のお子さんのお保護者の就労状況についてうかがいます。**

※ここでいう「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労のことです。  
「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の就労のことです。

問12 宛名のお子さんのお保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親	現在の就労状況
		1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
		2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
		3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
		4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
		5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
		6. これまで就労したことがない

問 12-1 **問 12 で「1. ～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。**

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

(1) **母親**

1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時

(2) **父親**

1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時

問 13 **問 12 で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。  
該当しない方は、問 14 へお進みください。**

フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所 1つ に○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親	フルタイムへの転換希望
		1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
		2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
		3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
		4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 **問 12 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。**

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり <input type="text"/> 日      1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり <input type="text"/> 日      1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ	2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ
----------------------	-----------------------

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 幼稚園（通常の保育時間の利用）                           |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の保育時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）   |
| 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）    |
| 4. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）                 |
| 5. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）                |
| 6. その他の認可外の保育施設                              |
| 7. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）     |
| 8. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）           |
| 9. その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり <input type="text"/> 日	1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間（ <input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時）
-------------------------------	--

(2) 希望

1 週当たり <input type="text"/> 日	1 日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間（ <input type="text"/> <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時）
-------------------------------	--

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 八街市内	2. 他の市区町村
---------	-----------

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 子どもの教育や発達のため                              |
| 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している                 |
| 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である           |
| 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している           |
| 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある                 |
| 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である                    |
| 7. その他（ <span style="float: right;">）</span> |



**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。**

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
 1 週当たり  回 もしくは 1 ヶ月当たり  回程度

2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：）  
 1 週当たり  回 もしくは 1 ヶ月当たり  回程度

3. 利用していない

問 17-1 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 利用していないが、今後利用したい  
 1 週当たり  回 もしくは 1 ヶ月当たり  回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
 1 週当たり 更に  回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に  回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親(父親)学級 ハッピールーム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②健康管理課 すくすく相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④家庭教育相談 家庭児童相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育て支援のための部屋の一般開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 19 **0歳～2歳のお子さんをお持ちの方**にうかがいます。

地域の子育て支援事業が充実していれば、子どもが0歳～2歳の間は保育園に入れなくても良いと思いますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. はい	⇒問 19-1	どの点が充実していれば良いとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。
2. いいえ		

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について**うかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	}	⇒	利用したい時間帯							
2. ほぼ毎週利用したい			□	□	時	から	□	□	時	まで
3. 月に1～2回は利用したい			□	□	時	から	□	□	時	まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	}	⇒	利用したい時間帯							
2. ほぼ毎週利用したい			□	□	時	から	□	□	時	まで
3. 月に1～2回は利用したい			□	□	時	から	□	□	時	まで

問 20-1 **問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方**にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号 すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

問 21 **「幼稚園」を利用されている方**にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	}	⇒	利用したい時間帯							
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい			□	□	時	から	□	□	時	まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい			□	□	時	から	□	□	時	まで

問 21-1 **問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ( )	

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 22 **平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15 で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。**

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 22-1 へ	2. なかった ⇒ 問 23 へ
-------------------	------------------

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字)。

1年間の対処方法	日 数
ア. 父親が休んだ	□ □ 日
イ. 母親が休んだ	□ □ 日
ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□ □ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
ケ. その他 ( )	

※「キ.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

**問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。**

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ

⇒ 問 22-5 へ

問 22-3 **問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他（ ）

⇒ 問 23 へ

問 22-4 **問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。**

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

⇒ 問 23 へ

**問 22-1 で「エ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。**

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1つに○をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒   日 ⇒ 問 23 へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 22-6 へ

問 22-6 **問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。**

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）



**問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）                  |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）                |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ）  |

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号及び記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1年間の対処方法 日数		日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

**問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。**

**⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ**

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |              |
|--------------|
| 1. 非常に困難     |
| 2. どちらかという困難 |
| 3. 特に困難ではない  |

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、  
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。**

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※1	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 児童館で行う児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童館 ※	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※ 児童館で行う児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

**問 26 または問 27 で「6. 児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。**

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□□時から □□時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□□時から □□時まで
3. 利用する必要はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		□□時から □□時まで
3. 利用する必要はない		

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親 (いずれかに○)	(2) 父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">             取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください。いくつでも)           </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;">             取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください。いくつでも)           </div>

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
  2. 仕事が忙しかった
  3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
  4. 仕事に戻るのが難しそうだった
  5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
  6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
  7. 保育所(園)などに預けることができた
  8. 配偶者が育児休業制度を利用した
  9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
  10. 子育てや家事に専念するため退職した
  11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
  12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
  13. 育児休業を取得できることを知らなかった
  14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
  15. その他 ( )

問 30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30 で「**2. 取得した(取得中である)**」と回答した方にうかがいます。⇒該当しない方は、問 31 へ  
問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

**問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
---------	------------	----	------------

(2) 父親

実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
---------	------------	----	------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月
------------

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月
------------

**問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所すべてに○をつけてください。

① 母 親	② 父 親	希望の時期に職場復帰しなかった理由
		1. 希望する保育所に入るため
		2. 配偶者や家族の希望があったため
		3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
		4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
		5. その他 ( )

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所すべてに○をつけてください。

① 母 親	② 父 親	希望の時期に職場復帰しなかった理由
		1. 希望する保育所に入るため
		2. 配偶者や家族の希望があったため
		3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
		4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
		5. その他 ( )

**問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所 1つに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親	短時間勤務制度を利用したか
		1. 短時間勤務制度を利用した
		2. 短時間勤務制度を利用しなかった

**問 30-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。**

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母 親	(2) 父 親	理 由
		1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
		2. 仕事が忙しかった
		3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
		4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
		5. 配偶者が無職、親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
		6. 子育てや家事に専念するため退職した
		7. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
		8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
		9. その他 ( )

**問 30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。**

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親	育児休業の取得希望
		1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
		2. 1歳になる前に復帰したい

**八街市の子育て環境や子育て支援施策全般についてうかがいます。**

問 31 出産、育児に関する行政サービス（行政窓口、公的施設）について不満に思ったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある	-----> <b>問 32 へ</b>
2. ない	
3. 行政サービス等に関わったことがない	

問 31-1 どのような点に不満を感じましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 対応が不親切 2. 手続きが煩雑で、時間がかかる 3. 保育スペースがない 4. 必要な情報がすぐに得られない 5. その他 ( )
---

問 32 市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい 2. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい 3. 子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場所を増やしてほしい 4. 保育園を増やしてほしい 5. 幼稚園を増やしてほしい 6. 保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい 7. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい 8. 子育てについて学べる機会を作してほしい 9. ファミリー・サポート・センター 10. その他 ( )
--

問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 満足	2. やや満足	3. どちらともいえない	4. やや不満足	5. 不満足
-------	---------	--------------	----------	--------

問 34 最後に、下記にあげる項目について、市の政策に関するご意見やご要望などがありましたら、自由にご記入ください。

○子育てサービスについて
○遊び場の整備について
○情報提供について
○その他（ご意見等をご自由にお書きください）

**調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
三つ折りにして同封の封筒に入れ、切手は貼らずにポストにご投函ください。**

# 八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 ～就学児童調査～

## 【調査ご協力のお願い】

八街市では、新しい「子ども・子育て支援新制度」に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間で1期とする「子ども・子育て支援事業計画」を作成し、計画的に給付・事業を実施していく予定です。

本調査は、この計画で確保を図るべき子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの、児童クラブなどの子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。この調査票は、市内にお住まいの小学生のお子さん 1,000 人を無作為に選ばせていただき、その保護者の皆様にお送りしています。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月  
八街市長 北村新司



おうちでの子育てや  
お子さんに関する  
ご意見をお聞かせください！

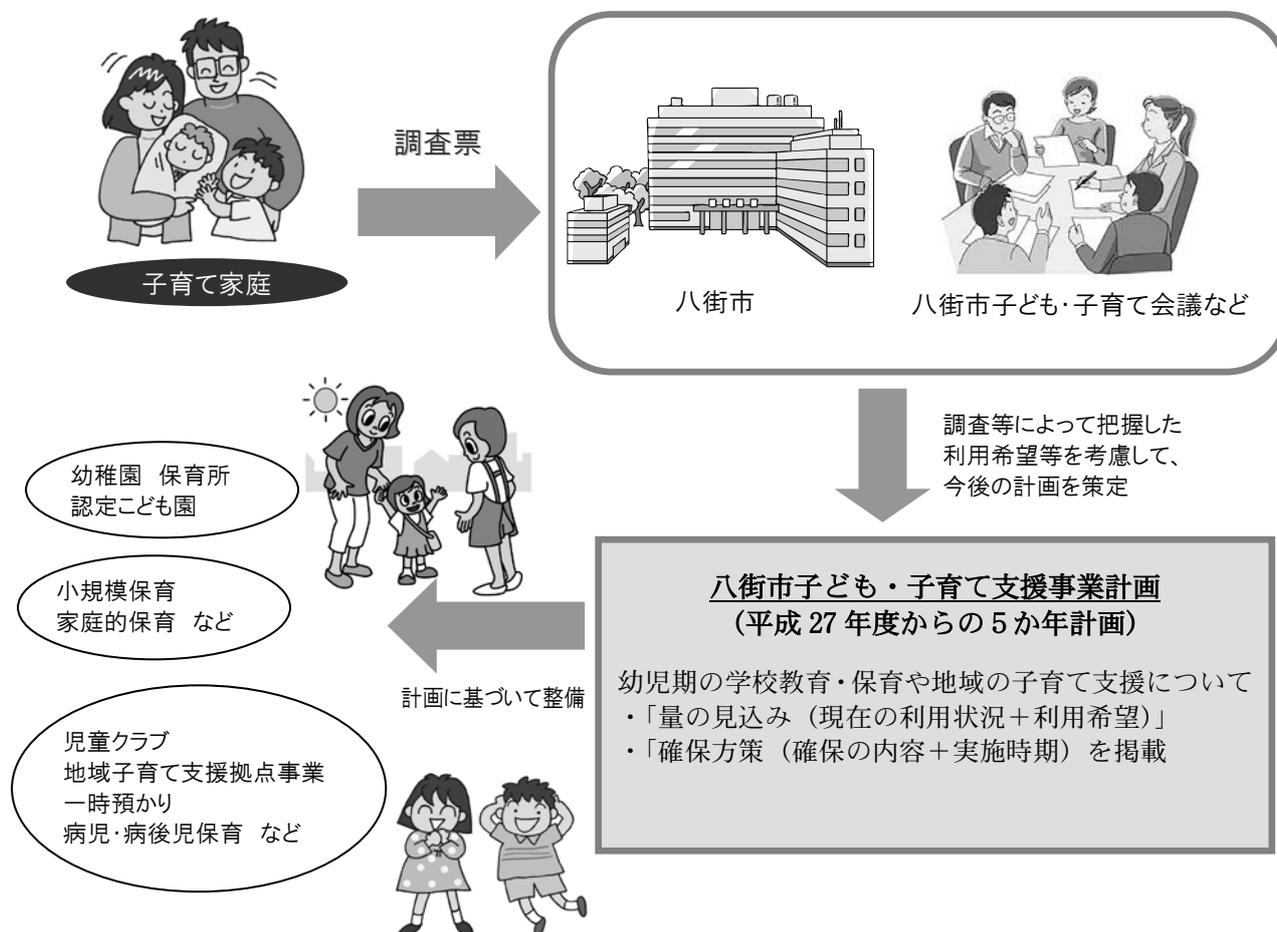
**1月31日(金)までに投函してください**

## 子ども・子育て支援新制度とは…

この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- この制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかげがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。この制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいたご回答は、八街市の子育て支援の充実に生かされます



## ご記入にあたってのお願い

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。  
また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：× 午後 6 時→○ 18 時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返却用封筒に入れて**1月31日（金）**までにポストに投函してください。切手は不要です。
8. ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

■八街市 市民部 児童家庭課 児童家庭班■

Tel. 043-443-1693（直通）

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの学区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- |         |           |        |        |        |
|---------|-----------|--------|--------|--------|
| 1. 八街東小 | 2. 八街北小   | 3. 実住小 | 4. 交進小 | 5. 笹引小 |
| 6. 二州小  | 7. 二州小沖分校 | 8. 川上小 | 9. 朝陽小 |        |

## 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成   年   月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数  人 末子の生年月月 平成   年   月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |
|------------|
| 1. 母親      |
| 2. 父親      |
| 3. その他 ( ) |

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |
|------------|
| 1. 配偶者がいる  |
| 2. 配偶者がいない |

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |
|------------|
| 1. 父母ともに   |
| 2. 主に母親    |
| 3. 主に父親    |
| 4. 主に祖父母   |
| 5. その他 ( ) |

## 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- |         |       |        |
|---------|-------|--------|
| 1. 家庭   | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. その他（ |       | ）      |

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |           |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない ⇒ 問10へ                   |           |

**問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。**

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |   |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である                           |   |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |   |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                      |   |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある                 |   |
| 6. その他（   | ） |

⇒ 問10へ

**問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。**

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |   |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である                           |   |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である                    |   |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい                    |   |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある               |   |
| 6. その他（   | ） |



問 12-1 **問 12 で「1. ～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。**

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

(1) **母親**

1 週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1 日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時

(2) **父親**

1 週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日	1 日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間
家を出る時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時	帰宅時刻 <input style="width: 60px; height: 20px; border-left: 1px dashed black;" type="text"/> 時

問 13 **問 12 で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。  
該当しない方は、問 14 へお進みください。**

フルタイムへの転換希望はありますか。母親と父親のそれぞれについて、当てはまる箇所 1 つ に○をつけてください。

	(1) 母 親	(2) 父 親	フルタイムへの転換希望
			1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
			2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
			3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
			4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 **問 12 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。**

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり <input type="text"/> 日      1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
ア. フルタイム
イ. パートタイム、アルバイト等
→1週当たり <input type="text"/> 日      1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間



**現在、児童クラブを利用していない方へ**

問 15-2 利用していない理由についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、児童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、児童クラブに空きがないから
4. 就労しているが、児童クラブの開所時間が短いから
5. 就労しているが、利用料がかかるから
6. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
7. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけで大丈夫だと思うから
8. 就労しているが、他の施設に預けているから
9. 就労しているが、きょうだいがいるから
10. その他 ( )

問 15-3 あて名のお子さんについて、今後、児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。また利用したい日数や時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 利用したい → 週 □ □ 日くらい → うち土曜日の利用希望

2. 今後も利用しない → **問 16 へ**

（ 1. ある → □ □ 時～ □ □ 時  
2. ない ）

問 15-4 **問 15-3 で「1」をお選びの方へ**

今後、児童クラブを利用したい理由についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

保護者が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害がある
6. 学生である／就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他 ( )

問 16 児童クラブが6年生まで利用できるようになった場合、あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。※現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="text"/> 日くらい
5. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 17 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい			
3. 利用する必要はない			

## 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

### 全員にうかがいます。

問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気で学校を休ませなければならないことがありましたか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

- |        |                  |
|--------|------------------|
| 1. あった | 2. なかった ⇒ 問 19 へ |
|--------|------------------|

### 問 18 で「あった」と答えた方にうかがいます。

問 18-1 そのような場合、どのように対処しましたか。この1年間に行った対処方法として当てはまる記号 すべて に ○ をつけ、それぞれの日数も 口内 に 数字 でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1年間の対処方法	日 数
ア. 父親が休んだ	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日
イ. 母親が休んだ	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日
ウ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日
エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日
オ. ベビーシッターを利用した	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日
カ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日
キ. その他 ( )	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日

### 問 18-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけ、日数についても 口内 に 数字 でご記入ください（数字は一桁に一字）。  
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- |   |
|---|
| 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日 ⇒ 問 18-3 へ |
| 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 18-4 へ   |

### 問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号 すべて に ○ をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業                        |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業                         |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) |
| 4. その他 ( )                                       |

※ファミリー・サポート・センターとは、地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業です。 ⇒ 問 19 へ

⇒ 問 18-5 へ



**一時預かり・宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます。**

問 19 この1年間で私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。日数は口内に数字でご記入ください。※半日程度についても1日としてカウントしてください。

1. ある	→	年間	↓	(理由別)	
		□			日
					①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 ( ) 日
					②冠婚葬祭、子どもの親の病気 ( ) 日
					③就労 ( ) 日
2. ない					

問 20 私用など問 19 のような理由で家族以外の誰かに預けたいと思うことは、今後月に何日くらいありそうでしょうか。希望がある方は枠内に数字でご記入ください。

月に ( ) 日くらい
-------------

問 21 この1年間に、出張や保護者の病気・出産などのやむをえない事情により、あて名のお子さんを泊まりがけで預けなければならなかったことがありましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. あった
2. なかった ⇒問 22 へ

**問 21 で「1. あった」と答えた方にうかがいます。**

問 21-1 そのような場合、どのように対処しましたか。この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字。）。

1年間の対処方法	日	数	
1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	□	□	泊
2. 保育サービスを利用した	□	□	泊
3. 同行させた	□	□	泊
4. 留守番させた	□	□	泊
5. その他 ( )	□	□	泊

## 八街市の子育て環境や子育て支援施策全般についてうかがいます。

問 22 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

- |       |         |              |          |        |
|-------|---------|--------------|----------|--------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらともいえない | 4. やや不満足 | 5. 不満足 |
|-------|---------|--------------|----------|--------|

問 23 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場が欲しい        |
| 2. 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい       |
| 3. 子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場所を増やして欲しい |
| 4. 児童クラブにかかる費用負担を軽減して欲しい            |
| 5. ファミリー・サポート・センターが欲しい              |
| 6. 子育てについて学べる機会を作って欲しい              |
| 7. その他 ( )                          |

問 23-1 具体的に？ (当てはまる番号 すべて に○)

- |            |
|------------|
| 1. 公園      |
| 2. 児童館     |
| 3. 公民館     |
| 4. 図書館     |
| 5. その他 ( ) |



---

八街市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査  
報 告 書

---

平成 26 年 3 月

編 集 八街市 市民部児童家庭課

〒289-1192 千葉県八街市八街ほ 35 番地 29  
TEL : 043-443-1693 (直通)

